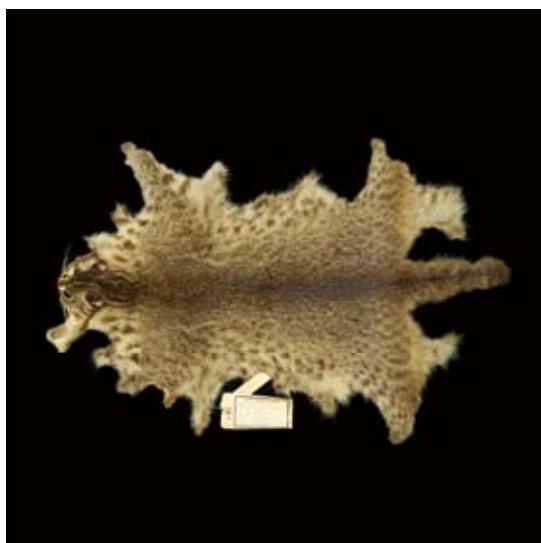


琉球大学資料館（風樹館）収蔵資料目録 第1号
Catalogue of Materials Deposited in The University Museum (Fujukan),
University of the Ryukyus, No.1

琉球大学資料館（風樹館）収蔵タイプ標本目録

An Annotated Catalogue of the Type Specimens Deposited in The University Museum
(Fujukan), University of the Ryukyus



2009年

琉球大学資料館（風樹館）

琉球大学 21世紀 COE プログラム



表紙写真

左上：ヤンバルテナガコガネ

Cheirotonus jambar Y. Kurosawa, 1984

RUMF-ZI-15000

左下：イリオモテヤマネコ

Prionailurus bengalensis iriomotensis (Imaizumi, 1967)

RUMF-ZZ-00043

右上：キクザトサワヘビ

Opisthotropis kikuzatoi (Okada & Takara, 1958)

RUMF-ZH-00653

右下：クメジマオオサワガニ

Geothelphusa kumejima Naruse, Shokita & Ng, 2006

RUMF-ZC-00144

目次 Contents

緒言	1
タイプ標本目録の概要	3
タイプ標本目録	9
哺乳綱 Mammalia	9
爬虫綱 Reptilia	10
昆虫綱 Insecta	13
バッタ目 Orthoptera	13
ヨコバイ目 Homoptera	15
コウチュウ目 Coleoptera	16
ハチ目 Hymenoptera	60
ハエ目 Diptera	61
クモ綱 (ダニ類) Arachnida	64
軟甲綱 (甲殻類) Malacostraca	69
ヌマエビ科 Atyidae	69
テナガエビ科 Palaemonidae	74
ヤワラガニ科 Hymenosomatidae	75
サワガニ科 Potamidae	76
オサガニ科 Macrophthalmidae	84
ムツハアリアケガニ科 Camptandriidae	87
ベンケイガニ科 Sesarmidae	88
モクズガニ科 Varunidae	89
ウミユリ綱 (ウミシダ類) Crinoidea	90
クモヒトデ綱 Ophiuroidea	91
貧毛綱 (ミミズ類) Oligochaeta	92
琉球大学資料館（風樹館）概要	94
学名・和名索引	95

はじめに

琉球大学資料館（風樹館）では平成18年度から、当館に収蔵されている貴重な生物標本を対象に、その半永久的な保存、教育研究への利用のための整理とデータベース化に取組んできました。これは琉球列島を中心とした地域の生物多様性に関する研究・教育拠点の形成を目的とした本学中期計画実現推進プロジェクトおよび琉球大学21世紀COEプログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」の支援事業であり、生物多様性研究に不可欠な学術標本の集積と研究者への標本データの提供、さらには実物標本による若手研究者への教育と研究材料の提供を可能にするものです。

これまでにデータベース化が完了した標本は3万点あまりにおよびます。これらの標本については、すでに当館のホームページ内の標本データベースにおいて種名や産地等のデータが公開されており、国内外の研究者が利用可能な体制が整備されています。また、琉球大学における地域貢献活動のひとつとして、整理を完了した標本や資料のうち、一般向けの教育・啓発活動に利用可能なものを選定して当館の一般展示室で公開し、地域の学校教育や生涯学習に幅広く利用されております。今後も琉球大学の研究活動の中で収集される学術上貴重な標本や資料の収蔵とその利用体制の整備を進め、大学における生物多様性や自然史分野の教育・研究活動の一大拠点化を目指すとともに、大学が蓄積した学術情報の地域社会への発信の場としても、その役割を担っていきたいと考えております。

琉球大学資料館（風樹館）館長 砂川 勝徳

風樹館タイプ標本目録の発刊にあたって

琉球大学 21 世紀 COE プログラムは『生物多様性』をキーワードとして、遺伝子レベルから生態系レベルまでいろいろな視点に立った多角的な研究活動を展開してきました。昨今、さまざまなものところで展開されている生物多様性の重要性に関する議論を足が地に着いたものにするためには、「種」の正確な認識が不可欠です。すべての生物学の基本は生物の種名を正確に把握するところにあると言っても過言ではないでしょう。実際、世界的に見ても地域の生物相を正確に記録しようという、多くの地道な活動が進められています。琉球列島において展開されている多様な生物を対象とした研究は、先人たちがこのような活動を通して構築した、この地域に生息する種のリストという基盤に支えられています。そして博物館などに保管されている種のリストの元となった証拠標本は、新たに得られた知見・情報にもとづいてその妥当性を再度検証する際には、大変重要な資料となります。

21 世紀 COE プログラムはこのような学術標本の保管場所としての博物館の重要性を十分に認識し、このような面で琉球列島においてとりわけ大きな役割を果たしている博物館のひとつである風樹館の整備に対し、お手伝いをさせていただきました。多くの方々の努力でその整備は着実に進んできています。単に収蔵されている標本を並べて展示するだけでなくデータベースとして整理し、標本を利用する研究者からの要望にも応えられる体勢を構築するべく、作業が進められてきました。整備されたものは情報として公開され、利用されることによって価値が生じるからです。風樹館を大いに利用してください。

今回まとめたタイプ標本は分類学を支える特に重要なものです。私たちはこれらを保存し、かつ利用して研究教育に活用する義務があります。風樹館が将来にわたって研究者や学生の皆さん、あるいは地域の方々に利用され、琉球列島における生物の研究がますます興味深いものになることを祈念します。

琉球大学 21 世紀 COE プログラム拠点リーダー　土屋 誠

タイプ標本目録の概要

1. 本タイプ標本目録について

- ・ 本目録には、2009年2月までに琉球大学資料館（風樹館）に収蔵され、データベース化の完了したタイプ標本（タイプシリーズ）が掲載されている。これらの標本は、当館2階の生物標本収蔵室内に設置されているタイプ標本庫に、原記載論文および関連論文とともに保管されている。また、各タイプ標本の標本情報については、当館ホームページ内のタイプ標本リストで公開している (<http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/ja/type/>)。
- ・ 本目録に掲載されたタイプ標本については、それぞれに添付されていた標本ラベルの内容を原記載の内容と照合した。その結果、原記載もしくは標本ラベルのいずれかに誤記があると判断された場合は、各標本に関する解説欄あるいは付記によって本目録での認識を明記した。
- ・ 本目録は、琉球大学資料館（風樹館）ホームページから、pdfファイルでの入手が可能である (<http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/ja/catalogue/>)。また、本目録発刊後に新たに当館に収蔵されたタイプ標本については、隨時、当館ホームページ上で標本情報を公開してゆく予定である。

2. 琉球大学資料館（風樹館）収蔵のタイプ標本数

本資料館には現在、12目32科に属する83種2亜種のタイプ標本268点が収蔵されている。これらのタイプ標本の大分類群ごとの点数は、下記に示す表の通りである。

分類群	タイプ標本の種類			
	ホロタイプ Holotype	アロタイプ Allotype	パラトポタイプ Paratopotype	パラタイプ* Paratype
哺乳綱				1
爬虫綱	3			6
昆虫綱	10	2	24	122
クモ形綱				22
軟甲綱	18	1		52
ウミユリ綱				2
クモヒトデ綱				1
貧毛綱				4
合計	31	3	24	210

* アロタイプとパラトポタイプを除く

3. 学名とタイプ標本について

生物の名前には、日常的に使用している日本語による「和名」の他に、動物、植物、細菌など概ね界ごとに決められた規則（国際動物命名規約、国際植物命名規約、国際細菌命名規約）に従って付けられた、「学名」というラテン語による世界共通の名前がある。例えば、「ヤンバルテナガコガネ」は和名であり日本でしか通用しないが、その学名「*Cheirotonus jambar*」は世界中の科学者によって使用される。生物の個々の種グループ（種、亜種など）にこの学名を与えるには、特定の標本ないし標本群に基づいて、その分類群の特徴を記述した「原記載」を公表する必要がある。この原記載の中で記載に使われた標本ないし標本群を、タイプ標本（タイプシリーズ）と言う。このタイプ標本には、原記載やその後の論文中での扱われ方によっていくつかの種類があるが、種が記載された後は、このタイプ標本と比較することによってのみ、種や亜種としての同一性や相違性に関する厳密な議論・判断が可能となる。種を基本単位とする分類体系の再検討においてもタイプ標本はくり返し参照され、基盤となる形質情報等を提供する。また、近年、生物学の重要な研究テーマの一つとなってきた生物多様性の解明においても、タイプ標本を初めとする生物標本は情報源として必要不可欠な存在である。このような学術上極めて重要なタイプ標本を、常に研究に利用できるよう恒久的に保存管理することも、大学博物館の重要な機能の一つである。

4. 用語解説

ここでは、本目録に掲載した動物のタイプ標本に関する用語について解説する。植物や菌類については、用語や内容に多少の違いがある。

国際動物命名規約 The International Commission on Zoological Nomenclature

動物に学名を付けるときの規則をまとめた唯一の国際的な規約で、動物命名法国際審議会によって審議され国際生物科学連合によって批准される。現時点では2000年に発効された「国際動物命名規約第4版」が最新版で、日本語にも翻訳されている（動物命名法国際審議会, 2000. 国際動物命名規約 第4版 日本語版, 野田恭一・西川輝昭 編集. 日本動物分類学関連学会連合, 札幌.）。

タイプ標本（模式標本・基準標本） Type specimen

国際動物命名規約（第4版）では規定されていない用語であるが、原記載に用いられた一連の標本の一般的な呼称として、「タイプシリーズ」と同義的に用いられる。

タイプシリーズ（基準標本系列） Type series

生物の種や亜種の記載（原記載）に用いられた一連の標本で、原著者が明示して除外した標本を除き、その全ての標本がタイプシリーズになる。

担名タイプ Name-bearing type

学名の適用を決定することができる担名機能を持つ標本で、原記載ではホロタイプやシンタイプが、また記載後に新たに指定される場合は、レクトタイプやネオタイプがこれに相当する。

ホロタイプ（正基準標本） Holotype

原記載で種もしくは亜種の学名を記載する際に、その学名の基準となった指定された单一の標本。学名の拠り所となる唯一の標本で、記載後はこれを基準に、対応する学名のさす種や亜種に関するさまざまな分類学的問題が議論される。通常、昆虫類のホロタイプでは、1行目に「HOLOTYPE」、2行目以下に属名と種名、命名者名、命名年を明記した赤色のラベルが添付されることが多い。

パラタイプ（副基準標本） Paratype

原記載に用いられたタイプシリーズの中にホロタイプが明示されている場合、それを除くすべての標本がパラタイプとなる。後述の、アロタイプやパラトポタイプなどもパラタイプの一部である。通常、昆虫類では、1行目に「PARATYPE」、2行目以下に属名と種名、命名者名、命名年を明記した青色のラベルが添付されることが多い。

アロタイプ（別基準標本） Allotype

ホロタイプとは性の異なる一点の標本を指定するのに用いられる用語で、例えばホロタイプが雄の場合は、同種の雌1点をアロタイプに指定することができる。アロタイプは、ホロタイプのような担名機能を持つことはなく、国際動物命名規約（第4版）でも規定されていない。

パラトポタイプ Paratopotype

パラタイプのうち、特にホロタイプと完全に同一の産地で採集された標本に使われる用語で、国際動物命名規約（第4版）では規定されていない。

※この他、動物のタイプ標本には、シンタイプ、ネオタイプ、レクトタイプ、パラレクトタイプなどがある。

5. 資料館（風樹館）収蔵のタイプ標本の概要

（1） 哺乳綱タイプ標本

哺乳類のタイプ標本は、イリオモテヤマネコの1種1点のみである。イリオモテヤマネコの発見は、元琉球大学学長で当館の初代館長でもあった高良鉄夫博士（琉球大学名誉教授）の尽力によるところが大きく、そのため当館にはイリオモテヤマネコの発見に因む一連の標本が保管されている。パラタイプを含むこれらの標本は、イリオモテヤマネコの発見過程を物語る歴史的資料と言える。

（2） 爬虫綱タイプ標本

当館に収容されている爬虫類のタイプ標本は、前述の高良鉄夫博士自身が記載したヘビ類3種（亜種を含む）の9点である。このうち2亜種（ミヤラヒメヘビ、ヨナグニシュウダ）は高良博士の学位論文となる「琉球列島における陸棲蛇類の研究」中で記載されている。残る1種（キクザトアオヘビ〔現；キクザトサワヘビ〕）の記載は、20世紀前半から中頃にかけて、日本全域の爬虫類の分類について幅広く取組んだ岡田弥一郎博士との共著作として公表されている。

（3） 昆虫綱タイプ標本

当館に収蔵されている昆虫類のタイプコレクションの多くは、元琉球大学農学部昆虫学教室教授で当館の2代目館長でもあった、東清二博士（琉球大学名誉教授）の研究活動によって収集された。琉球列島に生息する広範な分類群の昆虫類が収集されており、その総数は未整理の標本も含め数十万点におよぶ。これらの標本は、当資料館と琉球大学農学部昆虫学教室とに分散して保管されており、当館にはデータベース化を完了した約1万5千点が収蔵されている。

（4） クモ綱（ダニ類）タイプ標本

本コレクションは、おもに唐沢重考博士（福岡教育大学准教授）によって採集及び記載された、ササラダニ類（Oribatida）のタイプシリーズである。本来、ササラダニ類は土壤性の種が多いが、本タイプ標本には潮間帯や樹上などの特殊な環境から得られた種のほか、ササラダニ類では希な性的二型を持つ種や爪の消失した種などが含まれており、ササラダニ類の系統進化を研究する上でも重要なコレクションとなっている。

（5） 軟甲綱（甲殻類）タイプ標本

主に諸喜田茂充博士（琉球大学名誉教授）と成瀬貫博士（琉球大学亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構特命助教）によって収集された標本類で、現在21種（亜種を含む）71点のタイプ標本が含まれている。そのおもな内訳は、サワガニ類が8種（亜種を含む）27点、Thoracotremata類が6種23点、コエビ類が6種13点などである。一部のコエビ類のタイプ標本を除き、ほとんどが琉球列島の固有種のものである。

(6) ウミユリ綱（ウミシダ類）タイプ標本

当資料館に収蔵されているウミシダ類のタイプ標本は、セソコヒメウミシダ 1 種の 2 点のみである。現在、当館では藤田喜久博士（琉球大学大学教育センター非常勤講師）が収集した 1000 点近くに及ぶウミシダ類標本の整理が進められている。このコレクションには、沖縄の浅海域に棲息する種（未記載種と思われる標本も含まれている）が網羅的に収集されており、今後のウミシダ類の分類研究の基礎となるものである。

(7) クモヒトデ綱タイプ標本

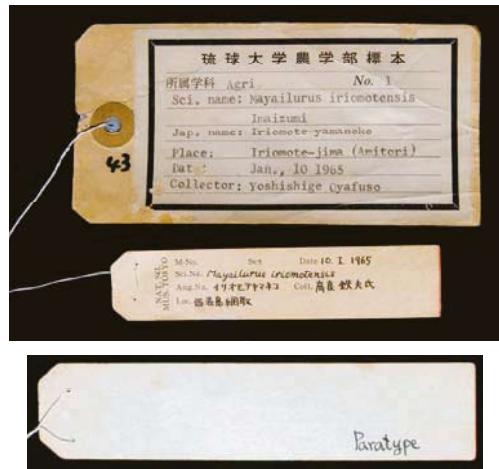
当館に収蔵されているクモヒトデ類のタイプ標本は、1975 年瀬底島で元琉球大学理学部助教授の西平守孝博士（現 名桜大学教授）らによって採集されたトラフクモヒトデのパラタイプ 1 点のみである。このほか、当館には琉球大学理学部の吉野弘美氏と藤田喜久博士（琉球大学大学教育センター非常勤講師）が沖縄近海で採集した 500 点あまりのクモヒトデ類の標本が収蔵されており、当地域の分類および生態学的研究を行う上で重要なコレクションとなっている。

(8) 貧毛綱（ミミズ類）タイプ標本

当館に収蔵されているミミズ類のタイプ標本は、1997～1999 年にかけて琉球大学がハワイ大学と共同で実施した、米海兵隊北部訓練場内生物調査（Legacy Project）で発見され記載されたタイプシリーズの一部である。本プロジェクトには、当館も土壤動物調査担当として参加しており、ミミズ類の他にも調査で収集された土壤動物標本の一部が保管されている。



イリオモテヤマネコ

Mayailurus iriomotensis Imaizumi, 1967現在の学名：*Prionailurus bengalensis iriomotensis* (Imaizumi, 1967)

Paratype (RUMF-ZZ-00043)

原記載：Imaizumi, Y., 1967. A new genus and species of cat from Iriomote, Ryukyu Islands. J. Mammal. Soc. Jap., 3: 75-108.

関連論文：Masuda, R., Yoshida, M. C., Shinyashiki, F. and Bando, G., 1994. Molecular phylogenetic status of the Iriomote cat *Felis iriomotensis*, inferred from mitochondrial DNA sequence analysis. Zool. Sci., 11: 597-604.

Johnson, W. E. et al., 1999. Molecular genetic characterization of two insular Asian cat species, Bornean bay cat and Iriomote cat. Kluwar Academic Publishers, 223-248.

備考：イリオモテヤマネコ属 (*Mayailurus*) の一属一種から、ベンガルヤマネコ属 (*Prionailurus*) に変更された。分類学的には、ベンガルヤマネコの亜種とする説と独立種 *Prionailurus iriomotensis* (Imaizumi, 1967) とする説がある。

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZZ-00043	Paratype	日本沖縄県西表島網取	1965/01/10	親富祖善繁	不明	毛皮

本種は、1965年にネコ科では最後に発見された種であり、「20世紀最大の発見」と世界の注目を集めた。発見当初、古いタイプのネコであると考えられたことから「生きている化石」とも呼ばれた。1967年の記載時につけられた属名は、ネコの沖縄方言 Maya (ヤマネコは「ヤママヤー」) とギリシャ語でネコを意味する ailouros からきている。その後、分類学的位置づけは様々に変化し、現在も議論が続いている。約20万年前に大陸から渡って来たとされるが、西表島という小島嶼での生活に適応する過程で大陸の近縁種とは異なる生態的特性を獲得してきた。たとえばイリオモテヤマネコの哺乳類から昆虫までに及ぶ幅広い食性は、海外のネコ科と異なる大きな特徴であり、こうした適応の一つと考えられる。

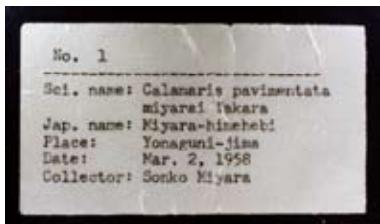
(伊澤 雅子)

ミヤラヒメヘビ

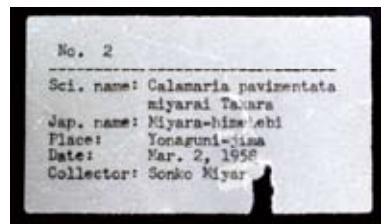
Colubridae ナミヘビ科

Calamaria pavimentata miyarae Takara, 1962

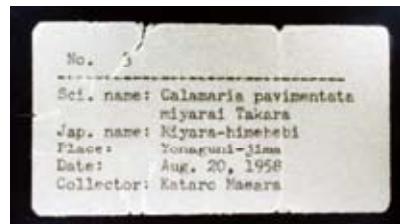
Holotype (RUMF-ZH-00045)



Holotype (RUMF-ZH-00045)



Paratype (RUMF-ZH-00044)



Paratype (RUMF-ZH-00776)

原記載：高良鉄夫, 1962. 琉球列島における陸棲蛇類の研究. 琉球大学農家政工学部学術報告, (9): 1-202, 22 pls.

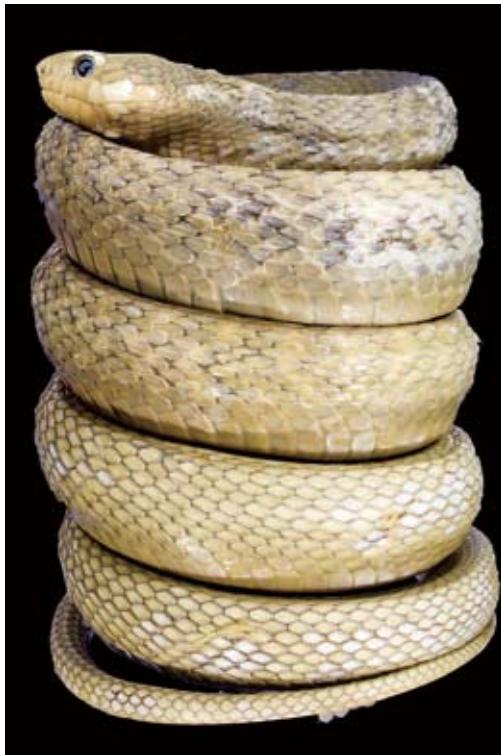
タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZH-00045	Holotype	日本沖縄県与那国島	1958/03/02	宮良孫好	♂	液浸
RUMF-ZH-00044	Paratype	日本沖縄県与那国島	1958/03/02	宮良孫好	♀	液浸
RUMF-ZH-00776	Paratype	日本沖縄県与那国島	1958/08/20	前新加太郎	♂	液浸

1995年の整理の際、00045の瓶には1958年8月10日、K. Maebara採集とのラベルが同封されており、また00044だけが入った瓶には1958年3月2日、宮良孫好採集とのラベル2枚（標本番号欄はNo.1, No.2）が入っていた。性別や測定値などから00044は明らかに原記載中のNo.2標本である。00776はラベルの内容や測定値などから明らかに原記載中のNo.3標本である。他に本亜種の収蔵標本がないことや原記載の内容との整合性から、00045は実はHolotype（原記載中のNo.1標本）であり、何らかの理由で00044と同じ瓶から移され、誤った標本ラベルが付与されたと思われる。

(太田 英利)

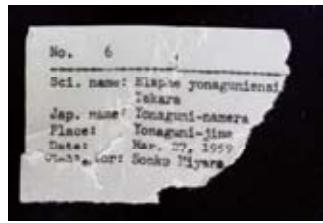
ヨナグニシュウダ

Elaphe carinata yonaguniensis Takara, 1962

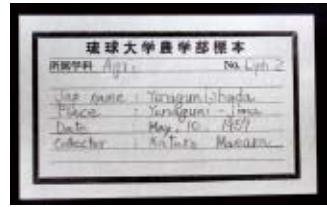
Holotype (RUMF-ZH-00516)



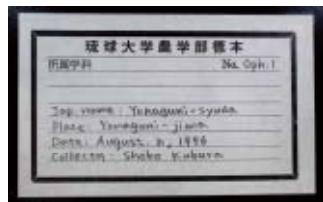
Paratype (RUMF-ZH-00627)



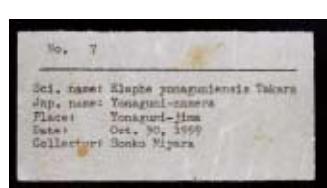
Holotype (RUMF-ZH-00516)



Paratype (RUMF-ZH-00629)



Paratype (RUMF-ZH-00512)



Paratype (RUMF-ZH-00760)

原記載：高良鉄夫, 1962. 琉球列島における陸棲蛇類の研究. 琉球大学農家政工学部学術報告, (9): 1-202, 22 pls.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZH-00516	Holotype	日本沖縄県与那国島	1959/03/27	宮良孫好	♂	液浸
RUMF-ZH-00512	Paratype	日本沖縄県与那国島	1956/08/31	Shoko Kubura	♂	液浸
RUMF-ZH-00627	Paratype	日本沖縄県与那国島	1958/05/02	宮良孫好	♂	液浸
RUMF-ZH-00629	Paratype	日本沖縄県与那国島	1957/05/10	前新加太郎	♀	液浸
RUMF-ZH-00760	Paratype	日本沖縄県与那国島	1959/10/30	宮良孫好	不明	液浸

Holotype は原記載中では No.6 標本とされている。00516 は採集データや測定値・鱗数などが、原記載中の Holotype のものとよく合い、明らかに Holotype と認められる。ただし原記載中では Holotype は雌とされているが、00516 は尾のつけ根に半陰茎を収納しており、明らかに雄である。本標本に限らず本タイプシリーズには、解剖によって半陰茎の有無や生殖腺の形状を確認した痕跡がなく、他の多くのヘビ類と違い鱗数など外部の形態形質に性的二型の乏しい本亜種の標本の性別を、原記載者がどのようにして査定したかには疑問が残る。原記載中では Paratype として計 6 点の標本が挙げられているが、このうち No.4 と No. 5 に相当する標本は見当たらず、失われたことが考えられる。

(太田 英利)

Squamata 有鱗目

Colubridae ナミヘビ科

キクザトサワヘビ

Liopeltis kikuzatoi Okada & Takara, 1958

現在の学名 : *Opisthotropis kikuzatoi* (Okada & Takara, 1958)



Sci. name: *Liopeltis kikuzatoi*
OKADA et TAKARA
Jap. name: Kikuzato-sawabebi
Place: Kume-jima
Date: Sept. 15, 1956
Collector: Kyotatsu Kikuzato



Holotype (RUMF-ZH-00653)

原記載 : 岡田弥一郎・高良鉄夫, 1958. 琉球産アオヘビの一新種. 日本生物地理学会会報, 20 (3) : 1-3.

関連文献 : Toyama, M., 1983. Taxonomic reassignment of the colubrid snake, *Opheodrys kikuzatoi*, from Kume-jima Island, Ryukyu Archipelago. Jpn. J. Herpetol., 10(2): 33-38.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZH-00653	Holotype	日本沖縄県久米島	1956/09/15	喜久里教達	♂	液浸

本種は、沖縄県久米島の山地渓流にのみ生息する固有種で、日本で唯一、流水中で活動する水棲のヘビである。当初、本タイプ標本 1 点のみに基づきアオヘビ属（現 : *Cyclophiops*）の一種として記載され、発見者の喜久里教達氏の名に因んでキクザトアオヘビ (*Liopeltis kikuzatoi* Okada and Takara, 1958) と命名された。その後、本種の分類学的な再検討が行われ、1983 年に筆者（当山昌直）によって現在の学名と和名に変更された。サワヘビ属 (*Opisthotropis*) の近縁種は、中国やフィリピン、ボルネオなどに分布しており、いずれも山間部の渓流に生息している。

本種については長い間、報告が原記載一件だけであったため、学界では数十年にわたり詳細がわからないままになっていた。1981 年沖縄県立博物館で開催された「沖縄群島両生爬虫類展」に発見者の喜久里教達氏が来られた際に、氏の話から本種が久米島の河川で採集されたことがわかった。この情報提供を元に 1982 年 9 月当山らが久米島調査を実施し、河床を這っている本種を採集している。その後に行われた、分類学的再検討にもとづき 1983 年に属名が変更され、和名も新しいものが 1984 年（沖縄県立博物館紀要）に提唱された。

(当山 昌直)

クガニフキバッタ (ヤエヤマフキバッタ)

Acrididae バッタ科

Sinopodisma aurata Ito, 1999

Paratype (RUMF-ZI-15988)

原記載 : Ito, G., 1999. Descriptions of three new species of Podisminae (Orthoptera : Acrididae) from the Ryukyu Archipelago, southern Japan. Entomol. Sci., 1999, 2(4): 503-510.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15987	Paratype	日本沖縄県石垣島沖縄県農業試験場八重山支場	1993/08/24	小濱繼雄	♂	乾燥
RUMF-ZI-15988	Paratype	日本沖縄県石垣島沖縄県農業試験場八重山支場	1993/08/24	小濱繼雄	♂	乾燥
RUMF-ZI-15989	Paratype	日本沖縄県石垣島沖縄県農業試験場八重山支場	1993/08/24	小濱繼雄	♀	乾燥
RUMF-ZI-15990	Paratype	日本沖縄県石垣島パンナ岳	1997/11/26	伊藤元	♀	乾燥

1990年代初頭には、琉球列島に未記載のフキバッタが3種いることがすでに知られており、フキバッタ類の分類学的研究を始めたばかりの筆者は、これらの種を記載する機会に恵まれた。しかし標本が手元にあまりなかったため、現地で採集するとともに、琉球大学農学部や大阪市立自然史博物館の標本庫を漁ったり、沖縄で直翅類の研究をされている小濱繼雄さんからお借りしたりして、ある程度の個体数を集めることができた。

本種はホロタイプ (1♂)、パラタイプ (8♂4♀) が北海道大学農学部に、またパラタイプが琉球大学資料館、大阪市立自然史博物館 (2♂1♀) に保管されている。種小名の *aurata* は、和名とともに、本種が生時は鮮やかな黃金色をしていることに由来する。石垣島で採集した際には、光を浴びて輝く姿に感動したものである。

本種が属する *Sinopodisma* 属は、中国、台湾、八重山諸島、奄美諸島、トカラ列島に分布するが、沖縄本島やその周辺には分布していない。なぜ沖縄本島が空白地帯になっているのだろうか。また、本種がどの地域の種と最も近縁であるかなど、生物地理学的に興味深い材料である。

(伊藤 元)

オキナワフキバッタ

Tonkinacris ruficerus Ito, 1999

Paratype (RUMF-ZI-15992)

原記載 : Ito, G., 1999. Descriptions of three new species of Podisminae (Orthoptera : Acrididae) from the Ryukyu Archipelago, southern Japan. Entomol. Sci., 1999, 2(4): 503-510.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15991	Paratype	日本沖縄県沖縄島名護市羽地大川	1980/07/23	小濱継雄	♂	乾燥
RUMF-ZI-15992	Paratype	日本沖縄県沖縄島名護市久志・大川	1996/10/11	東清二 他	♂	乾燥
RUMF-ZI-15993	Paratype	日本沖縄県沖縄島名護市羽地大川	1980/09/14	小濱継雄	♀	乾燥
RUMF-ZI-15994	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那覇岳山麓	1998/07/26	村山望	♀	乾燥
RUMF-ZI-15995	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村奥	1998/09/13	豊口敬・村山望	♀	乾燥

本種はバッタ科では珍しく、裸子植物（リュウキュウマツ）の葉を食物として利用することができる。リュウキュウマツ林で見られることが多いという情報があったので、もしかするとマツの葉を食べるのではないかと思い、飼育してみることにした。しかし、当時筆者が住んでいたのは札幌で、飼育を試みたのは冬であった。そこで、写真家でヤンバルクロギリスの発見者である村山望さんにお願いしてリュウキュウマツの葉を送ってもらって、それを確かめることができた。リュウキュウマツのみ与えて飼育したところ、3週間以上も生存したのである。しかし野外では何を主に食べているのかまだ確認していない。ホロタイプ（1♂）、パラタイプ（4♂13♀）が北海道大学農学部に、またパラタイプが琉球大学資料館、大阪市立自然史博物館（1♂1♀）に保管されている。種小名の *ruficerus* は、赤色をした触角に因む。本種が属する *Tonkinacris* 属は、沖縄本島に本種、八重山諸島に *T. yaeyamaensis* が分布し、国外では中国とベトナムに分布するが、台湾には分布していない。*Sinopodisma* 属と同様、生物地理学的に興味深い材料である。

(伊藤 元)

イシガキニイニイ

Cicadidae セミ科

Platyplectron albivannata Hayashi, 1974

Paratype (RUMF-ZI-16213)

原記載 : Hayashi, M., 1974. The cicadas of the genus *Platyplectron* (Homoptera, Cicadidae) in the Ryukyu Archipelago, with the description of a new species. Kontyū, 42(3): 232-253.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15020	Paratype	日本沖縄県石垣島米原	1972/06/16	林正美	♂	乾燥
RUMF-ZI-15021	Paratype	日本沖縄県石垣島米原	1972/06/18	林正美	♀	乾燥
RUMF-ZI-16212	Paratype	日本沖縄県石垣島米原	1972/06/18	林正美	♂	乾燥
RUMF-ZI-16213	Paratype	日本沖縄県石垣島米原	1972/06/28	林正美	♀	乾燥

小型のセミで、体長は 20~24 mm、翅端までの全長が 31~36 mm。体、とくに胸部背面には緑色~黄緑色の斑紋が発達する。前胸背の側方は鈍い三角形状（約 120°）に張り出す。前翅の雲状の灰褐色紋は全体的に小さく、先端部では透明部が広くなる。新鮮な個体の前翅の脈上には白色粉が付着する。後翅は黒色で、翅縁部は広く透明となり、黒色部の前方中央部は多少とも乳白色となる。後翅の翅垂部は基部から全体が白色となり、学名はこの特徴に由来する。宮古諸島に分布するミヤコニイニイに近縁でよく似ているが、やや小さく、緑色系の斑紋があることや後翅の白色部などによって区別される。

石垣島固有種で、島内でも米原ヤシ林の一部に限って生息する。6月~7月上旬に出現し、クワノハエノキやギランイヌビワなどを好み、早朝から夕方まで断続的に鳴くが、夕刻~日没時にはとくによく鳴く。本種は、1980年末頃から個体数が急激に減少し始め、1990年代後半にはわずかな個体がごく限られた範囲にしかみられないようになった。環境省と沖縄県のレッドデータブックではともに絶滅危惧 I 類に選定され、さらに、2002年には「種の保存法」の種指定にされ、2003年には生息地保護区が制定された。

(林 正美)

Coleoptera コウチュウ目

オキナワシロヘリハンミョウ

Cicindelidae ハンミョウ科

Callytron yuasai okinawense Hori & Cassola, 1989



Paratype (RUMF-ZI-15004)

原記載 : Hori, M. and Cassola, F., 1989. Notes on the tiger beetle complex of *Callytron nivicinctum* (Coleoptera, Cicindelidae) with description of a new subspecies. Jpn. J. Ent., 57(3): 504-516.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15004	Paratype	日本沖縄県沖縄島宜野座村前原海岸(マングローブ)	1981/07/27	堀道雄	♂	乾燥
RUMF-ZI-15005	Paratype	日本沖縄県沖縄島宜野座村前原海岸(マングローブ)	1981/07/27	堀道雄	♀	乾燥

シロヘリハンミョウは、本州、四国、九州から台湾にかけて広く分布しているが、奄美諸島以南の琉球列島と台湾に産するものは、亜種オキナワシロヘリハンミョウとして記載された。海岸の岩礁や泥地に生息する小型のハンミョウで、近縁種のヨドシロヘリハンミョウによく似ているが、和名の由来となっている上翅の白縁はヨドの方が太く、本種は細い。近年、海岸地域の開発や護岸工事などの影響により、良好な生息環境が減少しているように思われる。所蔵するタイプ標本は、宜野座村前原海岸のマングローブ林で採集されたものである。

(長田 勝)

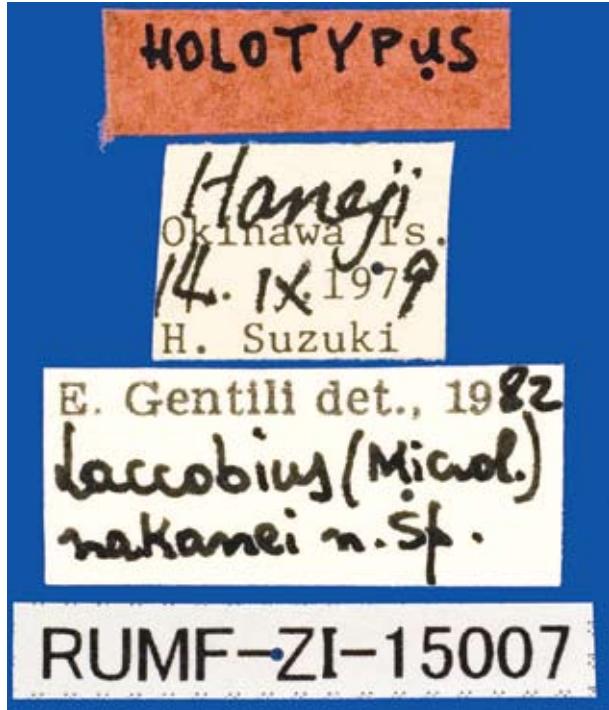
<付記> 本パラタイプの採集ラベルは、1981年7月27日とあるが、原記載中の該当標本の採集日は1981年7月26日である。原記載には他にパラタイプの指定がないことから、原記載もしくは採集ラベルの誤記の可能性が高い。

Coleoptera コウチュウ目

Hydrophilidae ガムシ科

オキナワシジミガムシ

Laccobius nakanei Gentili, 1982



Holotype (RUMF-ZI-15007)

原記載 : Gentili, E., 1982. *Laccobius* del Vecchio Mondo: Nuove specie e dati faunistici (Coleoptera: Hydrophilidae). Annuario Oss, Fis, Terr, Mus, Antonio Stoppani Semin. Arciv. Milano (n.s.), 4: 31-38.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15007	Holotype	日本沖縄県沖縄島名護市羽地	1979/09/14	鈴木寛	♂	乾燥
RUMF-ZI-15008	Allotype	日本沖縄県沖縄島名護市羽地	1979/09/14	小濱継雄	♀	乾燥

本種は、名護市羽地大川の昆虫調査の際にライトトラップで採集された。ホロタイプの採集者、鈴木寛氏は琉球大学農学部昆虫学教室の修士課程を修了し沖縄県農業試験場の研究員として、主にミナミキイロアザミウマの防除法について研究したが、2000年に病没した。

パラタイプは、北海道大学総合博物館（中根コレクション）とイタリア・ヴェローナ市立自然史博物館（Museo di Storia Naturale, Verona）に、それぞれ2点ずつ保管されている（原記載にはパラタイプ標本の雌雄が示されてない）。種小名 *nakanei* は、甲虫分類学者中根猛彦氏に因む。

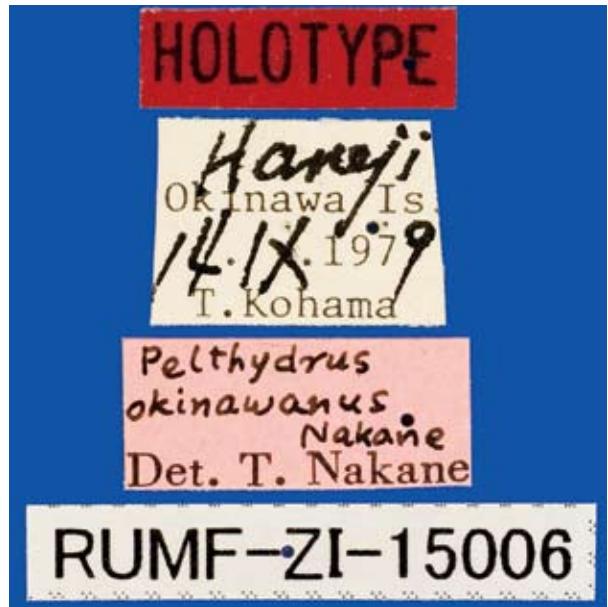
（小濱 継雄）

Coleoptera コウチュウ目

Hydrophilidae ガムシ科

オキナワマルチビガムシ

Pelthydrus okinawanus Nakane, 1982



Holotype (RUMF-ZI-15006)

原記載 : Nakane, T., 1982. New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. XXXV. Rep. Fac. Sci., Kagoshima Univ. (Earth Sci. & Biol.), (15): 101-111.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15006	Holotype	日本沖縄県沖縄島名護市羽地	1979/09/14	小濱継雄	♂	乾燥

1979年9月14日～16日に、羽地大川の中流域で琉球大学農学部昆虫学教室のメンバーによる昆虫調査を行った。東清二先生をはじめ、5名が参加したと思う。本種は初日の夜間のライトトラップで採集されたものだが、体長3mmにも満たない地味な甲虫ゆえ、採集時の記憶は残っていない。羽地大川の中流域は昆虫のよい採集地で、当時、私も足繁く通つてトンボやバッタなどの調査をした。しかし、その場所も今はダムの底に沈んでしまった。

パラタイプ(1♂・1♀)は、北海道大学総合博物館(中根コレクション)に保管されている。種小名の *okinawanus* は、採集地の沖縄島に因む。

(小濱 繼雄)

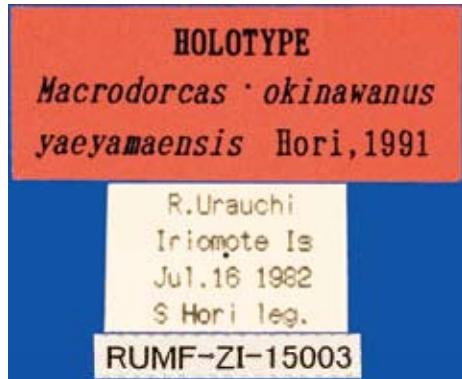
Coleoptera コウチュウ目

ヤエヤマコクワガタ

Lucanidae クワガタムシ科

Macrodorcas okinawanus yaeyamaensis Hori, 1991

現在の学名 : *Dorcus okinawanus yaeyamaensis* (Hori, 1991)



Holotype (RUMF-ZI-15003)

原記載 : Hori, S., 1991. A new subspecies of *Macrodorcas okinawanus* (Coleoptera, Lucanidae) from the Ryukyu Islands. Elytra, 19 (1): 75-76.

関連文献 : Kikuta, T., 1986. On the higher taxa of the stag beetle family Lucanidae. Pap. Ent. pres. Nakane, Tokyo, 131-138.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15003	Holotype	日本沖縄県西表島浦内川	1982/07/16	堀繁久	♂	乾燥

まだ、琉大生物部室が守禮の門の横にあった時代。西表島横断合宿中に島のほぼ中央に泊まり込み、ランタンで灯火採集を行った。しかし、その周りは後輩たちにぐるりと取り囲まれ、あきらめてテントでふて寝していたら、ボソッと何かがぶつかる音。慌てて這い出してその音の主を探すと、信じられないクワガタムシの姿がそこにあった。

その後、何度も追加個体を求めて西表島に入ったが、結局は追加できずに発見から十年後に不本意だったが 1 個体で亜種記載した。原亜種とは、前胸の幅が狭いこと、大アゴの形態、そして赤味を帯びた体色などで区別される。記載当時は、再確認ができないため、何かの間違いではという噂も流れたが、ようやく追加個体が確認され、その存在が認められるようになった。

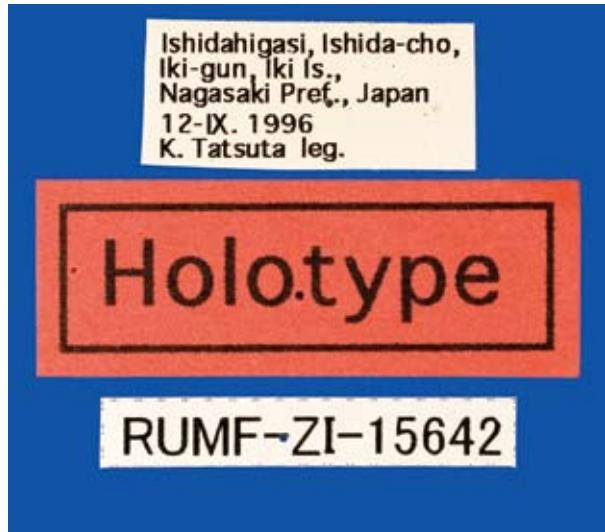
(堀 繁久)

Coleoptera コウチュウ目

イキヒラタクワガタ

Lucanidae クワガタムシ科

Dorcus titanus tatsutai Shiokawa, 2001



Holotype (RUMF-ZI-15642)

原記載：塩川太郎, 2001. 長崎県壱岐産ヒラタクワガタの1新亜種. 月刊むし, 360: 6-8.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15642	Holotype	日本長崎県壱岐郡石田町石田東触	1996/09/12	龍田記美雄	♂	乾燥

ヒラタクワガタは、本州、四国、九州（いずれも周辺島嶼を含む）から琉球列島に分布するが、特に島嶼での分化が著しく、多くの亜種に分類されている。イキヒラタクワガタは、長崎県壱岐諸島（壱岐、長島、大島）に産する個体群で、大顎は前方に長く伸び、近隣の対馬に生息するツシマヒラタクワガタに似ているがやや細く、第1内歯がツシマヒラタより前方に位置するのが特徴である。ツシマヒラタ同様、大型の個体が多い。

種 *titanus* は、東南アジアから日本に至る広大な地域に分布しており、亜種同士を交配させると容易に交雑個体ができる。したがって、国内産の他地域の個体はもとより、外国産の個体を野外に放虫する行為は遺伝的搅乱を引き起こすことになるので、厳に慎まなければならない。

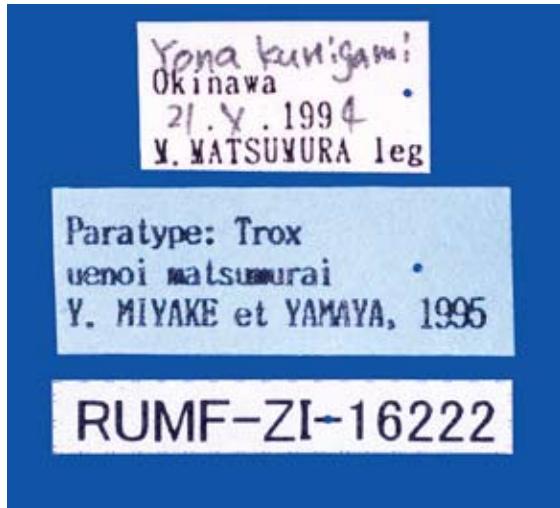
（長田 勝）

Coleoptera コウチュウ目

オキナワコブスジコガネ

Trogidae コブスジコガネ科

Trox uenoi matsumurai Y. Miyake & Yamaya, 1995



Paratype (RUMF-ZI-16222)

原記載 : Miyake, Y. and Yamaya, S., 1995. Some new beetles belonging to Scarabaeoidea (Insecta: Coleoptera: Trogidae, Geotrupidae and Scarabaeidae) preserved in the Nagaoka Municipal Science Museum. Bull., Nagaoka Mun. Sci. Mus., 30: 31-40.

タイプ標本データ

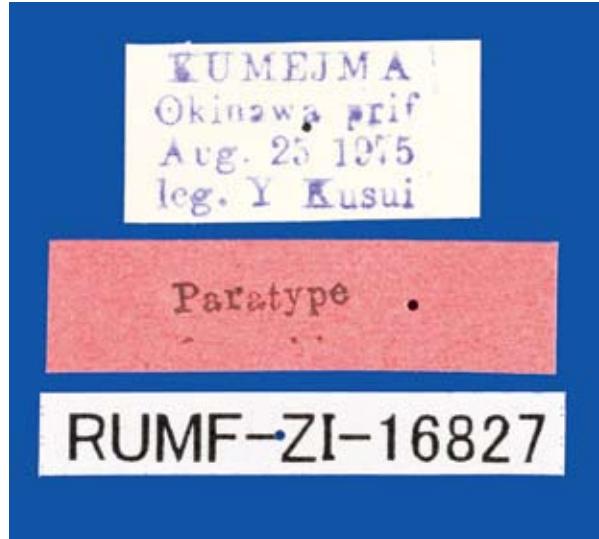
ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16222	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1994/05/21	松村雅史	♀	乾燥

本種を発見した 1994 年以前は、奄美大島にはウエノコブスジコガネが、八重山からはサキシマコブスジコガネが記録されていたが、沖縄島はコブスジコガネ科分布の空白地域となっていた。ある機会に、長岡市立博物館の山屋茂人氏よりその存在の可能性を示唆いただき、国頭村与那に鶏がらを仕掛けたところ、5 月末に数個体が採集された。沖縄島から初めて記録されたコブスジコガネ科であり、奄美大島に棲息するウエノコブスジコガネと前胸背板側縁の形状の違いなどから、その沖縄亜種として山屋氏らにより記載された。

(松村 雅史)

クメジマカブトムシ

Scarabaeidae コガネムシ科

Allomyrina dichotoma inchachina Kusui, 1976

Paratype (RUMF-ZI-16827)

原記載：楠井善久, 1976. 沖縄のカブトムシについて. 昆虫学評論, 29 (1/2): 51-54.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16827	Paratype	日本沖縄県久米島	1975/08/25	楠井善久	♂	乾燥
RUMF-ZI-16828	Paratype	日本沖縄県久米島	1975/08/25	楠井善久	♂	乾燥
RUMF-ZI-16829	Paratype	日本沖縄県久米島	1975/08/25	楠井善久	♀	乾燥
RUMF-ZI-16830	Paratype	日本沖縄県久米島	1975/08/25	楠井善久	♀	乾燥

本亜種は平地や人里に生息する日本亜種 *ssp. septentrionalis* と異なり、自然林に棲息するため、島では山頂付近に棲息していた。そのため、久米島の子供達にはカブトムシは手の届かないものであった。山頂に自衛隊基地があり、民間人が基地内で不審な行動をとらないようにと、採集時は小銃を持った隊員が常に後ろに付いてきた。亜種を命名した当時は形質に差がないとの意見もあったが、その後の交雑試験で日本亜種や沖縄亜種 *ssp. takarai* に比べてかなり差があり、また DNA による系統解析の結果、他の亜種よりも古いタイプのものとされている。種小名の *inchachina* は、久米島の言葉で角の短い山羊、あるいは短い角をインチャチンと呼ぶことに因んで命名した。

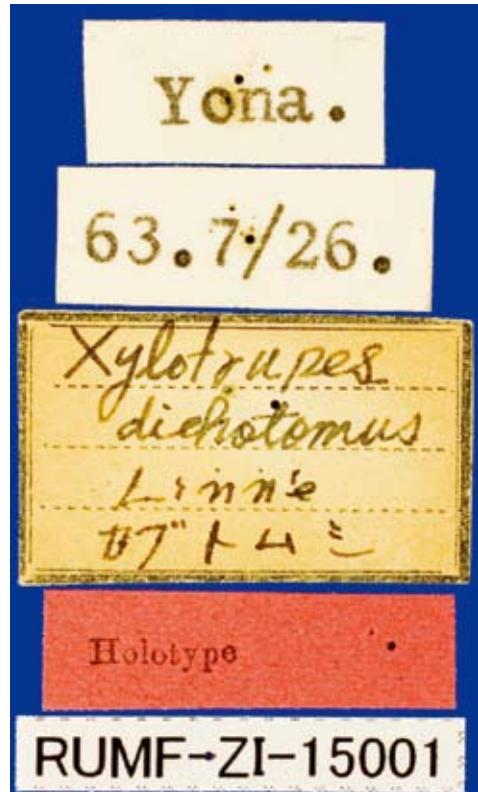
(楠井 善久)

Coleoptera コウチュウ目

Scarabaeidae コガネムシ科

オキナワカブトムシ

Allomyrina dichotoma takarai Kusui, 1976



Holotype (RUMF-ZI-15001)

原記載：楠井善久, 1976. 沖縄のカブトムシについて. 昆虫学評論, 29 (1/2): 51-54.

タイプ標本データ

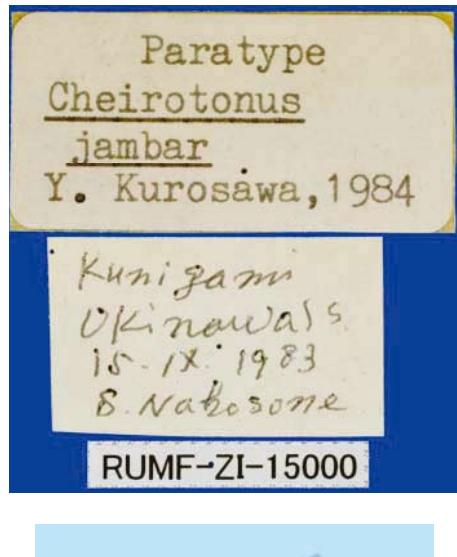
ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15001	Holotype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1963/07/26	不明	♂	乾燥
RUMF-ZI-15002	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1963/07/26	不明	♂	乾燥

クメジマカブトムシを記載するにあたりカブトムシの亜種の検索表を作ったが、そのとき沖縄産のものが、本土産や台湾産などの既知亜種と異なることから同時に記載した。標本は、三宅義一氏が琉球大学の標本を借り受けたものの中に含まれていたものである。亜種名は、標本を貸し出していただいた高良鉄夫博士に献名したものである。本亜種は日本亜種等に比して小型であると言う記述がしばしば見られるが、角状突起が短いだけで、他の亜種と変わらない大型の個体も少なからず採集されている。

(楠井 善久)

ヤンバルテナガコガネ

Cheirotonus jambar Y. Kurosawa, 1984



Paratype (RUMF-ZI-15000)

原記載 : Kurosawa, Y., 1984. Discovery of a new long—armed scarabaeid beetle (Coleoptera) on the Island of Okinawa. Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A, 10(2): 73-78.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15000	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村普久川ダム	1983/09/15	仲宗根貞子	♂	乾燥

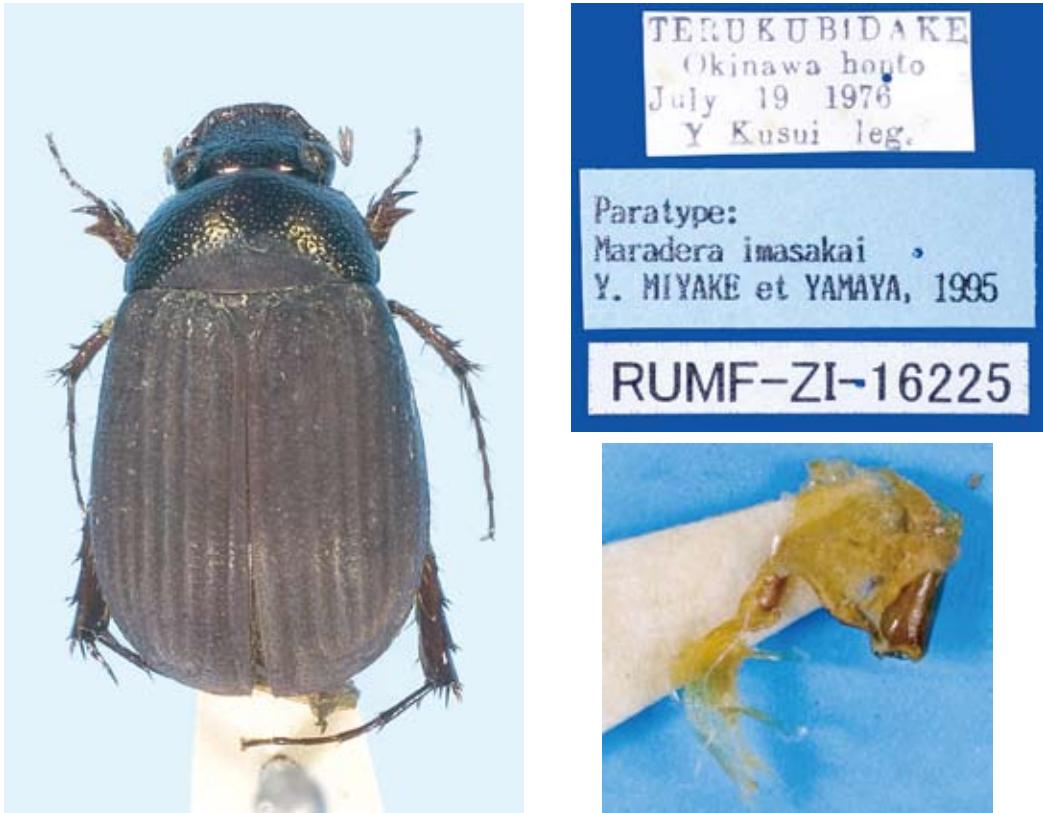
本バラタイプ標本は、野外で生きたまま成虫が発見された最初の個体である。沖縄島北部（通称、やんばる）に位置する普久川ダム管理棟近くの路上で、灯火に飛来した個体が地元住民によって採集された。日本最大の甲虫で、雄の体長は 62 mm に達し、前脛節は著しく伸長し、先端には内側に伸びる長い突起をそなえる。写真のような大型の個体では、この突起の先端が鉤状となる。本種は、地理的に最も近い台湾に分布するタイワンテナガコガネ (*Cheirotonus formosanus*) よりも、中国大陸に分布するヤンソンテナガコガネ (*Cheirotonus jansoni*) に近縁であることが分子系統解析によって明らかになっており、琉球列島の生物地理を研究する上でも重要な昆虫である。幼虫は、イタジイ、オキナワウラジロガシ、イスノキなどに形成された樹洞に生息し、木質部が腐朽し土のようになった腐植物を食べてゆっくりと成長し羽化までに 3~4 年を要する。生息地の森林開発や密猟などによって絶滅が危惧されており、国指定天然記念物および国内希少野生動植物種に指定されている。

(佐々木 健志)

Coleoptera コウチュウ目

Scarabaeidae コガネムシ科

ヤンバルビロウドコガネ
Maladera imasakai Miyake & Yamaya, 1995



Paratype (RUMF-ZI-16225)

原記載 : Miyake, Y. and Yamaya, S., 1995. Some new beetles belonging to Scarabaeoidea (Insecta: Coleoptera: Trogidae, Geotrupidae and Scarabaeidae) preserved in the Nagaoka Municipal Science Museum. Bull., Nagaoka Mun. Sci. Mus., 30: 31-40.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16225	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村照首山	1976/07/19	楠井善久	♂	乾燥

タイプ標本の採集地は沖縄本島北部の照首岳の南側で、当時林道は狭い赤土のこぼこ道でコンクリートのない世界であった。ライトトラップで採集したものであるが、その当時は個体数も多かった。近くに米軍の演習地があり、当時はベトナム戦の最中で演習は真剣なものであった。また、県内の反戦運動も盛んであった。そんな状況のなか、演習地の近くで発する私達のライトトラップの青い光を米軍が過激派の反戦活動と思ったのか、大型の戦闘ヘリコプターが頭上に飛来して、ホバリングを続けながらいつまでも見張っていた。機内の小銃を持った兵隊の影が目に残った。

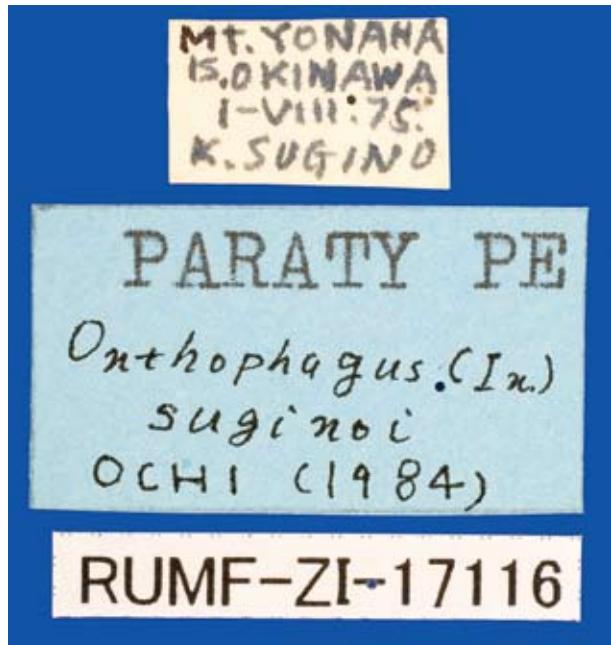
(楠井 善久)

Coleoptera コウチュウ目

Scarabaeidae コガネムシ科

ヤンバルエンマコガネ

Onthophagus (Indachorius) suginoi Ochi, 1984



Paratype (RUMF-ZI-17116)

原記載 : Ochi, T., 1984. Two new species of the genus *Onthophagus* Latreille from Taiwan and the Ryukyu Archipelago (Coleoptera, Scarabaeidae). Ent. Rev. Japan, 39(1): 63-67.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-17116	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那覇岳	1975/08/01	杉野広一	♂	乾燥

本標本は、沖縄本島国頭村与那覇岳山麓の奥間林道近くで腐肉トラップにより、ホロタイプと同時に採集されたものである。本種のオスは、小型ながら頭部に1小角を具えている。本種の所属する *Indachorius* 亜属は、熱帯アジアに広く分布するグループで、本種はその分布の北限に当たる。沖縄本島・久米島の固有種である。台湾に近縁種 *Onthophagus hsui* Masumoto, Chen & Ochi を産す。ホロタイプは、大阪市立自然史博物館に保管されている。種小名は、採集者に因む。

(杉野 広一)

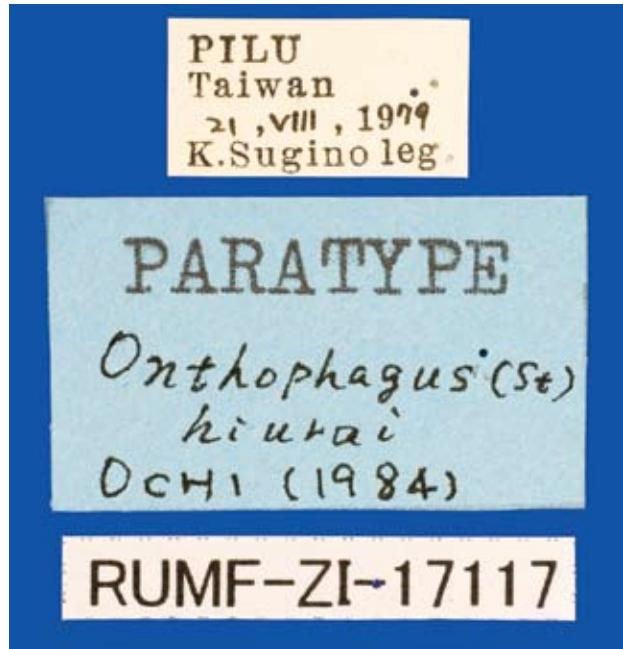
Coleoptera コウチュウ目

Scarabaeidae コガネムシ科

アトトゲエンマコガネ

Onthophagus (Strandius) hiurai Ochi, 1984

現在の学名 : *Onthophagus (Strandius) potanini hiurai* Ochi, 1984



Paratype (RUMF-ZI-17117)

原記載 : Ochi, T., 1984. Two new species of the genus *Onthophagus* Latreille from Taiwan and the Ryukyu Archipelago (Coleoptera, Scarabaeidae). Ent. Rev. Japan, 39(1): 63-67.

関連文献 : Masumoto, K., Tsai, J. and Ochi, T., 2006. A revisional study of the Taiwanese Scarabaeinae (Coleoptera, Scarabaeidae). Elytra, 34(1): 139-144.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-17117	Paratype	台湾台中県 Pilu	1979/08/21	杉野広一	♂	乾燥
RUMF-ZI-17118	Paratype	台湾台中県 Pilu	1979/08/21	杉野広一	♀	乾燥

本標本は、台湾台中県の山岳地帯で、腐肉トラップにより採集された。日本のカドマルエンマコガネに似ているが、より大型で横に大きく張り出した♂前胸背の突起が特徴である。インド～中国にかけて、数種の近縁種が広く分布している。ホロタイプは、大阪市立自然史博物館に保管されている。種小名は、大阪市立自然史博物館の故日浦勇氏に因む。

なお、本種は中国北京近郊産の個体を基に 1979 年に記載された *Onthophagus (Strandius) potanini* Kabakov の亜種に、Masumoto ら (2006) により種名を変更された。原亜種は中国に広く分布している。

(杉野 広一)

Coleoptera コウチュウ目

ヒメヤマトケシマグゾコガネ

Scarabaeidae コガネムシ科

Leiopsammodius yadai Ochi, Kawahara & Inagaki, 2006

現在の学名 : *Platytomus yadai* (Ochi, Kawahara & Inagaki, 2006)



Paratype (RUMF-ZI-16224)

原記載 : Ochi, T., Kawahara, M. and Inagaki, M., 2006. Taxonomic notes on some Japanese coprophagous lamellicorn beetles (Coleoptera, Scarabaeoidea) VII. Descriptions of two new taxa of Aphodiidae. Kogane, (7): 31-36.

関連文献 : Ochi, T., Kawahara, M. and Inagaki, M., 2007. Transfer of the Japanese species, *Leiopsammodius yadai* Ochi, Kawahara et Inagaki to the genus *Platytomus* Mulsant (Coleoptera, Scarabaeoidea). Kogane, (8): 65-66.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16224	Paratype	日本沖縄県沖縄島恩納村谷茶	2006/05/27	野林千枝	不明	乾燥

本種は、2005年に矢田秀雄氏によって沖縄島の恩納村谷茶にあるホテルの駐車場の灯火に飛来した個体が採集されたのが最初である。2006年、本種の記載に必要な追加標本を得るために来沖された、河原正和氏の採集に同行することができた。本種は体長が2~3 mmと非常に小さなため、採集は生息場所の花壇の土をスコップですくい、水を貯めたバケツの中に入れて攪拌し、ゴミとともに浮いてきた虫を網杓子ですくい採るという地味な方法であった。1時間を費やして採集できた2個体を、氏のご好意でタイプ標本にして頂いた。その後の分類学的研究で、本種の属は *Leiopsammodius* から *Platytomus* に変更された。

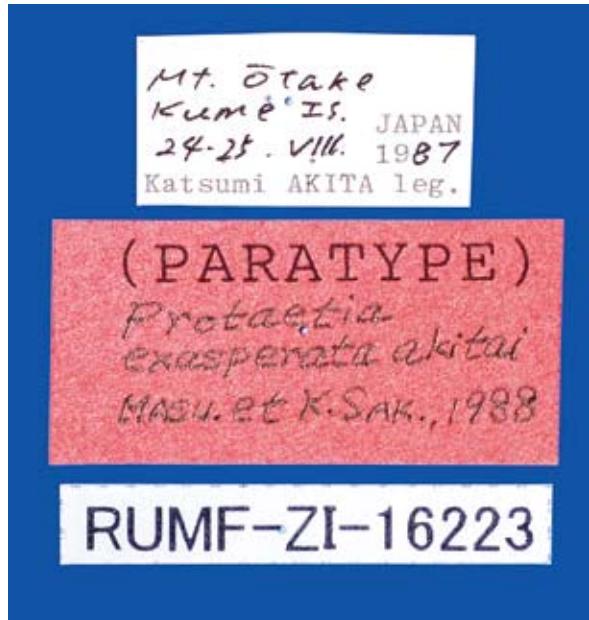
(野林 千枝)

Coleoptera コウチュウ目

オオシマアオハナムグリ 久米島亜種

Scarabaeidae コガネムシ科

Protaetia exasperata akitai Masumoto & K. Sakai, 1988



Paratype (RUMF-ZI-16223)

原記載：益本 仁雄・酒井 香, 1988. 久米島産オオシマアオハナムグリの1新亜種. 月刊むし, 208: 4-5.

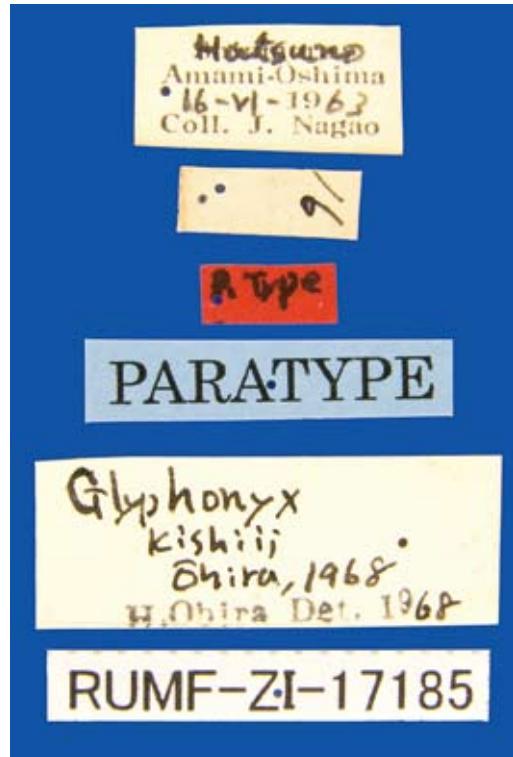
タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16223	Paratype	日本沖縄県久米島大岳	1987/08/24-25	秋田勝己	♀	乾燥

オオシマアオハナムグリは、口永良部島から沖縄島にかけて分布する種であるが、地理的な変異に富み、現在 9 亜種に分類されている。本亜種は、久米島に分布する。体型や前胸背板および上翅白斑の発現部位は、沖縄島亜種 (ssp. *satoi* Nakane, 1956) に似る。しかし、沖縄島亜種の背面が被覆物で覆われて光沢を欠くのに対し、本亜種は被覆物を欠くため光沢を持つこと、上翅白斑が縮小ないし消失する傾向があることでそれとは容易に区別される。また、他亜種の発生ピークが 6~7 月であるのに対し、本亜種の発生ピークは 8 月中～下旬と遅いことも特異である。亜種名は採集者に因む。

(秋田 勝己)

キシイクチボソコメツキ

Glyphonyx kishii Ôhira, 1968

Paratype (RUMF-ZI-17185)

原記載 : Ôhira, H., 1968. The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, IV. Bull. Aichi Univ. Edu., 17 (Nat. Sci.): 123-134.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-17185	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/06/16	J. Nagao	不明	乾燥
RUMF-ZI-17186	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/06/16	J. Nagao	不明	乾燥
RUMF-ZI-17187	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/06/16	J. Nagao	不明	乾燥
RUMF-ZI-17188	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/06/16	J. Nagao	不明	乾燥

体長は 4 mm 内外。体は暗褐色で光沢を有し、上翅は肩角部より後方に流れる判然としない帯状の縦斑を有する。奄美大島の八津野 (Hatsuno) が原産地であるが、奄美大島の山林には広く分布しており、成虫はイジュ (ツバキ科) の花に飛来することが知られている。幼虫は土壤中に生息していると思われる。原記載以降に、本種は徳之島に分布することを Ôhira (2006) が報告している。

その他、本種は Ôhira (1968) が沖縄本島産に *G. kishii nomurai* と命名した亜種を記載しているが、これはのち Ôhira (1970) が独立種としている。

(大平 仁夫)

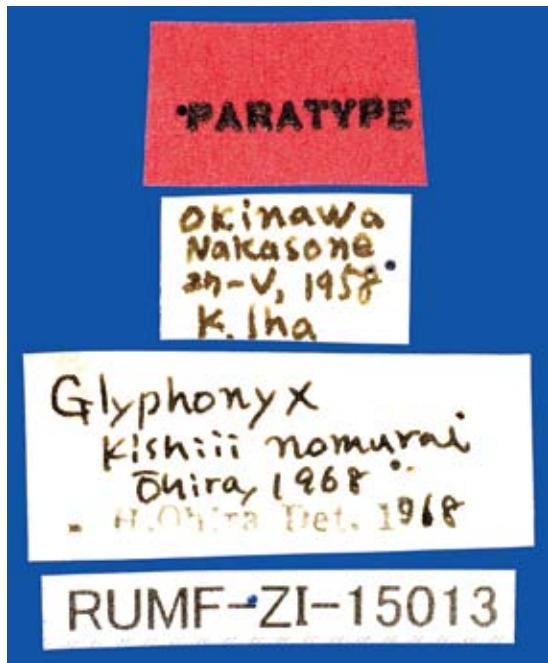
Coleoptera コウチュウ目

Elateridae コメツキムシ科

オキナワクチボソコメツキ

Glyphonyx kishiii nomurai Ôhira, 1968

現在の学名 : *Glyphonyx nomurai* Ôhira, 1968



Paratype (RUMF-ZI-15013)

原記載 : Ôhira, H., 1968. The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, IV. Bull. Aichi Univ. Edu., 17 (Nat. Sci.): 123-134.

関連文献 : Ôhira, H., 1970. The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, VIII (Coleoptera). Bull. Aichi Univ. Edu., XIX (Nat. Sci.): 103-111.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15013	Paratype	日本沖縄県仲宗根	1958/05/27	K. Iha	不明	乾燥

原記載は奄美大島産 (*G. kishiii* Ôhira, 1968) の沖縄本島亜種 (*G. kishiii nomurai* Ôhira, 1968) として記載されたが、のち Ôhira (1970) は独立種として命名上の処理をしている。

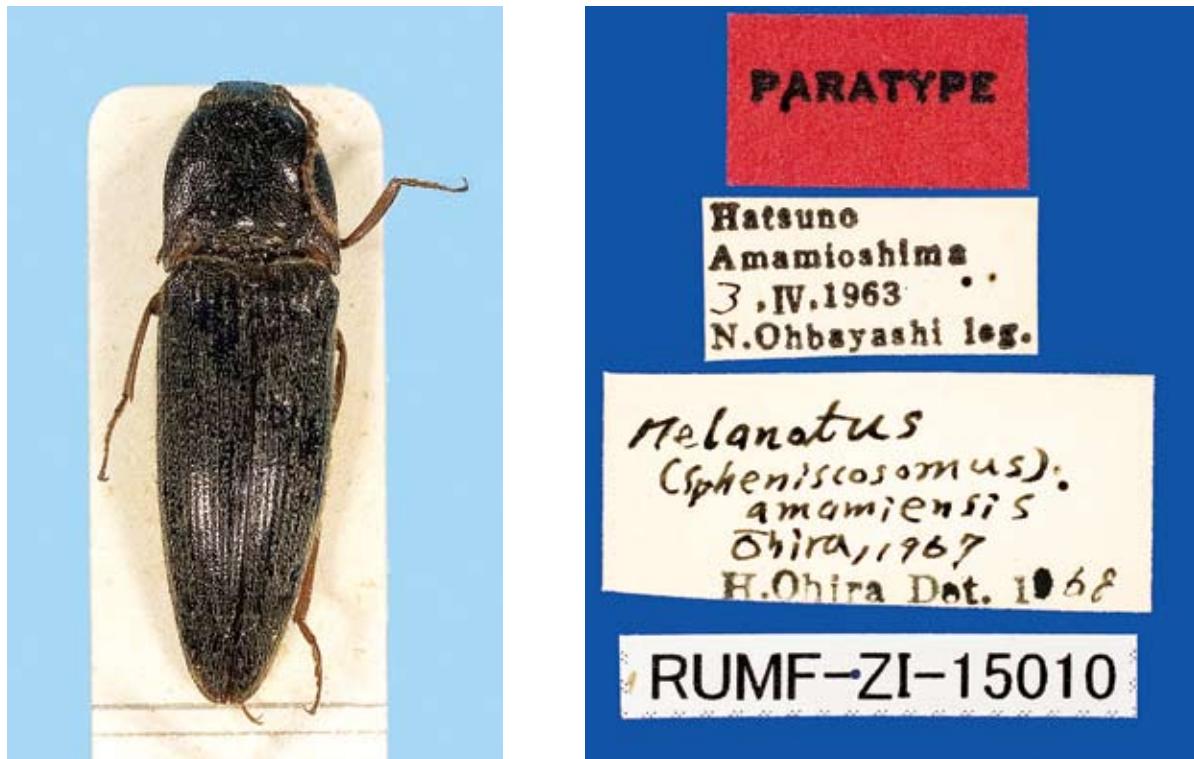
体長は 4 mm 内外で暗褐色（頭部と前胸背板は黒褐色）で光沢を有する種であるが、類似種が他にもいるので、識別は簡単ではない。*Glyphonyx* 属の種は頭部の前頭横隆線が V 字状をしているのが特徴である。

沖縄本島では現在、北部の山林帯（棚原、西銘岳、安田、我地、我地林道）から知られており、成虫は花上で見出されるようであるが、詳しいことは判明していない。

(大平 仁夫)

アマミクシコメツキ

Elateridae コメツキムシ科

Melanotus amamiensis amamiensis Ôhira, 1967

Paratype (RUMF-ZI-15010)

原記載 : Ôhira, H., 1967, The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, III (Coreoptera). Bull. Japan Ent. Acad., 3 (5): 27-38.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15010	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/04/03	大林延夫	不明	乾燥

体長は 15 mm 内外で前胸背板はやや偏平状。体は黒色～黒褐色で鈍い蝶状の光沢を有し、黄褐色毛を生じる。触角と肢と腹部の大部分は褐色である。奄美大島の湯湾岳産の雄個体を完模式標本に指定して新種として記載されたが、沖縄本島産は現在ではヤンバルクシコメツキ (*M. amamiensis yambarus* Kishii, 1985) と呼ばれる別亜種にされている。森林性の種で原名亜種は湯湾岳や油井岳などが主な産地であるが、沖縄本島産亜種は与那覇岳を含む北部の山林帯に分布している。成虫は 4 月から 6 月ころに現れ、花上で見出されることが多いが、灯火にも飛来している。

(大平 仁夫)

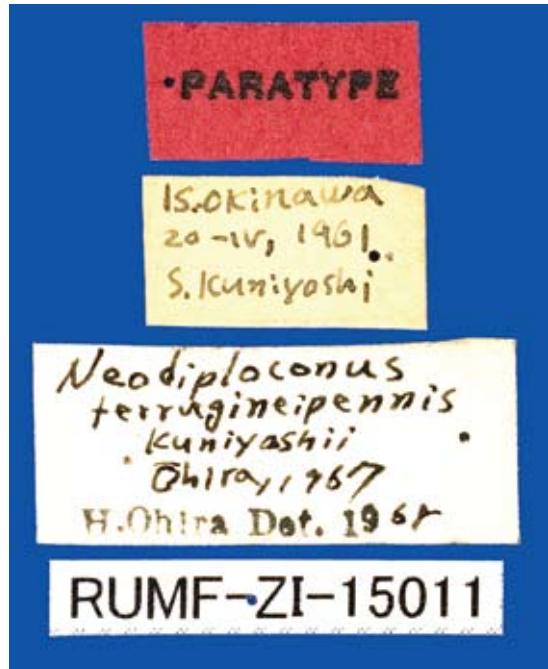
Coleoptera コウチュウ目

Elateridae コメツキムシ科

クニヨシホソクシコメツキ

Neodiploconus ferrugineipennis kuniyoshii Ôhira, 1967

現在の学名 : *Priopus ferrugineipennis kuniyoshii* (Ôhira, 1967)



Paratype (RUMF-ZI-15011)

原記載 : Ôhira, H., 1967, The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, III (Coreoptera). Bull. Japan Ent. Acad., 3 (5): 27-38.

関連文献 : Hayek, C. M. F. von, 1990. A reclassification of the Melanotus group of genera (Coleoptera: Elateridae). Bull. Bri. Mus. Nat. Hist. (Ent.), 59 (1): 37-115.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15011	Paratype	日本沖縄県沖縄島	1961/04/20	S. Kuniyoshi	不明	乾燥

原記載では属名が *Neodiploconus* になっているが、現在では *Priopus* の属名で扱われている。原名亜種は石垣島と西表島に産し、沖縄本島産はより小形で、上記の亜種とされている。体長は 9~11 mm 内外。頭部と前胸背板と小楯板などは黒色、胸部は黒褐色、上翅は赤褐色をした美麗種である。本属の種は南西アジア地域に多くの種が分布しているが、琉球列島からは 4 種 3 亜種知られている。

成虫は 4~5 月ころに現れ、主として北部の山林帯に分布、花上で見出されることが多い。肢の爪が鋸歯状をしているので、クシコメツキ類 (*Melanotus* 属) の近くに置かれているが、系統関係についてはまだ不明な点が多い。

(大平 仁夫)

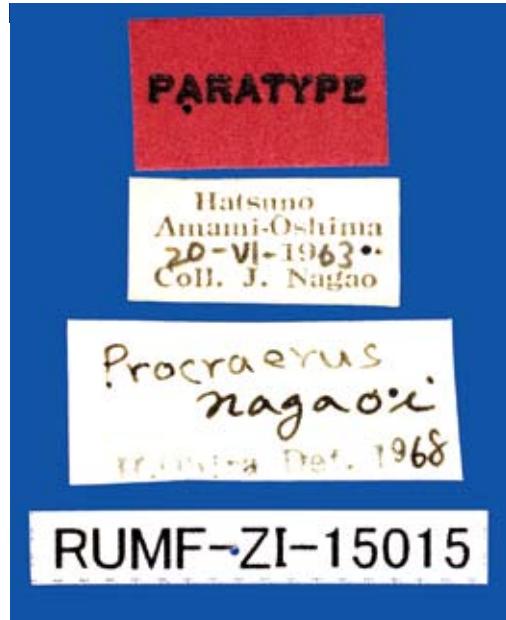
Coleoptera コウチュウ目

ナガオホソキコメツキ

Elateridae コメツキムシ科

Procræterus nagaoi Ôhira, 1968

現在の学名 : *Agaripenthes nagaoi* (Ôhira, 1968)



Paratype (RUMF-ZI-15015)

原記載 : Ôhira, H., 1968. The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, V (Coleoptera). Kontyû, 36 (2): 134-143.

関連論文 : Ôhira, H., 1970. Notes on some elaterid-beetles from Japan (Coleoptera) (V). Ent. Rev. Japan, 22 (2): 75-88. (in Japanese with English Summary)

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15014	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/06/20	J. Nagao	不明	乾燥
RUMF-ZI-15015	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/06/20	J. Nagao	不明	乾燥
RUMF-ZI-15016	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/06/20	J. Nagao	不明	乾燥

原記載は奄美大島 (Nadakawa, Shin-mura, Hatsuno) からの 91 点がタイプ標本に指定されている。また、原記載では *Procræterus* 属の種として扱われているが、触角に 1 縦隆線を有することから、*Agaripenthes* 亜属を Ôhira (1970) が設立して含めている。しかし、最近では属として扱われることが多い。

体長は 3.5 mm 内外。体は触角や肢も含めて淡黄褐色、頭部と前胸背板はより濃色で、頭部はときに黒褐色を呈する。成虫は山林の花上で見出され、活発に飛翔する。現在では徳之島や沖縄本島（名護）にも分布が知られている。

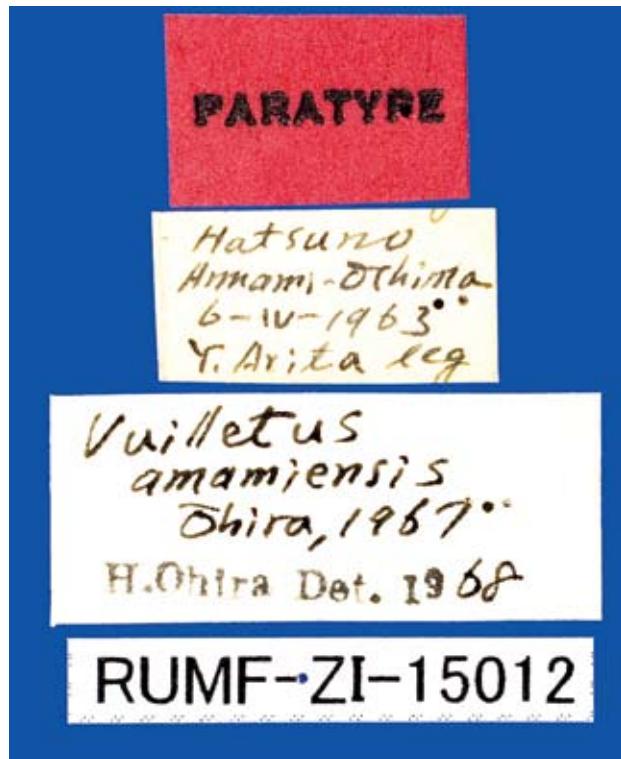
(大平 仁夫)

Coleoptera コウチュウ目

アマミミドリヒメコメツキ 基亜種

Elateridae コメツキムシ科

Vuilletus amamiensis amamiensis Ôhira, 1967



Paratype (RUMF-ZI-15012)

原記載 : Ôhira, H., 1967, The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, III (Coreoptera). Bull. Japan Ent. Acad., 3 (5): 27-38.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15012	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1963/04/06	有田豊	♀	乾燥

本種は奄美大島八津野産の雄個体を完模式標本に指定、同所産の7雄6雌個体を副模式標本に指定して Ôhira (1967) が新種として記載した種である。

体長は5~6 mm内外。体は青緑色~青藍色の金属光沢を有し、触角は基部3節を除いて黒褐色、肢は褐色をした宝石のような美麗種である。原記載以降に Ôhira (1971) は、沖縄本島産 (Izumi- Gogayama) を完模式標本に指定して *V. amamiensis okinawana* と命名して亜種としている。

成虫は山林性で、3月~5月ころに花上で見出されるが、最近の山林の開発で個体数が少なくなっている。幼虫は近似種から推定して地表部に生育しているコケ類の下側に生息しているものと思われる。写真の Paratype 標本は、雌個体。

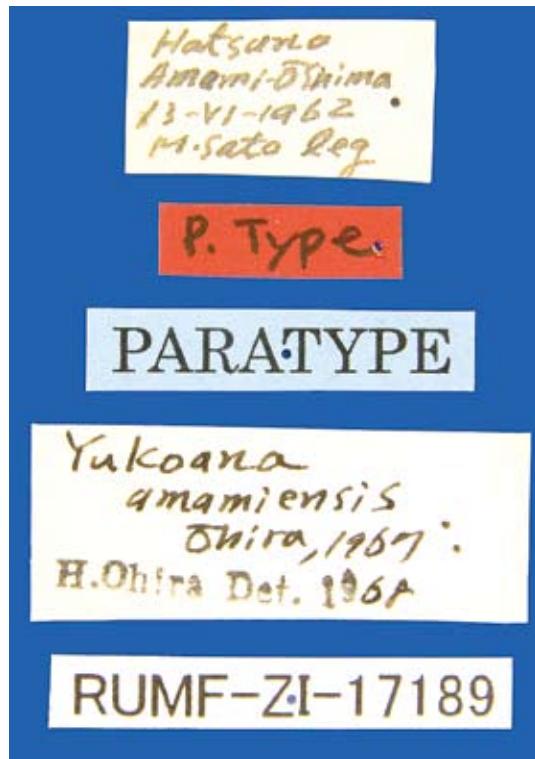
(大平 仁夫)

Coleoptera コウチュウ目

アマミマメコメツキ

Elateridae コメツキムシ科

Yukoana amamiensis Ohira, 1967



Paratype (RUMF-ZI-17189)

原記載 : Ôhira, H., 1967. The Elateridae of the Ryukyu Archipelago, II (Coleoptera). Ent. Rev. Japan, 19 (2) 41-50.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-17189	Paratype	日本鹿児島県奄美大島八津野	1962/06/13	佐藤正孝	♀	乾燥

本種は、Ôhira (1967) が奄美大島の八津野 (Hatsuno) 産の体長 3 mm の雄個体に基づいて新種として記載したもので、同時に同所産の 8 点を副模式標本に指定しており、その 1 雌がここに図示した個体と思われる。

体長は 3~4.5 mm ほどで変異があるが、一般に雌は大形である。体は幅広く、両側は平行状、黒色で光沢は鈍く、体背面には褐色の毛を生じる。

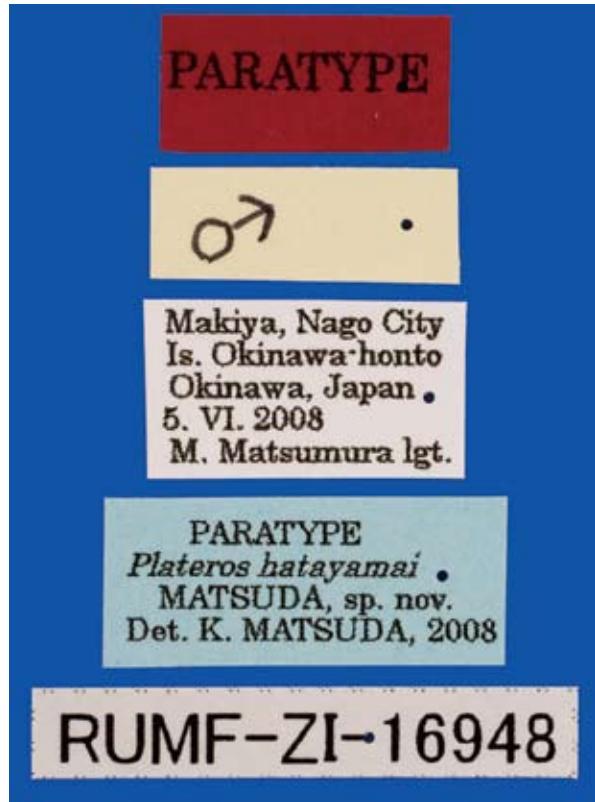
奄美大島では八津野や湯湾岳や中央林道などにも分布することが判明しているが、奄美大島固有種のようである。詳しい生態は判明していないが、成虫は 5 月から 6 月頃に現れている。

(大平 仁夫)

ハタヤマベニハナボタル

Plateros hatayamai Matsuda, 2008

Lycidae ベニボタル科



Paratype (RUMF-ZI-16948)

原記載 : Matsuda, K., 2008. Notes on the Lycid genus *Plateros* (Coleoptera: Lycidae: Platerodinae) from East Asia, II. A review of the *Plateros nakachii* species-group in the Okinawa Islands, Japan. Ent. Rev. Japan, 63 (2): 89-102.

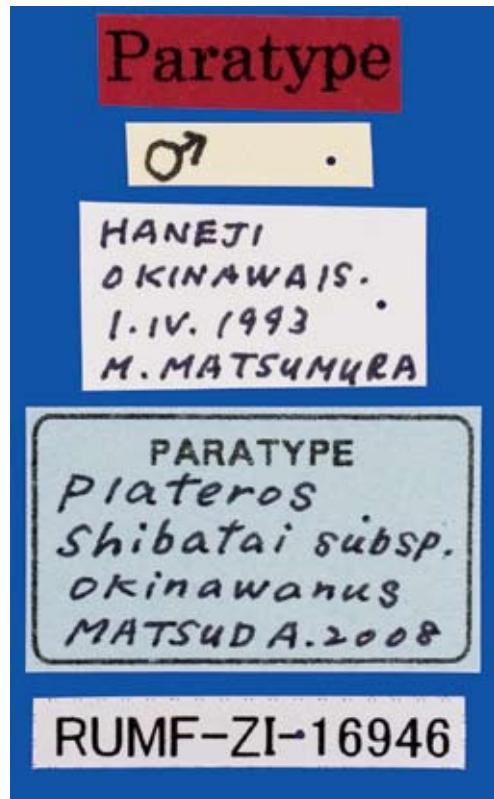
タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16948	Paratype	日本沖縄県沖縄島名護市真喜屋	2008/06/05	松村雅史	♂	乾燥
RUMF-ZI-16949	Paratype	日本沖縄県沖縄島名護市真喜屋	2008/05/25	松村雅史	♀	乾燥

これまでの調査では、ハタヤマベニハナボタルは沖縄本島中・北部および慶良間列島渡嘉敷島と久米島の分布が確認されている。この種は沖縄本島全域に分布するオキナワハナボタル *P. nakachii* Nakane とよく似るが、複眼がより大きく、小顎鬚や雄交尾器の形態が異なるなどの諸点で区別される。

なお、松田（2008）の研究から、沖縄本島北部には、これまで 1 種と見なされてきたオキナワハナボタルと同属で同体色のベニボタルが 4 種同所的に分布することが判明した。

(松田 潔)



Paratype (RUMF-ZI-16946)

原記載 : Matsuda, K., 2008. Notes on the Lycid genus *Plateros* (Coleoptera: Lycidae: Platerodinae) from East Asia, I. Descriptions of seven new taxa from Japan. Spec. Publ. Japan Coleopt. Soc., (2): 241-272.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16946	Paratype	日本沖縄県沖縄島名護市羽地	1993/04/01	松村雅史	♂	乾燥

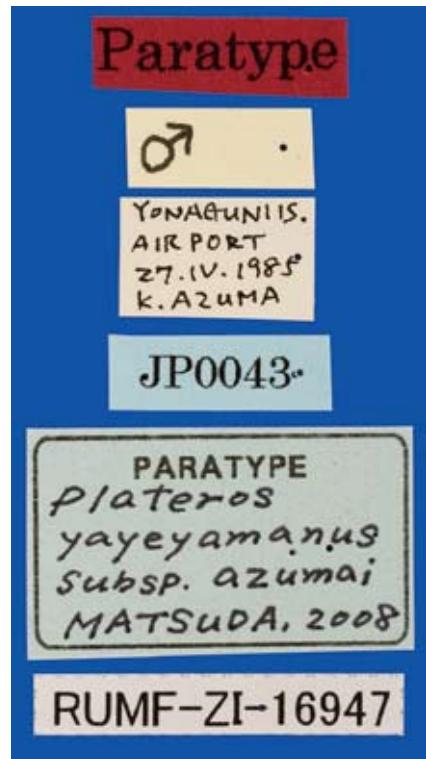
奄美大島を基準産地とするシバタハナボタル *P. shibatai shibatai* Nakane の沖縄本島亜種である。体全体が黒色の小形のベニボタルの仲間であり、雄交尾器中央片の先端部はやじり状に突出する。沖縄島亜種は基亜種に比べ、複眼が大きく、雄交尾器中央片がより長いなどの諸点で区別される。南西諸島から、シバタハナボタル種群に属すものとしては、シバタハナボタルのほかにあと 1 種、石垣島と西表島に分布するサキシマハナボタル *P. sakishimana* Nakane が知られている。

(松田 潔)

ヤエヤマベニハナボタル 与那国島亜種

Plateros yaeyamanus azumai Matsuda, 2008

Lycidae ベニボタル科



Paratype (RUMF-ZI-16947)

原記載 : Matsuda, K., 2008. Notes on the Lycid genus *Plateros* (Coleoptera: Lycidae: Platerodinae) from East Asia, I, Descriptions of seven new taxa from Japan. Spec. Publ. Japan Coleopt. Soc., (2): 241-272.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16947	Paratype	日本沖縄県与那国島与那国空港	1985/04/27	K. Azuma	♂	乾燥

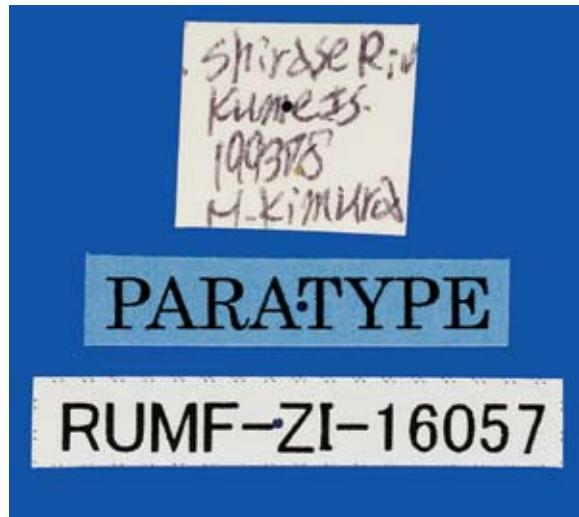
竹富島を基準産地とするヤエヤマベニハナボタル (*P. yayeyamanus yayeyamanus* Chûjô et Satô) の与那国島亜種である。基準亜種と色彩が異なり、前胸背と上翅がオレンジ赤色の美しいベニボタルである。日本最西端の与那国島からは、これまでに 2 種のベニボタルの分布が確認されている。残りの 1 種は、ヤエヤマキベリクロハナボタル与那国島亜種 (*P. rufomarginatsu yonagunianus* Matsuda) である。この種は、前胸背が黄色、上翅が黒色の小形のベニボタルで、石垣島と西表島に分布する基準亜種 (*P. rufomarginatsu rufomarginatsu* Chûjô et Satô) とは、体色、触角第 4・5 節の長さ、雄交尾器の形態などの諸点で区別される。

(松田 潔)

クメジマボタル

Luciola owadai M. Satô & Kimura, 1994

Lampyridae ホタル科



Paratype (RUMF-ZI-16057)

原記載 : Satô, M. and Kimura, M., 1994, Discovery of a new firefly of the genus *Luciola* (Coleoptera, Lampyridae) from Kume-jima of the Ryukyu Islands. Elytra, 22 (1): 159-162.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16056	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♂	乾燥
RUMF-ZI-16057	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♂	乾燥
RUMF-ZI-16058	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♂	乾燥
RUMF-ZI-16059	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♂	乾燥
RUMF-ZI-16060	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♀	乾燥

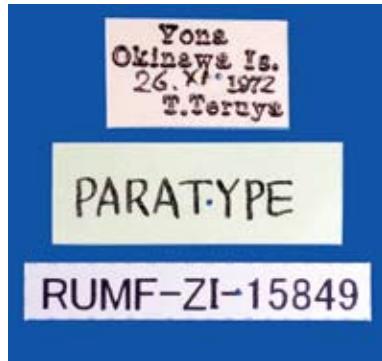
クメジマボタルの発見はまったくの偶然であった。1993年の春、国立科学博物館の大和田守博士と蛾の調査のため久米島を訪れた時のことである。4月27日の晩、灯火採集の白幕に1匹のホタルが飛来した。この見慣れない大きなホタルを掴み、「こんなのが琉球にいたかな?」と首を傾げた。灯火採集を終え、静まりかえった星影の森に目をやると、幾筋もの光の軌跡が...。慌てて光を目指して谷底に降りてみると、そこには無数のホタルが乱舞していた。その美しさに感嘆の声を上げつつ、「新種かもしれない」と胸躍らせながら長竿の捕虫網を夢中で振り回した。興奮冷めやらぬまま、深夜にも関わらずホタル分類の権威である佐藤正孝先生に電話で報告した。先生の弾んだ御様子に、新種の期待は確信に変わった。初めに白幕に飛來した1匹以外、得られた標本はすべて雄だったので、5月8日の昼間に雌を探しに再び同地を訪れた。白瀬川上流の渓畔の草むらのあちこちには、多数のホタルがとまっていた。私はホタルを眺めながら、しばし新種発見の喜びに浸っていた。

(木村 正明)

タテオビフサヒゲボタル

Stenocladius azumai Nakane, 1981

Lampyridae ホタル科



Paratype (RUMF-ZI-15849)

原記載 : Nakane, T., 1981. New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions.
XXXIII. Fragm. Coleopterol., (29/32): 125-130.

タイプ標本データ

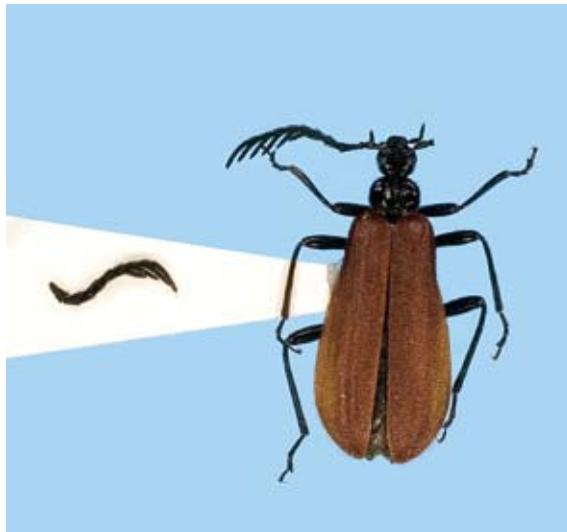
ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15849	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1972/11/26	照屋匡	♂	乾燥
RUMF-ZI-15850	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1976/11/27	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15851	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1976/11/27	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15852	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1976/11/27	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15853	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1976/11/27	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15854	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1976/11/28	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15855	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15856	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15857	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15858	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15859	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15860	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15861	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15862	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15863	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15864	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15865	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/01/15	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15866	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1977/07/10	金城政勝	♂	乾燥

沖縄島の固有種で、タイプシリーズはいずれも沖縄島北部の国頭村与那にある琉球大学農学部の亜熱帯フィールド科学教育研究センター与那フィールドで採集された。本種が属する *Stenocladius* 属は、日本では奄美大島以南の琉球列島に4種が分布しており、大きな島ごとに別種となっている。和名の「フサヒゲ」は、雄の触角第3~10節までが櫛状に2分岐し房状になることに由来する。雌は幼虫型で、完全な無翅である。雌雄ともに僅かに発光することが知られているが、おもに昼行性で雌の性フェロモンによって雄が誘引される。幼虫はミミズ類を捕食する。種小名の *azumai* は、本種の発見者の一人である東清二博士（琉球大学名誉教授）の名前に因む。

(佐々木 健志)

リュウキュウアカハネムシ

Pyrochroidae アカハネムシ科

Pseudopyrochroa kazuoi teruhisai M. Saitô, 1990

Paratotype (RUMF-ZI-15009)

原記載 : Saitô, M., 1990. A new subspecies of Pyrochroid beetle (Coleoptera, Pyrochroidae) from Okinawa-hontô, southwest Japan. Elytra, 18 (1): 105-107.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15009	Paratotype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1988/03/13	上野輝久	不明	乾燥

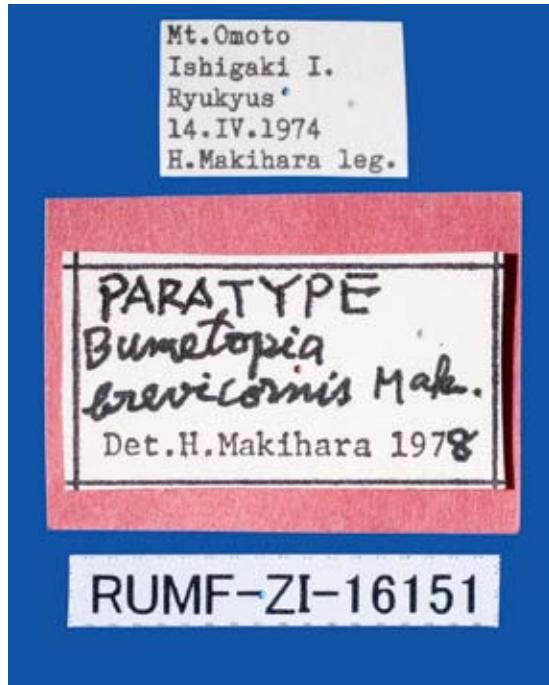
この記載は、私にとって初めての記載となる。学名には 2 名の名前が組むユニークなものとなった。亜種名は上野輝久君に因んだ。上野君は私と同じ福井県出身で、彼が高校生の頃に交流を持った。彼は昆虫学を目指して琉球大学に入り、後に九州大学の院生となった。彼が琉大に入学した当時、私は周囲に感化され、新種記載に挑戦しようと思っていた。専門は甲虫類ヒラタムシ上科異節類とした。最も興味のあったアカハネムシ類のうち、沖縄本島に不明な種類がいると上野君から情報が入った。調査して、奄美大島から知られている種類の亜種として記載した。ただ、私の考え方からすれば、別種で記載すべきであったと後悔している。

お礼と記念としてパラタイプの 1 点を上野君に進呈した。その標本が琉大に残されているものである。上野君は個人所有より地元の公共施設に保管されるべきと判断したのであろうか。特にタイプ標本は、公共の財産として扱われなければならない。この記載のホロタイプは、国立科学博物館分館に保管されている。

(斎藤 昌弘)

オモトウスアヤカミキリ
Bumetopia brevicornis Makihara, 1978

Cerambycidae カミキリムシ科



Paratype (RUMF-ZI-16151)

原記載 : Makihara, H., 1978. New longicorn-beetles of the Ryukyus and Taiwan (Coleoptera : Cerambycidae). Esakia, (12): 49-62.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16151	Paratype	日本沖縄県石垣島於茂登岳	1974/04/14	楳原寛	♀	乾燥

本バラタイプ標本は、本種の記載者楳原寛博士（森林総研）が九州大学大学院生時代に、琉球諸島採集旅行の際に石垣島の於茂登岳で採集したものである。

ホロタイプ♂は、石垣島於茂登岳産（九州大学タイプ No. 2254）、パラタイプは石垣島於茂登岳産 4♂♂・12♀♀と石垣島荒川産 1♂で、これらのタイプ標本は九州大学農学部昆虫学教室に保管されている。本種は、於茂登岳や荒川の頂上に見られるリュウキュウチク群落で、ビーティングによって採集される。

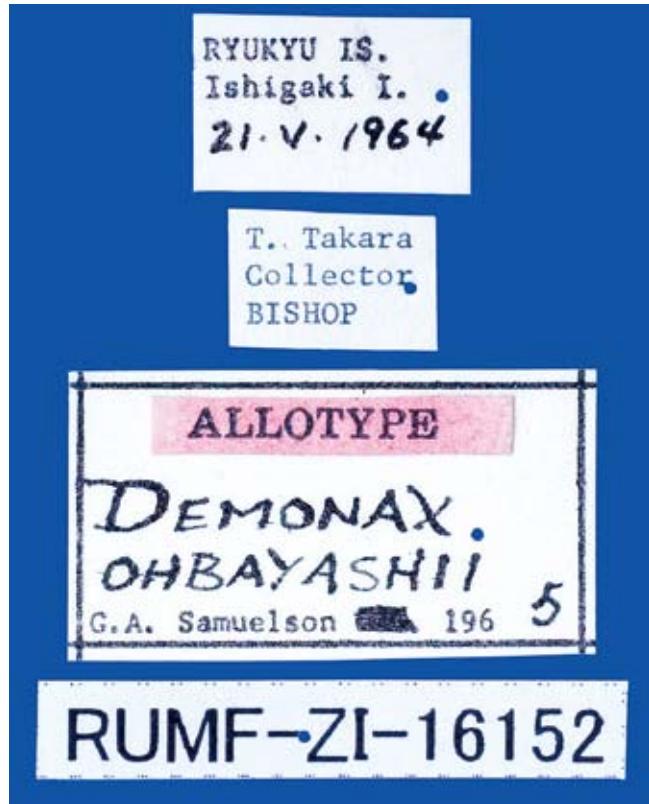
(金城 政勝)

Coleoptera コウチュウ目

オオバヤシトゲヒゲトラカミキリ

Cerambycidae カミキリムシ科

Demonax ohbayashii Samuelson, 1965



Allotype (RUMF-ZI-16152)

原記載 : Samuelson, G. A. and Gressitt, J. L., 1965. The Cerambycidae (Coleopt.) of the Ryukyu Archipelago I. Pac. Insects, 7 (1): 47-81.

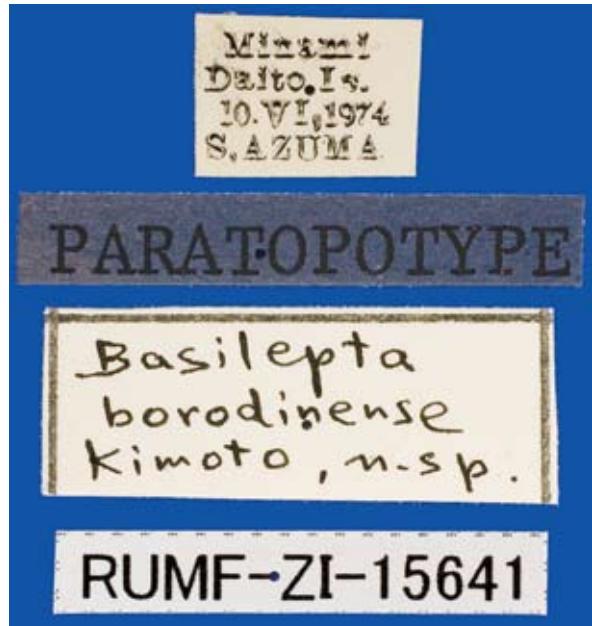
タイプ収蔵データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16152	Allotype	日本沖縄県石垣島	1964/05/21	高良鉄夫	♀	乾燥

本アロタイプは、1963～1965年にかけて九州大学とアメリカハワイ州のビショップ博物館との日米科学共同研究八重山調査隊の高良鉄夫博士（琉球大学名誉教授）によって石垣島で採集された標本である。

本種のホロタイプ♂は、平嶋義宏博士（九州大学名誉教授）によって石垣島於茂登岳で採集されたもので、九州大学農学部昆虫学教室に保管されている。本種の記載者の J. Linley Gressitt 氏と G. Allan Samuelson 氏は、アメリカハワイ州ビショップ博物館の昆虫部長と研究員である。種小名の *ohbayashii* は、カミキリムシの分類学者である大林一夫博士に因む。

(金城 政勝)



Paratotype (RUMF-ZI-15641)

原記載 : Kimoto, S., 1979. New or little known Chrysomelidae (Coleoptera) from Japan and its adjacent region, II. Ent. Rev. Japan, 33(1/2): 41-45.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15641	Paratotype	日本沖縄県南大東島	1974/06/10	東清二	不明	乾燥

本バラタイプは、東清二博士（琉球大学名誉教授）がサトウキビ害虫のオキナワカンシャクシコメツキ (*Melanotus okinawensis*) の幼虫とメイチュウ類の調査のため、南大東島を来島した際に採集したものである。

本種のホロタイプは、九州大学農学部昆虫学教室に保管されている（九州大学タイプ No. 2139）。

（金城 政勝）

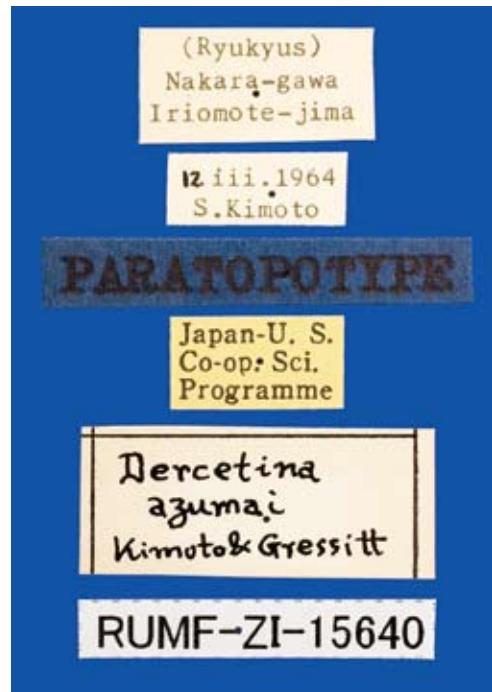
<付記>本バラトポタイプの採集ラベルは1974年6月10日であるが、原記載にある2点のバラトポタイプの採集日は、ホロタイプの1974年5月10日と同じであると記されている。本採集ラベルは、同時期に当館に収蔵された他の採集ラベルと活字が類似していることから、恐らくオリジナルラベルであると考えられるが、ホロタイプの採集ラベルとの確認が必要である。

アオバヒゲナガハムシ

Dercetina azumai Kimoto & Gressitt, 1966

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科



Paratotype (RUMF-ZI-15640)

原記載 : Kimoto, S. and Gressitt, J. L., 1966. The Chrysomelidae of the Ryukyu Archipelago. Pac. Insects, 8 (2): 467-577.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15640	Paratotype	日本沖縄県西表島仲良川	1964/03/12	木元新作	不明	乾燥

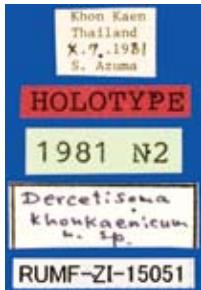
本パラトポタイプ標本は、1963～1965年にかけて日本の九州大学とアメリカハワイ州のビショップ博物館との日米科学共同研究八重山調査隊の隊員で記載者の一人でもある木元新作博士（元久留米医大教授）によって採集された。本種の記載者の J. Linley Gressitt 氏は、アメリカハワイ州ビショップ博物館の昆虫部長である。

本種のホロタイプ♀（西表島ウシク森産）、パラトポタイプ 1 点、パラタイプ（西表島産）7 点は、九州大学農学部昆虫学教室に保管されている。

（金城 政勝）

<付記>本標本には Paratotype ラベルが付されているが、原記載中では該当する標本は Paratype に指定されている。

和名なし

Dercetisoma khonkaenicum Kimoto, 1989

Holotype (RUMF-ZI-15051)

<付記> 原記載にはパラトポタイプ 21 個体、パラタイプ 8 個体とあるが、収蔵標本のタイプラベルはパラトポタイプ 13 個体、パラタイプ 14 個体である。また、RUMF-ZI-15052 の同種の標本には Paratype ラベルが付されているが、原記載に記述がないため本目録には掲載していない。

原記載 : Kimoto, S., 1989. Chrysomelidae (Coreoptera) of Thailand, Cambodia, Laos and Vietnam. IV. Galerucinae. *Esakia*, 27: 1-241.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15051	Holotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15053	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15054	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15055	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15056	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15057	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15058	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15059	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15060	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15061	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15062	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15063	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15064	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15065	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15066	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15067	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15068	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15069	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15070	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15071	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15072	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15073	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15074	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15075	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15076	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15077	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15078	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15079	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥

本標本は、東清二博士（琉球大学名誉教授）が「焼畑農耕地の常畑化に関する研究」研究代表久馬一剛博士（元京都大学教授）の調査研究のため 1979～1981 年の 3 ヶ年間に 3 度タイ国コンケンに滞在した時の休日に、コンケンの市街地にてスイーピングによる昆虫採集で得られたものである。本種のホロタイプ及びパラタイプ 15 点、パラトポタイプ 13 点が琉球大学資料館に、パラトポタイプ 2 点が木元コレクションに保管されている。種小名 *khonkaenicum* は、発見地タイ国コンケンに因む。

(金城 政勝)

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科

ヨツモンミゾアシノミハムシ

Hemipyxis balyi yaeyamana Kimoto, 1978



Paratype (RUMF-ZI-15018)

原記載 : Kimoto, S., 1978. Revisional study on the Japanese species of genus *Hemipyxis* DeJean (Coleoptera: Chrysomelidae: Alticinae). Ent. Rev. Japan, 31(1-2): 13-21.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15017	Paratype	日本沖縄県与那国島祖納	1972/03/22	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15018	Paratype	日本沖縄県与那国島祖納	1972/03/22	東清二	不明	乾燥

本バラタイプは、池原貞雄博士（琉球大学名誉教授）を団長とした尖閣列島生物調査が、急遽、国境問題で中止になった際に、調査地を与那国島に変更して実施された調査で、東清二博士（琉球大学名誉教授）によって与那国島祖納で採集されたものである。

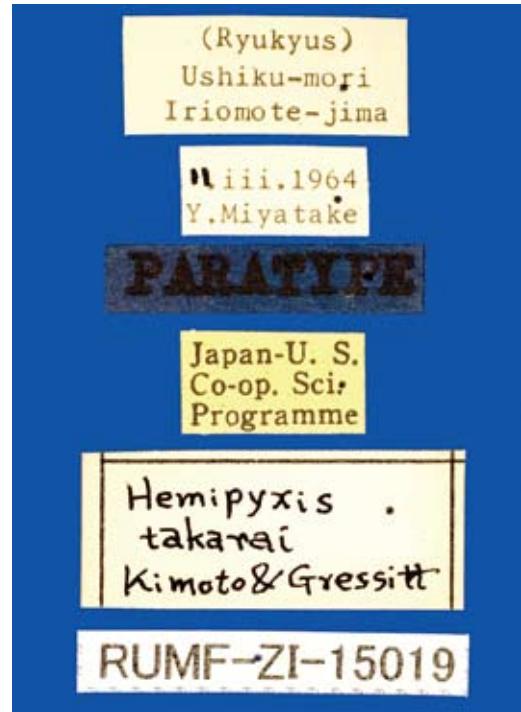
本タイプ標本の他に、ホロタイプ（九州大学タイプ No. 2101）、パラトボタイプ 5 点、パラタイプ（与那国島産 16 点、西表島産 15 点、石垣島産 1 点）が九州大学農学部昆虫学教室に保管されている。

（金城 政勝）

タカラミゾアシノミハムシ
Hemipyxis takarai Kimoto & Gressitt, 1966

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科



Paratype (RUMF-ZI-15019)

原記載 : Kimoto, S. and Gressitt, J. L., 1966. The Chrysomelidae of the Ryukyu Archipelago. Pac. Insects, 8 (2): 467-577.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15019	Paratype	日本沖縄県西表島ウシク森	1964/03/11	宮武頼夫	不明	乾燥

本標本は 1963~1965 年にかけて実施された九州大学とアメリカのビショップ博物館との日米科学共同研究八重山調査の際に、宮武頼夫博士によって採集された標本である。

本タイプ標本の他に、ホロタイプ♀、パラトポタイプ 3 点、パラタイプ 5 点が九州大学農学部昆虫学教室に保管されている。種小名の *takarai* は、高良鉄夫博士（琉球大学名誉教授）に因む。

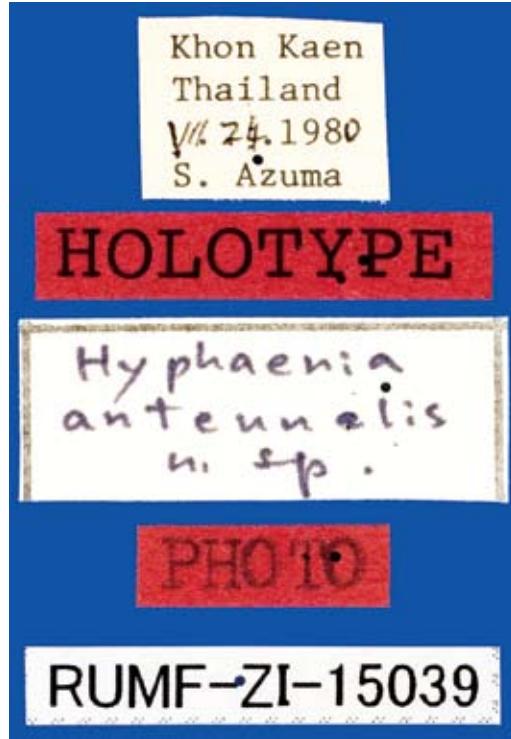
(金城 政勝)

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科

和名なし

Hyphaenia antennalis Kimoto, 1989



Holotype (RUMF-ZI-15039)

原記載 : Kimoto, S., 1989. Chrysomelidae (Coleoptera) of Thailand, Cambodia, Laos and Vietnam. IV. Galerucinae. Esakia, 27: 1-241.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15039	Holotype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15040	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	♂	乾燥

本標本は、東清二博士（琉球大学名誉教授）が「焼畑農耕地の常畑化に関する研究」研究代表久馬一剛博士（元京都大学教授）の調査研究のため 1979～1981 年の 3 ヶ年間に 3 度タイ国コンケンに滞在した時の休日に、コンケンの市街地にてスイーピングによる昆虫採集で得られたものである。

本種のホロタイプとパラトポタイプ 1 点は、琉球大学資料館に保管されているが、その他のパラトポタイプ 1 点は木元コレクション、パラタイプ 3 点はアメリカハワイ州ビショップ博物館に保管されている。

(金城 政勝)

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科

サキシマホソトビハムシ

Luperomorpha sakishimana Kimoto & Gressitt, 1966



Paratype (RUMF-ZI-15639)

原記載 : Kimoto, S. and Gressitt, J. L., 1966. The Chrysomelidae of the Ryukyu Archipelago. Pac. Insects, 8 (2): 467-577.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15639	Paratype	日本沖縄県西表島ウシク森	1963/10/07	森本桂	不明	乾燥

本バラタイプは、1963～1965年にかけて実施された九州大学とアメリカのビショップ博物館との日米科学共同研究八重山調査の際に、森本桂博士（九州大学名誉教授）によって採集されたものである。

本タイプ標本の他に、ホロタイプ♂（石垣島於茂登岳産）が九州大学農学部昆虫学教室に、アロタイプ♀（石垣島於茂登岳産）がアメリカハワイ州ビショップ博物館（ビショップ 6852）に、バラタイプ 7 点が九州大学農学部昆虫学教室、ビショップ博物館、アメリカ自然史博物館の 3ヶ所に分散して保管されている。種小名の *sakishimana* は、採集地琉球列島の先島諸島に因む。

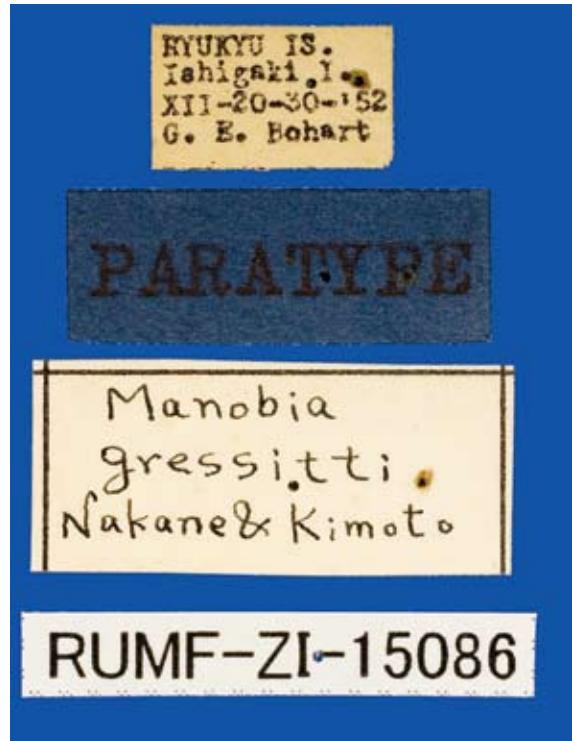
（金城 政勝）

Coleoptera コウチュウ目

サキシマコトビハムシ

Chrysomelidae ハムシ科

Manobia gressitti Nakane & Kimoto, 1961



Paratype (RUMF-ZI-15086)

原記載 : Nakane, T. and Kimoto, S., 1961. A list of chrysomelid-beetles collected by Dr. T. Shiraki from the Loochoo Islands, with descriptions of new species II. Kontyû, 29(2): 106-110.

タイプ標本データ

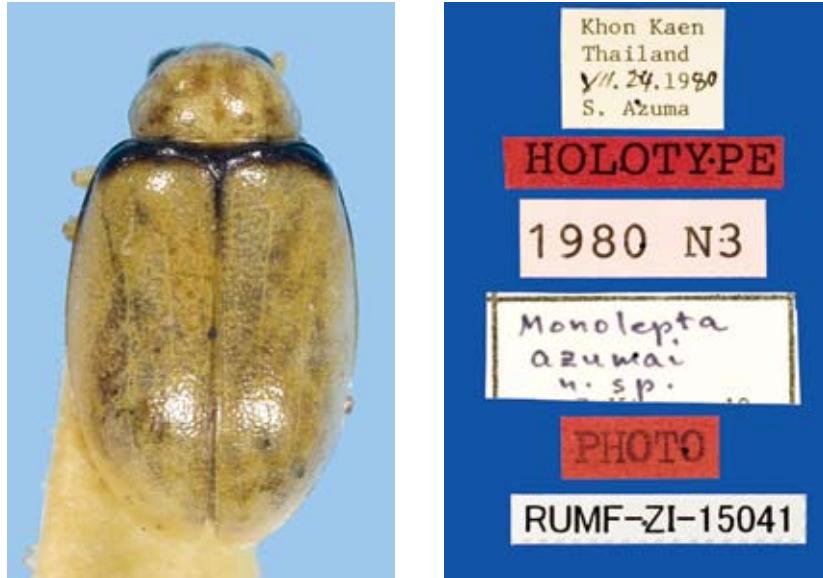
ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15085	Paratype	日本沖縄県石垣島	1952/12/01-05	G. E. Bohart	不明	乾燥
RUMF-ZI-15086	Paratype	日本沖縄県石垣島	1952/12/20-30	G. E. Bohart	不明	乾燥

本バラタイプは、沖縄がアメリカ軍占領下にあった時代に米軍属の昆虫分類学者（カ科）の G. E. Bohart 博士によって石垣島で採集されたものである。

本タイプ標本の他に、西表島産のホロタイプとバラタイプ（宮古島産 1 点、石垣島産 44 点）が、東京農業大学昆虫学教室に保管されている。種小名の *gressitti* は、アメリカハワイ州のビショップ博物館昆虫部長 J. Linley Gressitt に因む。

(金城 政勝)

和名なし

Monolepta azumai Kimoto, 1989

Holotype (RUMF-ZI-15041)

原記載 : Kimoto, S., 1989. Chrysomelidae (Coreoptera) of Thailand, Cambodia, Laos and Vietnam. IV. Galerucinae. Esakia, 27: 1-241.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15041	Holotype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15042	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1979/12/20	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15043	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1979/12/22	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15044	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/07	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15045	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1981/10/08	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15046	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15047	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15048	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15049	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥
RUMF-ZI-15050	Paratotype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥

本標本は、東清二博士（琉球大学名誉教授）が「焼畑農耕地の常畑化に関する研究」研究代表久馬一剛博士（元京都大学教授）の調査研究のため 1979～1981 年の 3 ヶ年間に 3 度タイ国コンケンに滞在した時の休日に、コンケンの市街地にてスイーピングによる昆虫採集で得られたものである。

本種のホロタイプ、パラトポタイプ 5 点、パラタイプ 4 点は琉球大学資料館に、パラトポタイプ 1 点が木元コレクション、パラタイプの 4 点が九州大学農学部昆虫学教室、10 点がアメリカハワイ州ビショップ博物館に保管されている。種小名の *azumai* は、東清二博士（琉球大学名誉教授）に因む。

(金城 政勝)

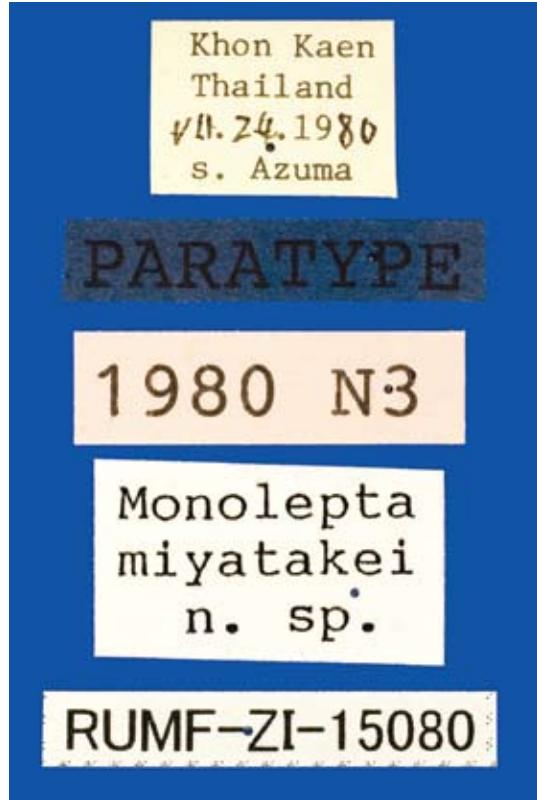
<付記> ホロタイプの採集ラベルは 1980 年 7 月 24 日とあるが、原記載では 1980 年 8 月 24 日である。また、ZI-15042 のパラタイプの採集ラベルは 1979 年 12 月 20 日とあるが、原記載では 1978 年 12 月 20 日である。いずれの標本も、原記載での誤記が疑われる。

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科

和名なし

Monolepta miyatakei Kimoto, 1989



Paratype (RUMF-ZI-15080)

原記載 : Kimoto, S., 1989. Chrysomelidae (Coleoptera) of Thailand, Cambodia, Laos and Vietnam. IV. Galerucinae. Esakia, 27: 1-241.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15080	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥

本標本は、東清二博士（琉球学名誉教授）が「焼畑農耕地の常畑化に関する研究」研究代表者久馬一剛博士（元京都大学教授）の調査研究のため 1979～1981 年の 3 ヶ年間に 3 度タイ国コンケンに滞在した時の休日に、コンケンの市街地にてスイーピングによる昆虫採集で得られたものである。

本種のホロタイプは、九州大学農学部昆虫学教室（九州大学タイプ No. 2703）、パラトポタイプは木元コレクションに 1 点、パラタイプは九州大学農学部昆虫学教室に 1 点、琉球大学資料館に 1 点、タイ国バンコック農業試験場昆虫研究室に 8 点保管されている。種小名の *miyatakei* は、宮武頼夫博士（元大阪市立自然史博物館館長）に因む。

（金城 政勝）

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科

クラウスチビサルハムシ

Nodina kraussi Kimoto & Gressitt, 1966



Paratype (RUMF-ZI-15637)

原記載 : Kimoto, S. and Gressitt, J. L., 1966. The Chrysomelidae of the Ryukyu Archipelago. Pac. Insects, 8 (2): 467-577.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15637	Paratype	日本沖縄県沖縄島浦添市前田	1958/06	N.L.H. Krauss	不明	乾燥

本バラタイプ標本は、沖縄がアメリカ軍占領下にあった時代に米軍属の昆虫学者 N. L. H. Kraus 博士によって沖縄島浦添市前田で採集されたものである。

本タイプ標本の他に、ホロタイプ♂とアロタイプ♀がアメリカハワイ州のビショップ博物館に、パラトポタイプ 19 点がビショップ博物館、九州大学農学部昆虫学教室、アメリカ自然史博物館、California Academy of Sciences, San Francisco の 4ヶ所にそれぞれ分散され保管されている。種小名の *kraussi* は、ホロタイプの採集者 N. L. H. Krauss 博士に因む。

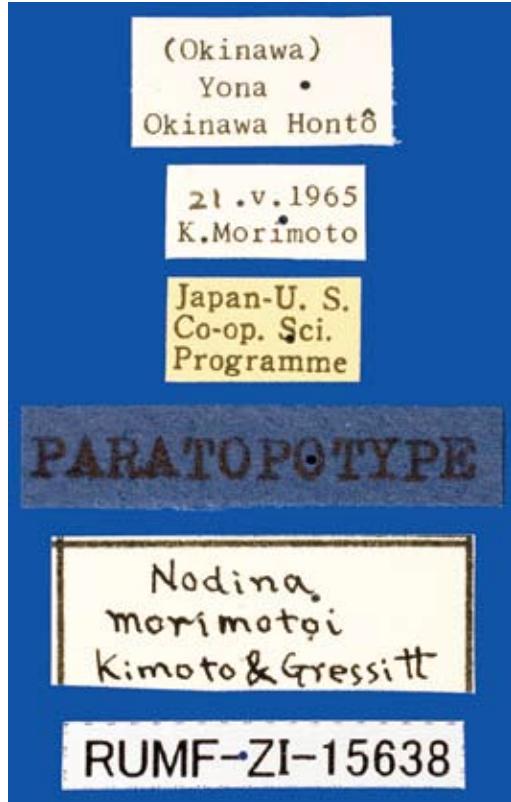
(金城 政勝)

<付記> 本標本には Paratype ラベルが付されているが、原記載中の該当標本は Paratotype に指定されている。

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科

モリモトチビサルハムシ
Nodina morimotoi Kimoto & Gressitt, 1966



Paratotype (RUMF-ZI-15638)

原記載 : Kimoto, S. and Gressitt, J. L., 1966. The Chrysomelidae of the Ryukyu Archipelago. Pac. Insects, 8 (2): 467-577.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15638	Paratopotype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那	1965/05/21	森本桂	不明	乾燥

本タイプ標本は、1963～1965年にかけて実施された九州大学とアメリカのビショップ博物館との日米科学共同研究八重山調査の際に、森本桂博士によって採集された標本である。

本タイプ標本の他に、ホロタイプ♂、パラタイプ20点、パラタイプ7点が九州大学農学部昆虫学教室に保管されている。種小名の *morimotoi* は、ゾウムシ類の分類学者森本桂博士（九州大学名誉教授）に因む。

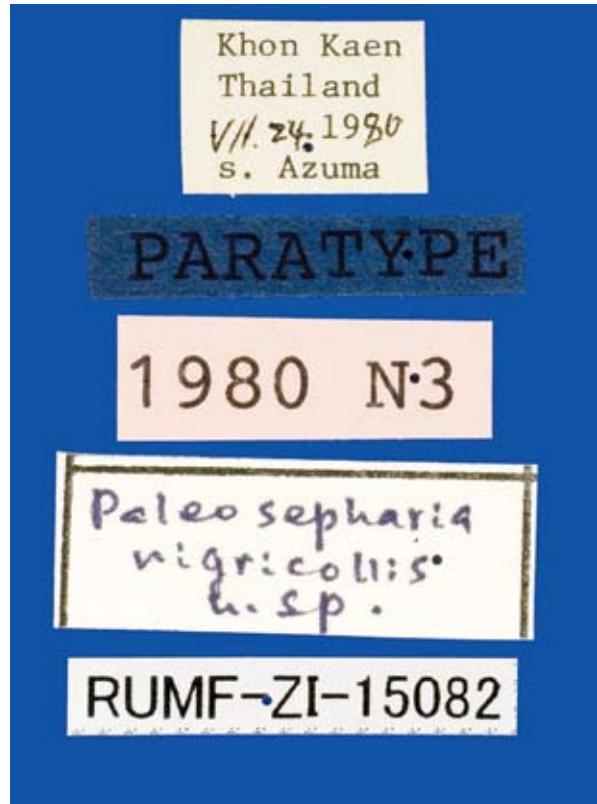
(金城 政勝)

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科

和名なし

Paleosepharia nigricollis Kimoto, 1989



Paratype (RUMF-ZI-15082)

原記載 : Kimoto, S., 1989. Chrysomelidae (Coleoptera) of Thailand, Cambodia, Laos and Vietnam. IV. Galerucinae. Esakia, 27: 1-241.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15082	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥

本標本は、東清二博士（琉球大学名誉教授）が「焼畑農耕地の常畑化に関する研究」研究代表久馬一剛博士（元京都大学教授）の調査研究のため 1979～1981 年の 3 ヶ年間に 3 度タイ国コンケンに滞在した時の休日に、コンケンの市街地にてスイーピングによる昆虫採集で得られたものである。

本種のホロタイプは九州大学農学部昆虫学教室（九州大学タイプ No. 2704）に、パラタイプは九州大学農学部昆虫学教室、琉球大学資料館、木元コレクションの 3 カ所に各 1 点ずつ保管されている。

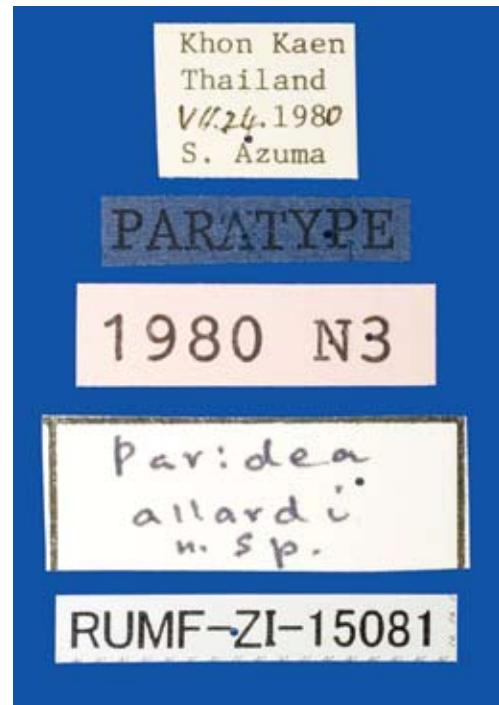
(金城 政勝)

和名なし

Paridea (Paridea) allardi Kimoto, 1989

Coleoptera コウチュウ目

Chrysomelidae ハムシ科



Paratype (RUMF-ZI-15081)

原記載 : Kimoto, S., 1989. Chrysomelidae (Coleoptera) of Thailand, Cambodia, Laos and Vietnam. IV. Galerucinae. Esakia, 27: 1-241.

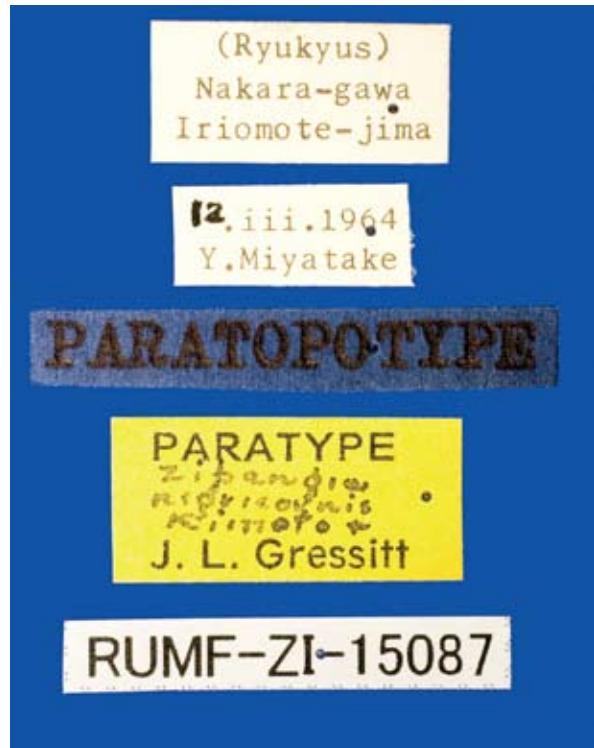
タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15081	Paratype	Khon Kaen, Thailand	1980/07/24	東清二	不明	乾燥

本標本は、東清二博士（琉球大学名誉教授）が「焼畑農耕地の常畑化に関する研究」研究代表久馬一剛博士（元京都大学教授）の調査研究のため 1979～1981 年の 3 ヶ年間に 3 度タイ国コンケンに滞在した時の休日に、コンケンの市街地にてスイーピングによる昆虫採集で得られたものである。

本種のパラタイプ 1 点は琉球大学資料館に保管されているが、その他のホロタイプ、パラトポタイプ 3 点、パラタイプ 23 点は、アメリカハワイ州ビショップ博物館に保管されている。

(金城 政勝)



Paratotype (RUMF-ZI-15087)

原記載 : Kimoto, S. and Gressitt, J. L., 1966. The Chrysomelidae of the Ryukyu Archipelago. Pac. Insects, 8 (2): 467-577.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15087	Paratotype	日本沖縄県西表島仲良川	1964/03/12	宮武頼夫	不明	乾燥

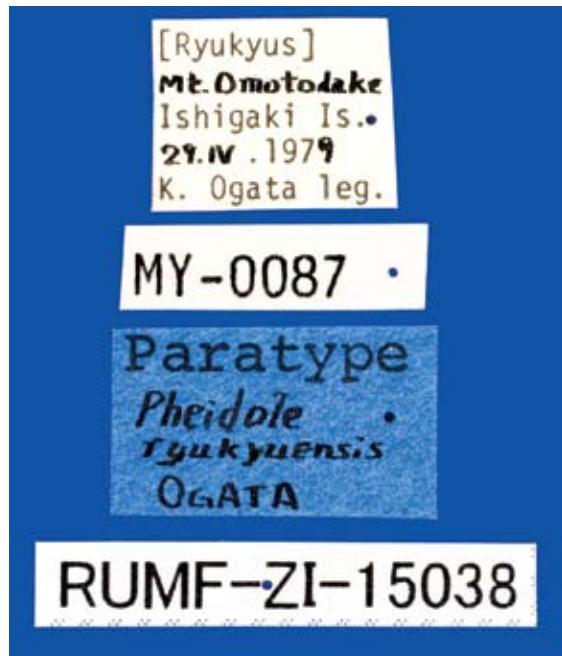
本タイプ標本は、1963～1965年にかけて九州大学とアメリカハワイ州のビショップ博物館によって実施された日米科学共同研究八重山調査の際に、宮武頼夫博士と木元新作博士によって採集された。本種のホロタイプ♀（西表島仲間川産）、アロタイプ♂、パラトポタイプ13点、パラタイプ4点（西表島ウシク森産）は、九州大学農学部昆虫学教室に保管されている。琉球大学資料館には、本タイプ標本以外にも、石垣島於茂登岳、米原産の標本が収蔵されている。

（金城 政勝）

＜付記＞ 本標本の採集ラベルには1964年3月12日とあるが、原記載中のParatotype採集データは1964年3月13日とありどちらかに誤記の可能性がある。また、当館収蔵のRUMF-ZI-15088の同種の標本にもParatypeラベルが付されているが、原記載中に該当する標本がないため本目録には掲載していない。

ナガオオズアリ

Formicidae アリ科

Pheidole ryukyuensis Ogata, 1982

Paratype (RUMF-ZI-15038)

原記載 : Ogata, K., 1982. Taxonomic study on the ant genus *Pheidole* westwood of Japan, with a description of a new species (Hymenoptera, Formicidae). Kontyû, 50(2): 189-197.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15037	Paratype	日本沖縄県石垣島於茂登岳	1979/04/29	緒方一夫	職アリ	乾燥
RUMF-ZI-15038	Paratype	日本沖縄県石垣島於茂登岳	1979/04/29	緒方一夫	兵アリ	乾燥

本パラタイプは、記載者緒方一夫博士（九州大学）によって九州大学の大学院生時代に石垣島於茂登岳で採集されたものである。本タイプ標本の他に、九州大学農学部昆虫学教室には、ホロタイプ（兵アリ）、ホロタイプと同じ巣から採集されたパラタイプの兵アリ 21 点、職アリ 15 点、1979 年 5 月 1 日に石垣島米原で採集された兵アリ 10 点、職アリ 5 点、1975 年 3 月 26 日に小野山敬一氏（九州大学生防研）によって石垣島於茂登岳で採集された兵アリ 2 点、職アリ 2 点の標本が保管されている。

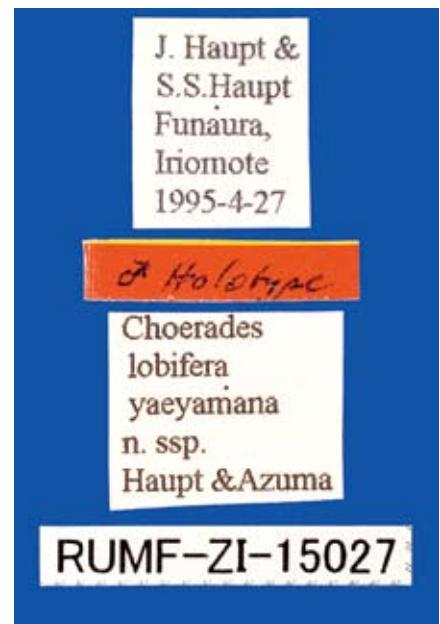
(金城 政勝)

ヤエヤマイシアブ

Asilidae ムシヒキアブ科

Choerades yaeyamana Haupt & Azuma, 1998

Holotype (RUMF-ZI-15027)



原記載 : Haupt, J. and Azuma, S., 1998. Faunistic and taxonomic notes on robber flies (Diptera: Asilidae) from the Ryukyu Islands (Japan) with descriptions of three new species, *Molobratia triangulata*, *Choerades yaeyamana* and *Merodontina silvatica*. Mitt. Mus. Nat.kd. Berl., Dtsch. entomol. Z., 45 (1): 33-42.

タイプ標本データ

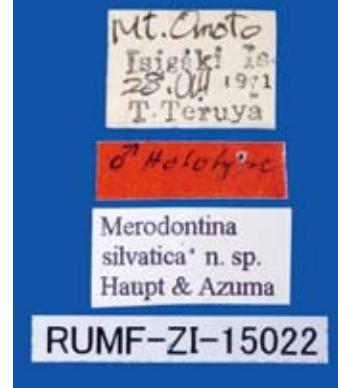
ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15027	Holotype	日本沖縄県西表島船浦	1995/04/27	J. Haupt & S. S. Haupt	♂	乾燥
RUMF-ZI-15028	Paratype	日本沖縄県西表島船浦	1995/04/27	J. Haupt & S. S. Haupt	♀	乾燥

本ホロタイプ♂とパラタイプ♀は、1995~6年に琉球大学熱帯生物圏研究センター西表実験所の客員研究員として西表島に勤務していた記載者 Joachim Haupt 博士（ベルリン工業大学生物学科）とその息子の S. S. Haupt 氏によって西表島船浦の同センター用地内で採集されたものである。本種のその他のパラタイプは、1♂1♀が Deutsches Entomologisches Institut in Eberswalde に、1♂が Hungarian National Museum in Budapest に、1♂が Zoologische Staatssammlungen in München に保管されている。
(金城 政勝)

<付記>本標本は原記載では新種として記載されているが、添付ラベルには *Choerades lobifera yaeyamana* n.ssp.と亜種名が記載されている。本標本の採集データは原記載のホロタイプデータと完全に一致することから、原記載の際に種名が変更された可能性が考えられる。

和名なし

Asilidae ムシヒキアブ科

Merodontina silvatica Haupt & Azuma, 1998

Holotype (RUMF-ZI-15022)

原記載 : Haupt, J. and Azuma, S., 1998. Faunistic and taxonomic notes on robber flies (Diptera: Asilidae) from the Ryukyu Islands (Japan) with descriptions of three new species, *Molobratia triangulata*, *Choerades yaeyamana* and *Merodontina silvatica*. Mitt. Mus. Nat.kd. Berl., Dtsch. entomol. Z., 45 (1): 33-42.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15022	Holotype	日本沖縄県石垣島於茂登岳	1971/08/28	照屋匡	♂	乾燥
RUMF-ZI-15023	Paratype	日本沖縄県西表島船浦	1996/05/18	J. Haupt	♀	乾燥
RUMF-ZI-15170	Paratype	日本沖縄県石垣島	1957/08/01	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15171	Paratype	日本沖縄県西表島カンビリ	1969/09/06	山内政栄	♂	乾燥
RUMF-ZI-15172	Paratype	日本沖縄県西表島カンビリ	1969/09/06	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15173	Paratype	日本沖縄県西表島白水	1969/09/04	金城政勝	♂	乾燥
RUMF-ZI-15174	Paratype	日本沖縄県西表島白水	1969/09/07	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15175	Paratype	日本沖縄県西表島白水	1972/07/29	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15176	Paratype	日本沖縄県西表島白水	1972/07/31	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15177	Paratype	日本沖縄県西表島白浜	1971/08/18	照屋匡	♂	乾燥
RUMF-ZI-15178	Paratype	日本沖縄県西表島稻葉	1971/08/20	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15180	Paratype	日本沖縄県西表島船浦	1977/10/09	東清二	♂	乾燥
RUMF-ZI-15182	Paratype	日本沖縄県西表島カンビリ	1969/09/06	山内政栄	♀	乾燥
RUMF-ZI-15183	Paratype	日本沖縄県西表島カンビリ	1969/09/06	金城政勝	♀	乾燥
RUMF-ZI-15184	Paratype	日本沖縄県西表島カンビリ	1969/09/06	金城政勝	♀	乾燥
RUMF-ZI-15185	Paratype	日本沖縄県西表島白水	1972/07/31	東清二	♀	乾燥

ほとんどのタイプ標本は、琉球大学農学部昆虫学教室と琉球大学病理昆虫クラブの西表島昆虫調査隊が西表島横断中に山中で採集したものである。多くは琉球大学資料館に収蔵されているが、パラタイプ 1♂のみが Deutsches Entomologisches Institut in Eberswalde に保管されている。本種の記載者 Joachim Haupt 博士（ベルリン工業大学生物学科）は、1995～6 年に琉球大学熱帯生物圏研究センター西表実験所の客員研究員として西表島に勤務していた。

(金城 政勝)

＜付記＞ 標本ラベルの 1969 年 9 月採集の標本は、原記載では 1969 年 7 月とある。また、RUMF-ZI-15173 の標本ラベルに 1969 年 9 月 4 日採集とあるが、原記載では 1969 年 9 月 6 日と書かれている。これらのパラタイプには、原記載以前に作成された採集ラベルが付けられていることから、原記載での採集日の誤記が疑われる。

和名なし

Megaselia araneivora Goto, 1985

Paratype (RUMF-ZI-15033)

原記載 : Goto, T., 1985. *Megaselia (Aphiochaeta) araneivora* sp. nov., an egg predator of the orb-web spider *Argiope aemura* (Walckenaer) in Japan (Diptera, Phoridae). *Esakia*, (23): 77-84.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15029	Paratype	日本沖縄県沖縄島西原町琉球大学	1983/10/28	佐々木健志	♂	乾燥
RUMF-ZI-15030	Paratype	日本沖縄県沖縄島西原町琉球大学	1983/10/28	佐々木健志	♂	乾燥
RUMF-ZI-15031	Paratype	日本沖縄県沖縄島西原町琉球大学	1983/10/28	佐々木健志	♀	乾燥
RUMF-ZI-15032	Paratype	日本沖縄県沖縄島西原町琉球大学	1983/10/28	佐々木健志	♀	乾燥
RUMF-ZI-15033	Paratype	日本沖縄県沖縄島西原町琉球大学	1983/10/28	佐々木健志	♂	乾燥
RUMF-ZI-15034	Paratype	日本沖縄県沖縄島西原町琉球大学	1983/10/28	佐々木健志	♀	乾燥
RUMF-ZI-15035	Paratype	日本沖縄県沖縄島西原町琉球大学	1983/10/28	佐々木健志	♀	乾燥
RUMF-ZI-15036	Paratype	日本沖縄県沖縄島西原町琉球大学	1983/10/28	佐々木健志	♂	乾燥

本種は、頭幅 0.56 mm、体長 0.8 mm ほどの小型のノミバエの仲間で、コガネグモ科 (Araneidae) に属するナガマルコガネグモ (*Argipe aemura*) の卵嚢から蛹と幼虫が採集された。寄生されていた卵嚢は、著者が研究のために大学構内の草地に造網していた寄主の網から採集したものである。本種は、クモ類の卵嚢に寄生するノミバエ類の日本での最初の記録である。近縁種 *Megaselia (Aphiochaeta) argiopephaga* Disney, 1982 は、パプアニューギニアから報告されている。種小名の *araneivora* は、本種の幼虫がコガネグモ科の卵を食べることに因む。

原記載および標本ラベルに記載されている採集者名の K. Sasaki の標記は、名前の読み違いによる誤記で、正しくは T. Sasaki である。

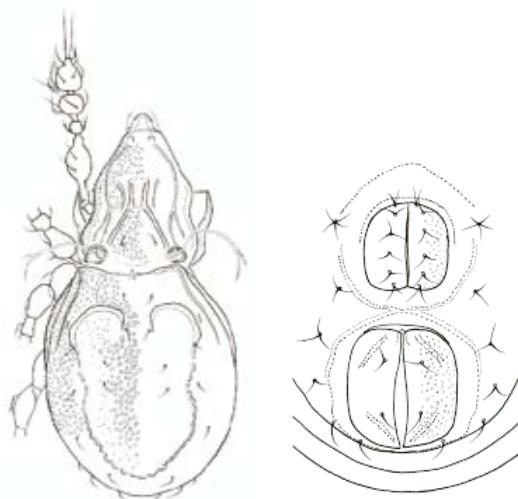
(佐々木 健志)

フタツワダニ

Eremulidae イチモンジダニ科

Fenestrella japonica Aoki & Karasawa, 2007

全体（背面）



全体（背面：左）および腹面（右）



第 I 脚末端部

原記載 : Aoki, J. and Karasawa, S., 2007. A new species of the genus *Fenestrella* (Acari: Oribatida) from Okinawa, Japan. *J. Acarol. Soc. Jpn.*, 16 (1): 5-9.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZA-01027	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村	2005/12/01	佐々木健志・島田展人	不明	液浸

本属のササラダニは本種を含め世界中で 3 種が知られているが、全て東アジアの熱帯—亜熱帯から発見されている。ヤンバルの森の林床から普通に発見されることから、琉球列島の森林土壤には広く分布しているものと考えられる。本種の和名は後体部背面に 2 つの輪っか状の構造があることに由来する。また、ササラダニは脚の末端に 1 本もしくは 3 本の爪を有する種が多いが、興味深いことに本種の第 I 脚には爪がなく、長い毛が 2 本生えるのみである。さらに、腹面の毛が枝分かれ状になるなど、本種には興味深い形態が多くみられるが、それらの機能については全く分かっていない。線図は、原記載から掲載誌 (*Journal of the Acarological Society of Japan*) の出版元 (日本ダニ学会) の許可を得て転載した (一部改訂)。

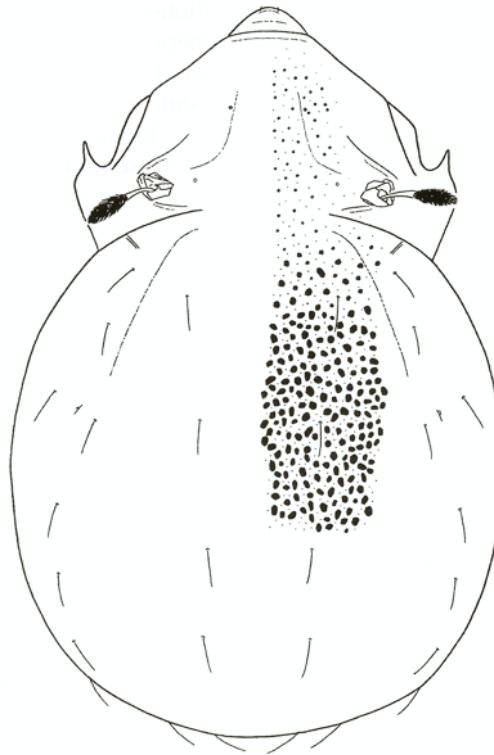
(唐沢 重考)

シモジヤナノロダニ

Selenoribatidae マングツダニ科

Rhizophobates shimojanai Karasawa & Aoki, 2005

全体（背面）



全体（背面）

原記載 : Karasawa, S. and Aoki, J., 2005. Oribatid mites (Arachnida: Acari: Oribatida) from the marine littoral of the Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. Spec. Divers., 10: 209-223.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZA-01003	Paratype	日本沖縄県沖縄島億首川	2002/08/01	唐沢重考	不明	プレパラート
RUMF-ZA-01004	Paratype	日本沖縄県沖縄島億首川	2003/01/22	唐沢重考	不明	プレパラート
RUMF-ZA-01005	Paratype	日本沖縄県沖縄島億首川	2003/01/22	唐沢重考	不明	プレパラート

ササラダニとしては珍しく潮間帯に生息する種である。同じ琉球列島の潮間帯に生息する *Schusteria* 属に似ているが、肛毛の数の違いなどに基づき本種をタイプとして新属 *Rhizophobates* が設立された。ただし、これには否定的な意見もあり再検討が必要である。本種の種小名は琉球列島のクモ類の研究に大きな貢献をした下謝名松榮博士に由来する。線図は、原記載から掲載誌 (Species Diversity) の出版元 (日本動物分類学会) の許可を得て転載した (一部改訂)。

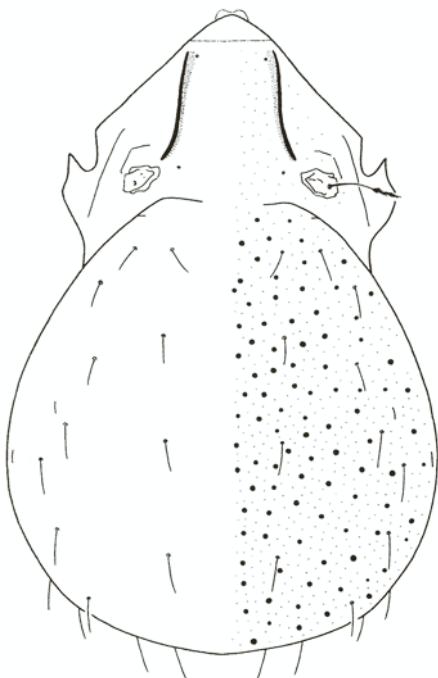
(唐沢 重考)

ナギサノロダニ

Selenoribatidae マングツダニ科

Schusteria nagisa Karasawa & Aoki, 2005

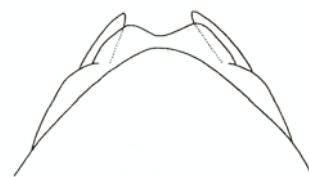
全体（背面）



全体（背面）



吻部



吻部

原記載 : Karasawa, S. and Aoki, J., 2005. Oribatid mites (Arachnida: Acari: Oribatida) from the marine littoral of the Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. Spec. Divers., 10: 209-223.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZA-01006	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村宇嘉	2002/08/13	唐沢重考	不明	プレパラート

ササラダニは本来、土壤に生息するダニであるが、まれに潮間帯からも採取される。潮間帶性の種は、2005年時点では日本からは1種のみが知られているだけであったが、Karasawa and Aoki (2005)により、琉球列島の潮間帯から3新種および日本初記録種3種が報告された。本種はそのうちの1種である。線図は、原記載から掲載誌(Species Diversity)の出版元(日本動物分類学会)の許可を得て転載した(一部改訂)。

(唐沢 重考)

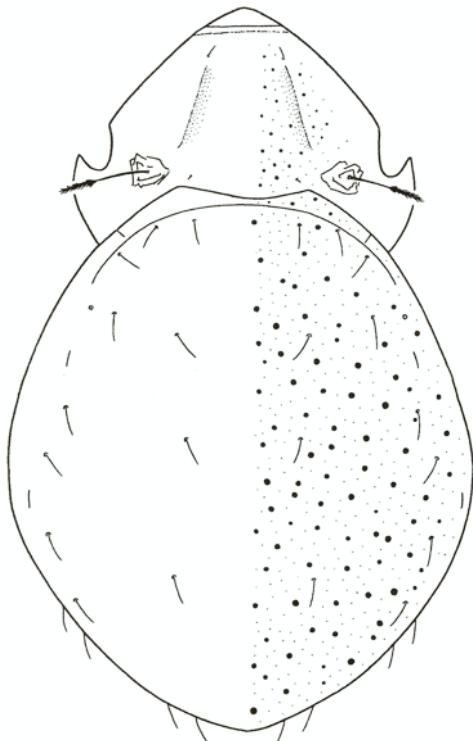
ニセナギサノロダニ

Schusteria saxeae Karasawa & Aoki, 2005

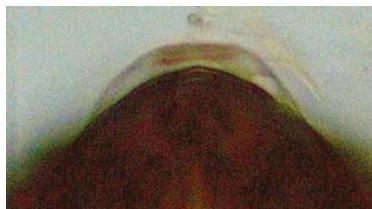
Selenoribatidae マングツダニ科



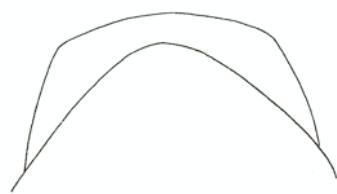
全体（背面）



全体（背面）



吻部



吻部

原記載 : Karasawa, S. and Aoki, J., 2005. Oribatid mites (Arachnida: Acari: Oribatida) from the marine littoral of the Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. Spec. Divers., 10: 209-223.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZA-01007	Paratype	日本沖縄県西表島星砂の浜	2002/08/24	唐沢重考	不明	プレパラート

同属の *Schusteria nagisa* に極めて良く似ているが、本種の吻部には台形の突出部があるのに対し、*S. nagisa* の吻部の突出部は二山形をしていることで判別できる。本種もまた琉球列島の潮間帯から採取された。線図は、原記載から掲載誌 (Species Diversity) の出版元 (日本動物分類学会) の許可を得て転載した (一部改訂)。

(唐沢 重考)

アオキフタカタダニ

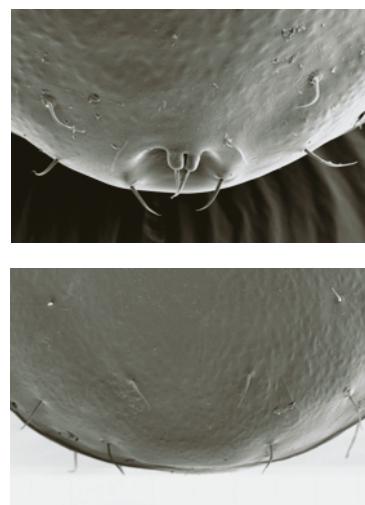
Symbioribatidae フタカタダニ科

Symbioribates aokii Karasawa & Behan-Pelletier, 2007

全体（雄：背面）



吻毛（左：雌、右：雄）



後体部末端（上：雄、下：雌）

原記載 : Karasawa, S., and Benhan-Pelletier, V., 2007. Description of a sexually dimorphic oribatid mite (Arachnida: Acari: Oribatida) from canopy habitats of the Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. Zool. Sci., 24: 1051-1058.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZA-01043	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村	2004/02/15	唐沢重考	3♂, 1♀	液浸

Symbioribatidae 科の種としては、1966 年にフィリピンで新科新属新種として報告されて以来の発見である。2009 年 1 月の時点においても本科の種は世界に 2 種のみしか知られていない。*Symbioribates* 属の種は樹上環境に生息し、また、ササラダニとしては珍しく性的二型を有することが知られている。本種は、これまでに知られていた吻毛だけでなく、後体部末端にも明瞭な性的二型が見られ、ササラダニの性的二型の進化を考える上で非常に興味深い種である。写真は、原記載から掲載誌 (Zoological Science) の出版元 (日本動物学会) の許可を得て転載した (一部改訂)。

(唐沢 重考)

サキシマヌマエビ

Caridina sakishimensis Fujino & Shokita, 1975現在の学名 : *Caridina prashadi* Tiwari & Pillai, 1971

Holotype (RUMF-ZC-00793, Synonym)

原記載 : Fujino, T. and Shokita, S., 1975. Report on some new atyid shrimps (Crustacea, Decapoda, Caridea) from the Ryukyu Islands. Bull. Sci. Eng. Div., Univ. Ryukyus (Math. Nat. Sci.), 18: 93-113.

関連論文 : Cai, Y. and Shokita, S., 2006. Atyid shrimps (Crustacea: Decapoda: Caridea) of the Ryukyu Islands, southern Japan, with descriptions of two new species. J. Nat. Hist., 40(38/40): 2123-2172.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00793	Holotype	日本沖縄県与那国島	1972/03	諸喜田茂充	1♀	液浸
RUMF-ZC-00794	Paratype	日本沖縄県与那国島	1972/03	諸喜田茂充	5個体	液浸

本種は与那国島、石垣島、宮古島、及び久米島より得られた 51 点の標本をもとに記載され、与那国島新川鼻産ホロタイプ (URB-493) とパラタイプ (URB-494) は琉球大学生物学科に収蔵された。これらタイプ標本は、2007 年 10 月に風樹館の甲殻類コレクションに移され、あらたに登録された。新しい登録番号は、ホロタイプが RUMF-ZC-00793、パラタイプが RUMF-ZC-00794 である。

琉球列島のヌマエビ類の分類学的再検討を行った Cai & Shokita (2006) は、*Caridina sakishimensis* は *C. prashadi* Tiwari & Pillai, 1971 の同物異名であることを指摘した。後者に先取権があるため、サキシマヌマエビは *Caridina prashadi* Tiwari & Pillai, 1971 として扱うのが妥当である。

(成瀬 貢)

アシナガヌマエビ

Atyidae ヌマエビ科

Caridina rubella Fujino & Shokita, 1975

Paratype (RUMF-ZC-00795)

原記載 : Fujino, T. and Shokita, S., 1975. Report on some new atyid shrimps (Crustacea, Decapoda, Caridea) from the Ryukyu Islands. Bull. Sci. Eng. Div., Univ. Ryukyus (Math. Nat. Sci.), 18: 93-113.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00795	Holotype	日本沖縄県宮古島イザガ一	1964/09/19	諸喜田茂充	1♀	液浸
RUMF-ZC-00796	Paratype	日本沖縄県宮古島イザガ一	1964/09/19	諸喜田茂充	1♀	液浸

本種は宮古島より得られた 9 点の標本をもとに記載され、宮古島イザガ一産のホロタイプ (URB-495) とパラタイプ (URB-496) は琉球大学生物学科に収蔵された。これらタイプ標本は、2007 年 10 月に風樹館の甲殻類コレクションに移され、あらたに登録された。新しい登録番号は、ホロタイプが RUMF-ZC-00795、パラタイプが RUMF-ZC-00796 である。

(成瀬 貢)

チカヌマエビ

Halocaridina (Halocarinides) trigonophthalma Fujino & Shokita, 1975現在の学名：*Halocarinides trigonophthalma* (Fujino & Shokita, 1975)

Holotype (RUMF-ZC-00797)

原記載：Fujino, T. and Shokita, S., 1975. Report on some new atyid shrimps (Crustacea, Decapoda, Caridea) from the Ryukyu Islands. Bull. Sci. Eng. Div., Univ. Ryukyus (Math. Nat. Sci.), 18: 93-113.

関連論文：Holthuis, L. B., 1982. Notes on Indo-West Pacific Crustacea Decapoda, II. The genus *Halocarinides* Fujino & Shokita and its type species *H. trigonophthalma* (Fujino & Shokita). Crustaceana, 42: 31-36.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00797	Holotype	日本沖縄県沖縄島今帰仁村兼次	1964/01/02-03	諸喜田茂充	1♂	液浸
RUMF-ZC-00798	Allotype	日本沖縄県沖縄島今帰仁村兼次	1964/01/02-03	諸喜田茂充	1♀	液浸
RUMF-ZC-00799	Paratype	日本沖縄県沖縄島今帰仁村兼次	1964/01/02-03	諸喜田茂充	2♂	液浸

本種は沖縄島より得られた 5 点の標本をもとに記載され、今帰仁村産のホロタイプ (URB-497) とアロタイプ (URB-498)、そしてパラタイプ (URB-499) が琉球大学生物学科に収蔵された。これらタイプ標本は、2007 年 10 月に風樹館の甲殻類コレクションに移され、あらたに登録された。新しい登録番号は、ホロタイプが RUMF-ZC-00797、アロタイプが RUMF-ZC-00798、そしてパラタイプが RUMF-ZC-00799 である。

(成瀬 貢)

イリオモテヌマエビ

Neocaridina iriomotensis Naruse, Shokita & Cai, 2006

Holotype (RUMF-ZC-00100)

原記載 : Naruse, T., Shokita, S. and Cai, Y., 2006. *Neocaridina iriomotensis*, a new species of land-locked freshwater shrimp (Crustacea: Decapoda: Atyidae) from Iriomote Island, southern Ryukyus, Japan. Proc. Biol. Soc. Wash., 119(1): 25-31.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00100	Holotype	日本沖縄県西表島仲間川西船着上流	2000/05/14	成瀬貫	1♂	液浸
RUMF-ZC-00101	Paratype	日本沖縄県西表島仲間川西船着上流	2000/05/14	成瀬貫	4♂	液浸
RUMF-ZC-00102	Paratype	日本沖縄県西表島仲間川西船着上流	2000/06/16	成瀬貫・Yixiong Cai	2♀	液浸

本種は西表島より得られた 91 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計 7 点が収蔵されている他、パラタイプが国立科学博物館（東京）と Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore)、そして National Museum of Natural Science (Taichung, Taiwan) にも保管されている。

(成瀬 貫)

イシガキヌマエビ

Caridina denticulata ishigakiensis Fujino & Shokita, 1975現在の学名 : *Neocaridina ishigakiensis* (Fujino & Shokita, 1975)

Holotype (RUMF-ZC-00791)

原記載 : Fujino, T. and Shokita, S., 1975. Report on some new atyid shrimps (Crustacea, Decapoda, Caridea) from the Ryukyu Islands. Bull. Sci. Eng. Div., Univ. Ryukyus (Math. Nat. Sci.), 18: 93-113.

関連論文 : 諸喜田茂充, 1979. 琉球列島の陸水エビ類の分布と種分化について-II. 琉球大学理工学部紀要理学篇, 28: 193-278.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00791	Holotype	日本沖縄県石垣島米原川	1972/02/23	諸喜田茂充	1♂ 3♂, 1ovig. ♀	液浸
RUMF-ZC-00792	Paratype	日本沖縄県石垣島米原川	1972/02/23	諸喜田茂充		液浸

本種は石垣島より得られた 154 点の標本をもとに記載された。このうち米原川産のホロタイプ (URB-491) とパラタイプ (URB-492) は琉球大学生物学科に収蔵された。これらタイプ標本は、2007 年 10 月に風樹館の甲殻類コレクションに移され、あらたに登録された。新しい登録番号は、ホロタイプが RUMF-ZC-00791、パラタイプが RUMF-ZC-00792 である。

現在では、イシガキヌマエビはカワリヌマエビ属 *Neocaridina* の独立種として扱われている。

(成瀬 貢)

Decapoda 十脚目

和名なし

Palaemonidae テナガエビ科

Macrobrachium niphanae Shokita & Takeda, 1989



Paratype (RUMF-ZC-00802)

原記載 : Shokita, S. and Takeda, M., 1989. A new freshwater prawn of the genus *Macrobrachium* (Decapoda, Caridea, Palaemonidae) from Thailand. Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A, 15(3): 147-154.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00802	Paratype	Nang Rong waterfall stream, Klong Yai, and Khao Chamao, Thailand	1987/08/20-21	諸喜田茂充	1♂	液浸

本種はタイより得られた標本をもとに記載された。ホロタイプとパラタイプの一部が国立科学博物館（東京）に、その他のパラタイプが琉球大学、Thailand Institute of Scientific and Technological Research、そして the Nationaal Natuurhistorisch Museum – Naturalis, Leiden (以前の Rijksmuseum van Natuurlijke Historie) に収蔵されている。琉球大学理学部に収蔵されていたパラタイプ (URM-Cr 1431) は、風樹館の甲殻類コレクションと共に保存することになり、新たに標本番号 (RUMF-ZC-00802) を与えた。

(成瀬 貫)

ヤエヤマヤワラガニ

Hymenosomatidae ヤワラガニ科

Neorhynchoplax yaeyamaensis Naruse, Shokita & Kawahara, 2005

Holotype (RUMF-ZC-00024)

原記載 : Naruse, T., Shokita, S. and Kawahara, T., 2005. *Neorhynchoplax yaeyamaensis*, a new false spider crab (Decapoda: Brachyura: Hymenosomatidae) from the Yaeyama Group, the Ryukyu Islands, Japan. Zootaxa, 877: 1-7.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00024	Holotype	日本沖縄県石垣島通路川	2004/12/21	成瀬貫・長井隆	1♂	液浸
RUMF-ZC-00023	Paratype	日本沖縄県石垣島吹通川	2004/12/20	成瀬貫	1♀	液浸
RUMF-ZC-00025	Paratype	日本沖縄県石垣島通路川	2004/12/21	成瀬貫・長井隆	1♂	液浸
RUMF-ZC-00026	Paratype	日本沖縄県西表島後良川	2004/12/22	成瀬貫・長井隆	2♀	液浸
RUMF-ZC-00027	Paratype	日本沖縄県西表島ウタラ川	2004/12/23	成瀬貫・長井隆	2♂, 2♀	液浸
RUMF-ZC-00132	Paratype	日本沖縄県西表島後良川	2003/07/24	奥田夏樹	1♂	液浸
RUMF-ZC-00133	Paratype	日本沖縄県西表島後良川	2003/07/24	奥田夏樹	1♂, 3♀	液浸
RUMF-ZC-00134	Paratype	日本沖縄県西表島後良川	2003/07/22	奥田夏樹	1♀	液浸

本種は石垣・西表島より得られた 26 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計 15 点が収蔵されている他、パラタイプが国立科学博物館（東京）と Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) にも保管されている。

(成瀬 貫)

カクレサワガニ（新称）

Amamiku occulta Naruse, Segawa & Aotsuka, 2007

Potamidae サワガニ科



Holotype (RUMF-ZC-00234)

原記載 : Naruse, T., Segawa, R. D. and Aotsuka, T., 2007. Two new species of freshwater crab (Crustacea: Decapoda: Potamidae) from Tokashiki Island, central Ryukyu Islands, Japan. Syst. Biodivers., 5(4): 409-415.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00234	Holotype	日本沖縄県渡嘉敷島渡嘉敷→渡嘉志久	2002/04/16	成瀬貫・Hsi-Te Shih	1♂	液浸
RUMF-ZC-00235	Paratype	日本沖縄県渡嘉敷島渡嘉敷→渡嘉志久	2002/04/16	成瀬貫・Hsi-Te Shih	2♂	液浸
RUMF-ZC-00236	Paratype	日本沖縄県渡嘉敷島渡嘉敷→渡嘉志久	1997/04/15	瀬川涼子・青塚正志	1♂	液浸

本種は渡嘉敷島より得られた 16 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの一部が収蔵されている他、その他のパラタイプが千葉県立中央博物館と Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) にも保管されている。

渡嘉敷島固有種である本種は、同所的に生息しているトカシキミナミサワガニと酷似しており、また今までに一河川からのみしか見つかっていない事から、ここで和名「カクレサワガニ」を提唱したい。

(成瀬 貫)

トカシキミナミサワガニ（新称）

Candidiopotamon tokashikense Naruse, Segawa & Aotsuka, 2007

Potamidae サワガニ科



Holotype (RUMF-ZC-00220)

原記載 : Naruse, T., Segawa, R. D. and Aotsuka, T., 2007. Two new species of freshwater crab (Crustacea: Decapoda: Potamidae) from Tokashiki Island, central Ryukyu Islands, Japan. Syst. Biodivers., 5(4): 409-415.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00220	Holotype	日本沖縄県渡嘉敷島渡嘉敷～渡嘉志久	1997/04/15	瀬川涼子・青塚正志	1♂	液浸
RUMF-ZC-00221	Paratype	日本沖縄県渡嘉敷島渡嘉敷～渡嘉志久	1997/04/15	瀬川涼子・青塚正志	1♂, 2♀	液浸

本種は渡嘉敷島より得られた 57 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの一部が収蔵されている他、その他のパラタイプが千葉県立中央博物館にも保管されている。

渡嘉敷島固有の本種に対し、和名「トカシキミナミサワガニ」を提唱したい。

(成瀬 貢)

オキナワオオサワガニ

Potamidae サワガニ科

Geothelphusa grandiovata Naruse, Shokita & Ng, 2006

Paratype (RUMF-ZC-00141)

原記載 : Naruse, T., Shokita, S. and Ng, P. K. L., 2006. A revision of the *Geothelphusa levicervix* species group (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Potamidae), with descriptions of three new species. J. Nat. Hist., 40(13-14): 759-781.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00140	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村与那川	1983/08	諸喜田茂充	1♂	液浸
RUMF-ZC-00141	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村辺土石山	1998/12	諸喜田茂充・藤田喜久・長井隆・川口英隆・Md. S. Islam	2♂	液浸
RUMF-ZC-00142	Paratype	日本沖縄県沖縄島大宜味村押川	1998/12/27	諸喜田茂充・藤田喜久・長井隆・川口英隆・Md. S. Islam	1♂	液浸
RUMF-ZC-00143	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村辺野喜ダム東	2001/11/27	成瀬貴	1♀	液浸

本種は沖縄島より得られた39点の標本をもとに記載された。本館にパラタイプ5点が収蔵されている他、北九州市立いのちのたび博物館にホロタイプとパラタイプが、国立科学博物館（東京）と Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) にパラタイプが保管されている。

オキナワオオサワガニはかつて渡嘉敷島、久米島、伊平屋島の集団と共に同一種とされていたが、最近の研究により各島の集団が独立種である事が分かった。森林伐採や密猟により個体数の減少が危惧されている。

(成瀬 貴)

イヘヤオオサワガニ

Geothelphusa iheya Naruse, Shokita & Ng, 2006

Potamidae サワガニ科



Holotype (RUMF-ZC-00148)

原記載 : Naruse, T., Shokita, S. and Ng, P. K. L., 2006. A revision of the *Geothelphusa levicervix* species group (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Potamidae), with descriptions of three new species. J. Nat. Hist., 40(13-14): 759-781.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00148	Holotype	日本沖縄県伊平屋島腰岳遊歩道	2001/06/01	佐藤文保	1♂	液浸
RUMF-ZC-00149	Paratype	日本沖縄県伊平屋島腰岳遊歩道	2001/06/01	佐藤文保	1♂	液浸
RUMF-ZC-00150	Paratype	日本沖縄県伊平屋島アサ岳北川のダムの上流	2001/04/29	成瀬貴	1♂, 7♀	液浸
RUMF-ZC-00151	Paratype	日本沖縄県伊平屋島賀陽山西	2001/04/30	成瀬貴	3♂	液浸
RUMF-ZC-00152	Paratype	日本沖縄県伊平屋島賀陽山南東	2001/04/30	成瀬貴	2♂, 3♀	液浸
RUMF-ZC-00153	Paratype	日本沖縄県伊平屋島我喜屋南のダム	2001/04/30	成瀬貴	1♂, 2♀	液浸

本種は伊平屋島より得られた 35 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計 21 点が収蔵されている他、パラタイプが国立科学博物館（東京）と Raffles Museum of Biodiversity Research（Singapore）にも保管されている。

イヘヤオオサワガニはかつて渡嘉敷島、沖縄島、久米島の集団と共に同一種とされていたが、最近の研究により各島の集団が独立種である事が分かった。伊平屋島固有の貴重な種である。

(成瀬 貴)

クメジマオオサワガニ

Potamidae サワガニ科

Geothelphusa kumejima Naruse, Shokita & Ng, 2006

Holotype (RUMF-ZC-00144)

原記載 : Naruse, T., Shokita, S. and Ng, P. K. L., 2006. A revision of the *Geothelphusa levicervix* species group (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Potamidae), with descriptions of three new species. J. Nat. Hist., 40(13-14): 759-781.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00144	Holotype	日本沖縄県久米島白瀬川	1994/11/05～07	佐藤文保	1♂	液浸
RUMF-ZC-00145	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1994/11/05	佐藤文保	1♀	液浸
RUMF-ZC-00146	Paratype	日本沖縄県久米島比嘉北西	2002/02/11	成瀬貫・笠井英美	1♂, 1♀	液浸
RUMF-ZC-00147	Paratype	日本沖縄県久米島すはら川	2002/02/11	成瀬貫・笠井英美	1♂	液浸

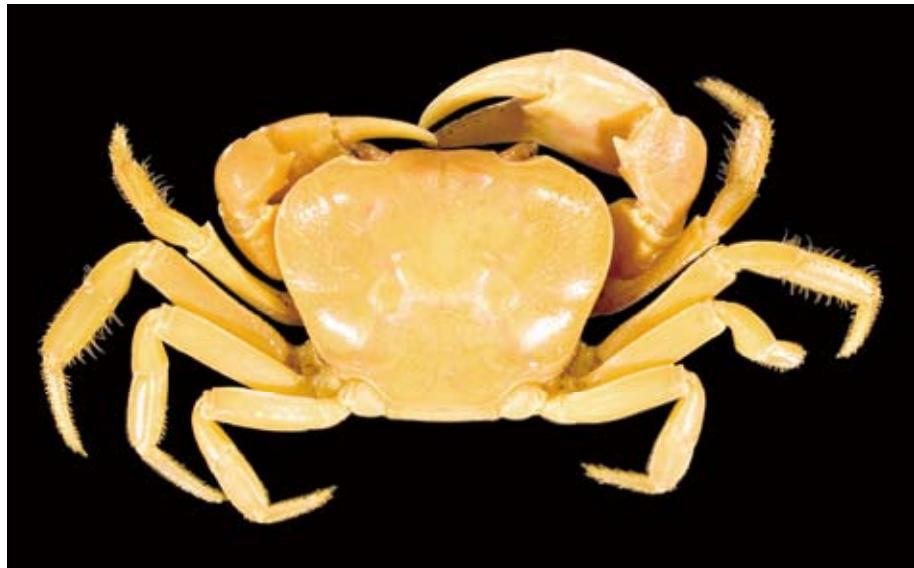
本種は久米島より得られた 17 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計 5 点が収蔵されている他、パラタイプが Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) にも保管されている。

クメジマオオサワガニはかつて渡嘉敷島、沖縄島、伊平屋島の集団と共に同一種とされていたが、最近の研究により各島の集団が独立種である事が分かった。久米島固有の貴重な種である。

(成瀬 貫)

ムラサキサワガニ

Potamidae サワガニ科

Geothelphusa marginata marginata Naruse, Shokita & Shy, 2004

Holotype (RUMF-ZC-00059)

原記載 : Naruse, T., Shokita, S. and Shy, J.-Y., 2004. A new species of the freshwater crab, previously assigned to *Geothelphusa miyazakii* (Miyake & Chiu, 1965) (Crustacea: Decapoda: Potamidae), from Yaeyama Group, southern Ryukyus, Japan. Raffles Bull. Zool., 52(2): 109-116.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00059	Holotype	日本沖縄県石垣島於茂登岳	2001/03/22	成瀬貫・岡本陽子	1♂	液浸
RUMF-ZC-00087	Paratype	日本沖縄県石垣島於茂登岳	2001/03/22	成瀬貫・岡本陽子	2♀	液浸

本亜種は石垣島より得られた 27 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計 3 点が収蔵されている他、パラタイプが国立科学博物館（東京）と千葉県立中央博物館にも保管されている。

(成瀬 貫)

カツショクサワガニ

Potamidae サワガニ科

Geothelphusa marginata fulva Naruse, Shokita & Shy, 2004

Holotype (RUMF-ZC-00062)

原記載 : Naruse, T., Shokita, S. and Shy, J.-Y., 2004. A new species of the freshwater crab, previously assigned to *Geothelphusa miyazakii* (Miyake & Chiu, 1965) (Crustacea : Decapoda : Potamidae), from Yaeyama Group, Southern Ryukyus, Japan. Raffles Bull. Zool., 52(2): 109-116.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00062	Holotype	日本沖縄県西表島仲間川西船着近くの沢	2001/08/12	成瀬貫	1♂	液浸
RUMF-ZC-00088	Paratype	日本沖縄県西表島仲間川西船着近くの沢	2001/08/12	成瀬貫	2♂, 2♀	液浸

本亜種は西表島より得られた 46 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計 5 点が収蔵されている他、パラタイプが国立科学博物館(東京)と千葉県立中央博物館、そして National Taiwan Ocean University (Keelung, Taiwan) にも保管されている。

(成瀬 貫)

ミヤコサワガニ

Potamidae サワガニ科

Geothelphusa miyakoensis Shokita, Naruse & Fujii, 2002

Holotype (RUMF-ZC-00014)

原記載 : Shokita, S., Naruse, T. and Fujii, H., 2002. *Geothelphusa miyakoensis*, a new species of freshwater crab (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Potamidae) from Miyako Island, southern Ryukyus, Japan. Raffles Bul. Zool., 50(2): 443-448.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00014	Holotype	日本沖縄県宮古島土川	1997/08/14	Shigemitsu Shokita · H. Kamizato · S. Tomari · K. Arakaki	1♂	液浸
RUMF-ZC-00015	Paratype	日本沖縄県宮古島大川	1997/10	外間康洋	1♂	液浸
RUMF-ZC-00016	Paratype	日本沖縄県宮古島大川	1997/10	外間康洋	1♀	液浸
RUMF-ZC-00017	Paratype	日本沖縄県宮古島大川	1997/10	外間康洋	1♂	液浸

本種は宮古島より得られた 10 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計 4 点が収蔵されている他、パラタイプが国立科学博物館（東京）と Raffles Museum of Biodiversity Research（Singapore）にも保管されている。

(成瀬 貴)

ヒメメナガオサガニ

Macrophthalmidae オサガニ科

Macrophthalmus (Macrophthalmus) microfylacas Nagai, Watanabe & Naruse, 2006

Holotype (RUMF-ZC-00257)

原記載 : Nagai, T., Watanabe, T. and Naruse, T., 2006. *Macrophthalmus (Macrophthalmus) microfylacas*, a new species of sentinel crab (Decapoda: Brachyura: Ocypodidae) from western Japan. Zootaxa, 1171: 1-16.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00257	Holotype	日本沖縄県沖縄島中城湾泡瀬	2005/08/21	奥久祐・増本貴士	1♂ 3♀, 1ovig. ♀	液浸
RUMF-ZC-00258	Paratype	日本沖縄県沖縄島中城湾泡瀬	2005/08/21	奥久祐・増本貴士		液浸
RUMF-ZC-00259	Paratype	日本沖縄県沖縄島金武湾海中道路北	2005/09/28	久保宗崇・野中啓介 長井隆・成瀬貫	1♀	液浸
RUMF-ZC-00260	Paratype	日本沖縄県沖縄島中城湾泡瀬沖西防波堤	2005/09/28	野中啓介・久保宗崇 長井隆・成瀬貫	5♂, 6♀, 3ovig. ♀	液浸
RUMF-ZC-00261	Paratype	日本沖縄県沖縄島中城湾熱田	2005/09/29	野中啓介・久保宗崇 長井隆・成瀬貫	1♀	液浸
RUMF-ZC-00262	Paratype	日本沖縄県沖縄島中城湾浜屋	2005/09/29	野中啓介・久保宗崇 長井隆・成瀬貫	1♂, 1♀	液浸
RUMF-ZC-00263	Paratype	日本沖縄県沖縄島中城湾ホワイトビーチ北西	2005/09/29	野中啓介・久保宗崇 長井隆・成瀬貫	2♀	液浸
RUMF-ZC-00264	Paratype	日本沖縄県沖縄島中城湾	不明	東京久栄	1♂, 1♀	液浸
RUMF-ZC-00265	Paratype	日本沖縄県沖縄島中城湾	不明	東京久栄	1♂ 1♂,	液浸
RUMF-ZC-00266	Paratype	日本熊本県牛深市魚貫町里浦	2004/04/07	渡部哲也	1ovig. ♀	液浸
RUMF-ZC-00267	Paratype	日本熊本県牛深市魚貫町里浦	2005/07/24	渡部哲也	2ovig. ♀	液浸
RUMF-ZC-00268	Paratype	日本熊本県上天草市松島町松島海水浴場	2005/07/20	渡部哲也	1♀	液浸

本種は沖縄島と熊本県天草、愛媛県高浜より得られた 57 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの一部が収蔵されている他、その他のパラタイプが大阪市立自然史博物館と和歌山県立自然博物館、そして Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) にも保管されている。

(成瀬 貫)

イリオモテメナガオサガニ

Macrophthalmidae オサガニ科

Macrophthalmus (Macrophthalmus) ryukyuensis Naruse & Kosuge, 2008

Paratype (RUMF-ZC-00538)

原記載 : Naruse, T. and Kosuge, T., 2008. A new species of *Macrophthalmus* (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Macrophthalmidae) from Iriomote Island, Ryukyu Islands, Japan. Spec. Divers., 13(2-3): 117-122.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00538	Paratype	日本沖縄県西表島浦内川河口沖	2005/08/16	小菅丈治・比嘉こうえい	1♂	液浸

本種は西表島浦内川沖よりドレッジにて採集された 2 点の標本をもとに記載された。本館にパラタイプが収蔵されている他、ホロタイプが Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) に保管されている。

(成瀬 貢)

オモナガドロガニ（新称）

Macrophthalmidae オサガニ科

Ilyograpus paantu Naruse & Kishino, 2006現在の学名：*Apograpus paantu* (Naruse & Kishino, 2006)

Paratype (RUMF-ZC-00238)

原記載：Naruse, T. and Kishino, T., 2006. New species of *Ilyograpus* from the Ryukyu Islands, Japan, with notes on *I. nodulosus* Sakai, 1983. Crust. Res., 35: 67-78.

関連文献：Komai, T. and Wada, K., 2008. A revision of the estuarine crab genus *Ilyograpus* Barnard, 1955 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Macrophthalmidae), with description of a new genus and one new species. Raffles Bull. Zool., 56(2): 357-384.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00237	Holotype	日本沖縄県沖縄島汀間川	2005/02/13	成瀬貫	1♂	液浸
RUMF-ZC-00238	Paratype	日本沖縄県沖縄島汀間川	2005/02/13	成瀬貫	1♂, 2♀, 3 ovig. ♀	液浸
RUMF-ZC-00239	Paratype	日本沖縄県西表島後良川	2004/12/22	成瀬貫・長井隆	1♀	液浸

本種は沖縄島、西表島、そして奄美大島より得られた18点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計8点が収蔵されている他、パラタイプが千葉県立中央博物館と Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) にも保管されている。

本種は *Ilyograpus* チゴイワガニ属の一種として記載されたが、このグループの分類学的再検討を行った Komai & Wada (2008) は、本種のみを含む *Apograpus* 属を創設した。

本種は縦に長い甲が特徴であり、また泥のなかからよく採集されるため、和名「オモナガドロガニ」をここで提唱したい。

(成瀬 貫)

ヨウナシカワスナガニ

Camptandriidae ムツハアリアケガニ科

Moguai pyriforme Naruse, 2005

Holotype (RUMF-ZC-00031)

原記載 : Naruse, T., 2005. Species of *Moguai* Tan and Ng, 1999 (Decapoda: Brachyura: Camptandriidae) from brackish waters in the Ryukyu Islands, Japan, with the description of a new species. Zootaxa, 1044: 57-64.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00031	Holotype	日本沖縄県沖縄島汀間川	2004/12/08	成瀬貫	1♀	液浸

本種は沖縄島と奄美大島より得られた 3 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプが収蔵されている他、パラタイプが大阪市立自然史博物館と Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) にも保管されている。

(成瀬 貫)



Holotype (RUMF-ZC-00539)

原記載 : Naruse, T. and Ng, P. K. L., 2008. A new species of *Chiromantes* s. str. (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from the Ryukyu Islands, Japan, with a note on the identity of *Holometopus serenei* Soh, 1978. Crust. Res., 37: 1-13.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00539	Holotype	日本沖縄県沖縄島大宜味村田港	2007/07/29	成瀬貫	1♂	液浸
RUMF-ZC-00540	Paratype	日本沖縄県西表島船浦湾東	2005/10/20	長井隆	1♀	液浸
RUMF-ZC-00541	Paratype	日本沖縄県西表島船浦湾友利山西	2005/10	成瀬貫・長井隆	1♀	液浸
RUMF-ZC-00542	Paratype	日本沖縄県西表島	1980's	諸喜田茂充	1♀	液浸
RUMF-ZC-00543	Paratype	日本沖縄県沖縄島名護市大浦川	2007/06/09	前之園唯史	6♂, 1♀	液浸

本種は沖縄島、西表島、そして奄美大島より得られた 18 点の標本をもとに記載された。本館にホロタイプとパラタイプの計 11 点が収蔵されている他、パラタイプが千葉県立中央博物館と Raffles Museum of Biodiversity Research (Singapore) にも保管されている。

琉球列島固有である本種に対し、和名「リュウキュウアカテガニ」をここで提唱したい。

(成瀬 貫)

Decapoda 十脚目

ドウクツモクズガニ

Varunidae モクズガニ科

Orcovita miruku Naruse & Tamura, 2006



Holotype (RUMF-ZC-00030)

原記載 : Naruse, T. and Tamura, H., 2006. A first record of anchialine crab of the genus *Orcovita* Ng and Tomascik, 1994 (Decapoda: Brachyura: Varunidae) from Japan, with description of the species. Limnology, 7: 147-151.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZC-00030	Holotype	日本沖縄県石垣島吉野 洞窟内	2005/01/22	中井穂瑞領	1♂	液浸

本種は石垣島の洞窟より得られた 1 個体をもとに記載された。タイプ標本は本館に収蔵されているホロタイプ 1 点のみである。

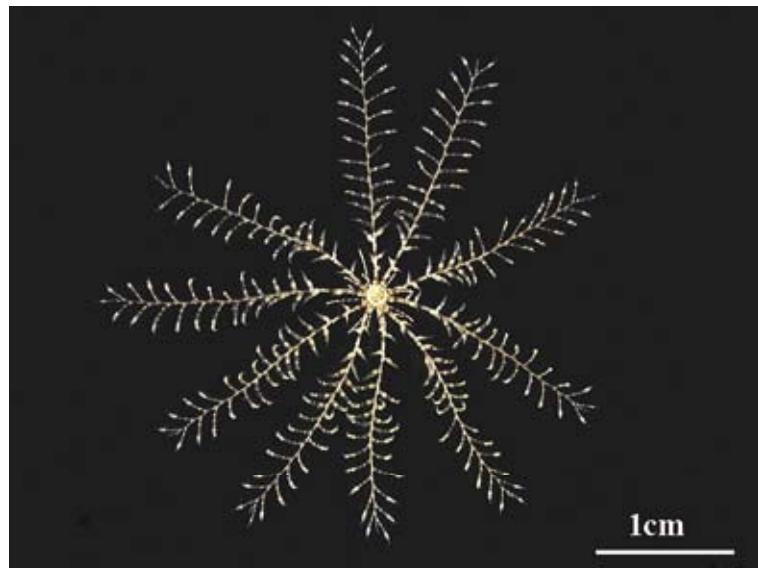
(成瀬 貫)

Comatulida ウミシダ目

セソコヒメウミシダ

Antedonidae ヒメウミシダ科

Dorometra sesokonis Obuchi, Kogo & Fujita, 2009



Paratype (RUMF-ZE-00011)

原記載 : Obuchi, M., Kogo, I. and Fujita, Y., 2009. A new brooding feather star of the genus *Dorometra* (Echinodermata: Crinoidea: Comatulida: Antedonidae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan. Zootaxa, 2008: 61-68.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZE-00002	Paratype	日本沖縄県本部町瀬底島, 水深 12 m	2008/02/19	小渕正美	同時的雌雄同体	液浸
RUMF-ZE-00011	Paratype	日本沖縄県本部町瀬底島, 水深 12 m	2008/02/19	小渕正美	同時的雌雄同体	液浸

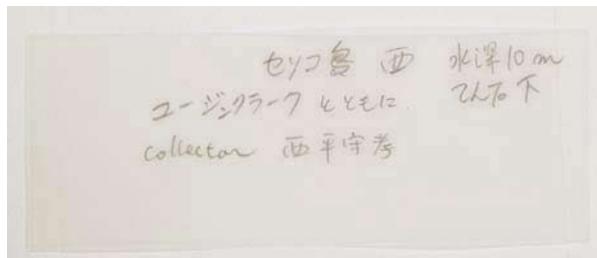
本種は沖縄島および瀬底島より得られた 7 点の標本をもとに記載された。これらのうち、瀬底島産のパラタイプ (RUMF-ZE-00002, RUMF-ZE-00011) が風樹館の棘皮動物コレクションに登録された。本種は、最大腕長が 3 cm に満たない小型種であり、幼形的な形質を保持するにもかかわらず、個体が成熟しているのが大きな特徴である。また、外部保育性および同時的雌雄同体という独特な繁殖方法を示す点でも興味深い種である。特に、同時的雌雄同体はウミシダ類において初めての発見である。

(藤田 喜久)

Ophiuroidea

Ophiuridae

トラフクモヒトデ

Ophioplocus giganteus Irimura & Yoshino, 1999

Paratype (RUEL-ZE-00001)

原記載 : Irimura, S. and Yoshino, H., 1999. *Ophioplocus giganteus*, a new species of Ophiuroidea from Okinawa Island, southwestern Japan. Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A, 25(2): 143-148.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUEL-ZE-00001	Paratype	日本沖縄県瀬底島西	不明	西平守孝		液浸

本標本は発見された最初の本種個体であり、瀬底島西側に広がるサンゴ礁の外縁・水深約10mの所で西平守孝博士によって採集された（スキーバダイビング）。採集月日が明らかでないが、ラベルに記載されたユージン・クラーク氏が来沖し、瀬底実験所に滞在したのは1975年7月である。

盤径が34mm、腕長が180mmの大変美しい大型種である。からだ全体が厚い皮で覆われており、盤の鱗などが表面からは見ることが出来ない。

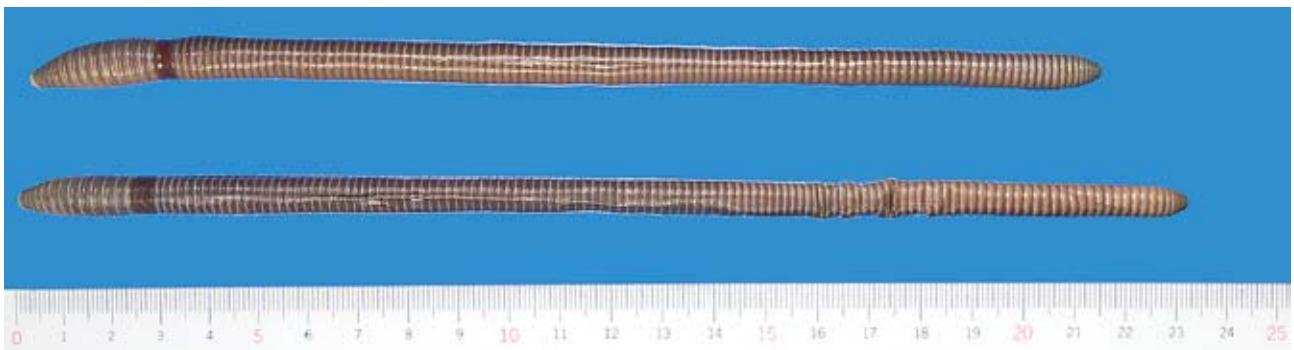
元々同一属とされていた近縁種に、サンゴ礁の礁原で一般的に見られる *Ophiolepis superba* (ワモンクモヒトデ)がある。*Ophioplocus* 属のうち日本で報告があるのは *O. japonicus* (ニホンクモヒトデ)、*O. imbricatus* (コグチクモヒトデ)、*O. giganteus* (トラフクモヒトデ) の3種である。ニホンクモヒトデはサンゴ礁では見られない。

ホロタイプとパラタイプのうちの1点が国立科学博物館に、残りのパラタイプ1点が琉球大学資料館に保管されている。

(吉野 弘美)

アカシマフトミミズ

Megascolecidae フトミミズ科

Pheretima kunigamiensis Ishizuka, Azama & Sasaki, 2000

RUMF-ZO-00003, RUMF-ZO-00004 (Paratype)

原記載 : Ishizuka, K., Azama, Y. and Sasaki, T., 2000. Two new species of the genus *Pheretima* s. lat. (family Megascolecidae) from the Yambaru district, Okinawa Island, Japan. *Edaphologia*, 65: 89-95.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZO-00003	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村西銘岳	1999/02/14	佐々木健志・二神和靖	雌雄同体	液浸
RUMF-ZO-00004	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村西銘岳	1999/02/14	佐々木健志・二神和靖	雌雄同体	液浸

沖縄産既知種の中ではヤンバルオオフトミミズに次ぐ大型の種で、体長 262 mm、幅 8.5 mm に達する。沖縄島の固有種で、おもに沖縄島北部のイタジイ (*Castanopsis sieboldii*) が優占する自然度の高い森林に生息する。原記載に用いたタイプ標本を含め、ほとんどの個体が降雨後の林道上や側溝内に堆積した落葉中で採集されており、本種の詳しい生態については不明である。種小名の *kunigamiensis* は、本種が発見された沖縄島北部の村名に因む。

沖縄県内に産する貧毛類については、戦前に行われた調査をもとにした小林 (1941b) と Ohfuchi(1956)による報告があるのみで、これ以降は本種が記載されるまで分類学的研究はなされていない。近年、本種が属するフトミミズ属 (*Pheretima*) に関しては、安座間 (2002) が沖縄島に生息する種を詳細に研究し、8種の既知種と 26種の未記載種を報告している。

(佐々木 健志)

Haplotaxida ナガミミズ目

ヤンバルオオフトミミズ

Megascolecidae フトミミズ科

Pheretima yambaruensis Ishizuka, Azama & Sasaki, 2000



RUMF-ZO-00001, RUMF-ZO-00002 (Paratype)

原記載 : Ishizuka, K., Azama, Y. and Sasaki, T., 2000. Two new species of the genus *Pheretima* s. lat. (family Megascolecidae) from the Yambaru district, Okinawa Island, Japan. *Edaphologia*, 65: 89-95.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZO-00001	Paratype	日本沖縄県沖縄島玉辻山	1999/06/24	安座間安史	雌雄同体	液浸
RUMF-ZO-00002	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村西銘岳	1999/10/21	佐々木健志	雌雄同体	液浸

沖縄産既知種の中では最大のミミズで、大型の個体では体長 40 cm、幅 1 cm あまりになる。沖縄島の固有種で、おもに沖縄島北部（通称、やんばる）の森林の林床に生息し、地表から 10~20 cm の地中に、直径約 1 cm、長さ 40~80 cm の地面に水平な巣穴を掘って生活している。巣穴の両端は地表に開口し、一方の開口部には自ら巣穴周辺の落葉を口にくわえて集積した直径 25 cm、高さ 2 cm ほどの落葉の塊を作り、腐植が進んだ底部の落葉を巣穴に引き込んで餌にしている。もう一方の開口部には、排出した糞を積み重ね直径 5 cm、高さ 10 cm 以上にもなる大きな糞塊を形成する。このような生態は熱帯系のミミズ類では知られているが、国内では本種のみである。種小名の *yambaruensis* は、発見地の「やんばる」に因む。

(佐々木 健志)

琉球大学資料館（風樹館）概要

琉球大学資料館（風樹館）には、学内外の研究者が教育や研究活動の一環としておもに琉球列島で収集した4万点あまりの学術資料が収蔵されている。館内は、一般に公開されている1階常設展示室（自然系展示室と文化系展示室）と2階標本収蔵室及び研究室からなる。自然系展示室には、イリオモテヤマネコやノグチゲラなどの希少生物の標本をはじめ、両生爬虫類標本、昆虫標本、サンゴ骨格標本、琉球列島産岩石標本などが展示されている。文化系展示室には、首里城復元の際にも利用された大龍柱（阿形）の頭部や日時計などの首里城関連考古資料のほか、古農具や藁算などの民俗資料、染織や陶器などの伝統工芸資料が展示されている。また、当館には自然学習の場としての「学校ビオトープ見本園」が併設されており、様々な動植物が観察できる。

沿革

1967年3月

旧首里キャンパスにおいて、金城キク商会（金城報恩会）から農業博物館（風樹館）が寄贈される。

1967年11月

農学部に風樹館運営委員会を置き、高良鉄夫農学部長が初代委員長となる。

1983年5月

本学の千原キャンパスへの移転に伴い、新たに学内共同利用施設として「標本資料館設置のための検討会」が組織される。

1985年3月

琉球大学資料館竣工。

1985年4月

各学部から選出された教官によって資料館運営委員会が設置され、琉球大学資料館規則が制定される。館名は従来の風樹館を継承することとなる。

1985年9月

旧風樹館および各学部から標本資料等の移転を完了し開館となる。初代館長には農学部の東清二教授が選出され、資料館専任スタッフとして教務職員一名が配置される。

1999年4月

東清二館長退官のため、川島由次農学部教授が館長に選出される。

2005年4月

川島由次館長退官のため、屋富祖昌子農学部助教授が館長に選出される。

2007年4月

屋富祖館長の任期満了により、砂川勝徳農学部教授が館長に選任される。



県内の著名な建築家であった金城信吉氏が設計した建物で、沖縄の城跡や墳墓にみられる石造建築をモチーフにしている



自然系展示室（1階）



文化系展示室（1階）



タイプ標本収蔵庫（2階）



学校ビオトープ見本園

学名索引

Mammalia (哺乳綱)

- Mayailurus iriomotensis* 9
Prionailurus bengalensis iriomotensis 9

Reptilia (爬虫綱)

- Calamaria pavimentata miyurai* 10
Elaphe carinata yonaguniensis 11
Liopeltis kikuzatoi 12
Opisthotropis kikuzatoi 12

Insecta (昆虫綱)

- Agaripenthes nagaoi* 34
Allomyrina dichotoma inchachina 22
Allomyrina dichotoma takarai 23
Basilepta borodinense 45
Bumetopia brevicornis 43
Callytron yuasai okinawense 16
Cheirotonus jambar 24
Choerades yaeyamana 61
Demonax ohbayashii 44
Dercetina azumai 46
Dercetisoma khonkaenicum 47
Dorcus okinawanus yaeyamaensis 19
Dorcas titanus tatsutai 20
Glyphonyx kishiii 30
Glyphonyx kishiii nomurai 31
Glyphonyx nomurai 31
Hemipyxis balyi yaeyamana 48
Hemipyxis takarai 49
Hyphaenia antennalis 50
Laccobius nakanei 17
Leiopsammodius yadai 28
Luciola owadai 40
Luperomorpha sakishimana 51
Macrodorcus okinawanus yaeyamaensis 19
Maladera imasakai 25

- Manobia gressitti* 52
Megaselia araneivora 63
Melanotus amamiensis amamiensis 32
Merodontina silvatica 62
Monolepta azumai 53
Monolepta miyatakei 54
Neodiploconus ferrugineipennis kuniyoshii 33
Nodina kraussi 55
Nodina morimotoi 56
Onthophagus (Indachorius) suginoi 26
Onthophagus (Strandius) hiurai 27
Onthophagus (Strandius) potanini hiurai 27
Paleosepharia nigricollis 57
Paridea (Paridea) allardi 58
Pelthydrus okinawanus 18
Pheidole ryukyuensis 60
Plateros hatayamai 37
Plateros shibatai okinawanus 38
Plateros yaeyamanus azumai 39
Platypleura albivannata 15
Platytomus yadai 28
Priopus ferrugineipennis kuniyoshii 33
Procræterus nagaoi 34
Protaetia exasperata akitai 29
Pseudopyrochroa kazuo teruhisai 42
Sinopodisma aurata 13
Stenocladius azumai 41
Tonkinacris ruficerus 14
Trox uenoi matsumurai 21
Vuliletus amamiensis amamiensis 35
Yukoana amamiensis 36
Zipangia nigricornis 59

Arachnida (クモ綱)

- Fenestrella japonica* 64
Rhizophobates shimojanai 65

<i>Schusteria nagisa</i>	66	Oligochaeta (貧毛綱)	
<i>Schusteria saxeae</i>	67	<i>Pheretima kunigamiensis</i>	92
<i>Symbioribates aokii</i>	68	<i>Pheretima yambaruensis</i>	93

Malacostraca (軟甲綱)

<i>Amamiku occulta</i>	76
<i>Apograpus paantu</i>	86
<i>Candidiopotamon tokashikense</i>	77
<i>Caridina denticulata ishigakiensis</i>	73
<i>Caridina prashadi</i>	69
<i>Caridina rubella</i>	70
<i>Caridina sakishimensis</i>	69
<i>Chiromantes ryukyuwanum</i>	88
<i>Geothelphusa grandiovata</i>	78
<i>Geothelphusa iheya</i>	79
<i>Geothelphusa kumejima</i>	80
<i>Geothelphusa marginata fulva</i>	82
<i>Geothelphusa marginata marginata</i>	81
<i>Geothelphusa miyakoensis</i>	83
<i>Halocaridina (Halocarinides) trigonophthalma</i>	71
<i>Halocarinides trigonophthalma</i>	71
<i>Ilyograpus paantu</i>	86
<i>Macrobrachium niphanae</i>	74
<i>Macrophthalmus (Macrophthalmus) microfylacas</i>	84
<i>Macrophthalmus (Macrophthalmus) ryukyuwanus</i>	85
<i>Moguai pyriforme</i>	87
<i>Neocaridina iriomotensis</i>	72
<i>Neocaridina ishigakiensis</i>	73
<i>Neorhynchoplax yaeyamaensis</i>	75
<i>Orcovita miruku</i>	89

Crinoidea (ウミユリ綱)

<i>Dorometra sesokonis</i>	90
----------------------------	----

Ophiuroidea (クモヒトデ綱)

<i>Ophioplocus giganteus</i>	91
------------------------------	----

和名索引

哺乳綱 (Mammalia)

イリオモテヤマネコ 9

爬虫綱 (Reptilia)

キクザトアオヘビ 12

キクザトサワヘビ 12

ミヤラヒメヘビ 10

ヨナグニシュウダ 11

昆虫綱 (Insecta)

アオバヒゲナガハムシ 46

アトゲエンマコガネ 27

アマミクシコメツキ 32

アマミマメコメツキ 36

アマミミドリヒメコメツキ 基亜種 35

イキヒラタクワガタ 20

イシガキニイニイ 15

オオシマアオハナムグリ 久米島亜種 29

オオバヤシトゲヒゲトラカミキリ 44

オキナワカブトムシ 23

オキナワクチボソコメツキ 31

オキナワコブスジコガネ 21

オキナワシジミガムシ 17

オキナワシロヘリハンミョウ 16

オキナワフキバッタ 14

オキナワマルチビガムシ 18

オモトウスアヤカミキリ 43

クガニフキバッタ (ヤエヤマフキバッタ) 13

キシイクチボソコメツキ 30

クニヨシホソクシコメツキ 33

クメジマカブトムシ 22

クメジマボタル 40

クラウスチビサルハムシ 55

クロヒゲアラハダトビハムシ 59

サキシマコトビハムシ 52

サキシマホソトビハムシ 51

シバタハナボタル 沖縄島亜種 38

ダイトウサルハムシ 45

タカラミゾアシノミハムシ 49

タテオビクシヒゲボタル 41

ナガオオズアリ 60

ナガオホソキコメツキ 34

ハタヤマベニハナボタル 37

ヒメヤマトケシマグソコガネ 28

モリモトチビサルハムシ 56

ヤエヤマイシアブ 61

ヤエヤマコクワガタ 19

ヤエヤマベニハナボタル 与那国島亜種 39

ヤンバルエンマコガネ 26

ヤンバルテナガコガネ 24

ヤンバルビロウドコガネ 25

ヨツモンミゾアシノミハムシ 48

リュウキュウアカハネムシ 42

和名なし (*Dercetisoma khonkaenicum*) 47

和名なし (*Hyphaenia antennalis*) 50

和名なし (*Megaselia araneivora*) 63

和名なし (*Merodontina silvatica*) 62

和名なし (*Monolepta azumai*) 53

和名なし (*Monolepta miyatakei*) 54

和名なし (*Paleosepharia nigricollis*) 57

和名なし (*Paridea allardi*) 58

クモ綱 (Arachnida)

アオキフタカタダニ 68

シモジャナノロダニ 65

ナギサノロダニ 66

ニセナギサノロダニ 67

フタツワダニ 64

軟甲綱 (Malacostraca)

アシナガヌマエビ 70

イシガキヌマエビ 73

イヘヤオオサワガニ	79
イリオモテヌマエビ	72
イリオモテメナガオサガニ	85
オキナワオオサワガニ	78
オモナガドロガニ（新称）	86
カクレサワガニ（新称）	76
カッショクサワガニ	82
クメジマオオサワガニ	80
サキシマヌマエビ	69
チカヌマエビ	71
ドウクツモクズガニ	89
トカシキミナミサワガニ（新称）	77
ヒメナガオサガニ	84
ミヤコサワガニ	83
ムラサキサワガニ	81
ヤエヤマヤワラガニ	75
ヨウナシカワスナガニ	87
リュウキュウアカテガニ（新称）	88
和名なし (<i>Macrobrachium niphanae</i>)	74

ウミユリ綱 (Crinoidea)

セソコヒメウミシダ	90
-----------	----

クモヒトデ綱 (Ophiuroidea)

トラフクモヒトデ	91
----------	----

貧毛綱 (Oligochaeta)

アカシマフトミミズ	92
ヤンバルオオフトミミズ	93

■ 解説執筆者（順不同）

秋田 勝巳 (三重県在住)
伊澤 雅子 (琉球大学理学部海洋自然学科生物系)
伊藤 元 (株式会社 地域環境計画)
太田 英利 (琉球大学熱帯生物圏研究センター)
大平 仁夫 (日本鞘翅学会)
長田 勝 (日本昆虫学会)
唐沢 重考 (福岡教育大学教育学部)
木村 正明 (有限会社G A・S H O W)
金城 政勝 (琉球大学熱帯生物圏研究センター)
楠井 善久 (和歌山県在住)
小濱 繼雄 (沖縄県農業研究センター)
斎藤 昌弘 (日本鞘翅学会)
杉野 広一 (沖縄県国頭村在住)
当山 昌直 (沖縄県教育庁文化課)
成瀬 貴 (琉球大学亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構)
野林 千枝 (沖縄昆虫同好会・コガネムシ研究会)
林 正美 (埼玉大学教育学部)
藤田 喜久 (琉球大学大学教育センター)
堀 繁久 (北海道開拓記念館)
松田 潔 (日本甲虫学会・日本鞘翅学会)
松村 雅史 (日本甲虫学会・日本鞘翅学会)
吉野 弘美 (琉球大学理学部海洋自然学科生物系)
佐々木 健志 (琉球大学資料館)

■ 編集

佐々木 健志 (琉球大学資料館)

■ タイプ標本整理・編集協力

成瀬 貴 (琉球大学亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構)
長田 勝 (日本昆虫学会)
小松 知普

琉球大学資料館（風樹館）収蔵資料目録 第1号
琉球大学資料館（風樹館）収蔵タイプ標本目録

2009年3月31日発行

発行：琉球大学資料館（風樹館）
903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL/FAX : 098-895-8841
email : fujukan@agr.u-ryukyu.ac.jp
<http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/>

協力：琉球大学21世紀COEプログラム“サンゴ礁一島嶼系の生物多様性の総合解析”

Copyright© 2009 by The University Museum(Fujukan), University of the Ryukyus